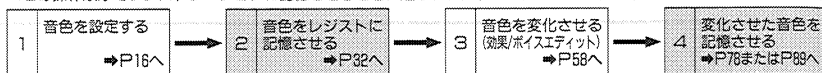


## メモリー機能

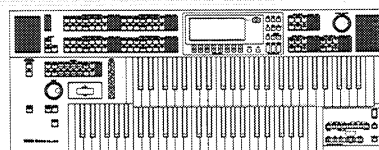
F レジストメモリー	F-1 レジストレーションメモリーボタンに記憶させる	P144
	F-2 記憶させておいたレジストレーションを再現する レジストシフト	P145 P146
G ミュージック ディスコレコーダー(MDR)	ミュージックディスコレコーダーについて	P154
	G-1 いろいろな録音のしかた	P160
	G-2 いろいろな再生のしかた	P177

※この操作順序でレジストレーションに記憶させるときに選ぶレジストレーションメモリーボタンは、すべて同じ番号です。

### III. メモリー機能 レジストメモリー



## レジストレーションメモリーボタンに記憶させる

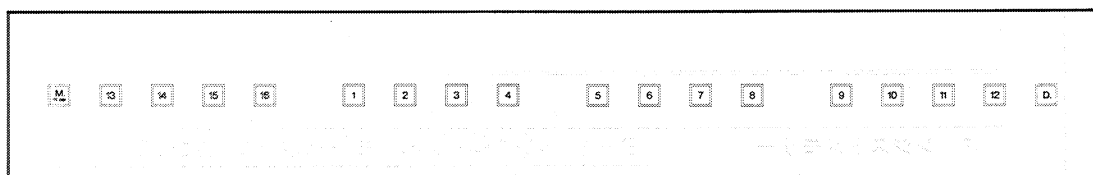


▲操作部分

#### 機能

パネル上で設定した現在の状態を、レジストレーションメモリーボタンに記憶させることができます。音色、音色状態、効果、リズム、リズムコンディション、自動伴奏などの設定を記憶させることができます。

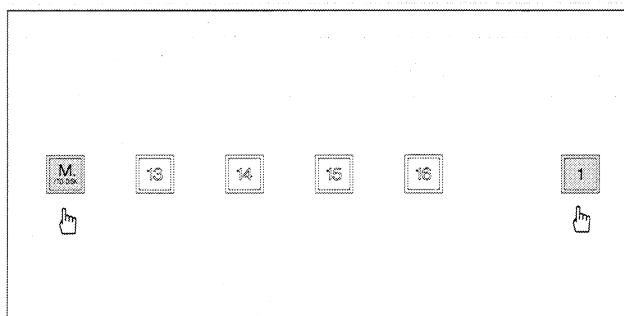
▼レジストレーションメモリーボタンは、上鍵盤の下にあります。  
(下の図は、レジストレーションメモリーの全ボタン)



#### 操作

レジストレーションメモリーボタン [1] に現在のパネルの状態を記憶させる場合。

1



例は、[M./TO DISK] ボタンを押しながら [1] ボタンを押した場合。

● [M./TO DISK] (メモリー) ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーボタンの[1]を押します。

● [1] ボタンが点滅し、そのボタンに現在のパネルの状態が記憶されたことを示します。

▲メモリーボタンを一度押しただけで離してしまうと、記憶させることはできません。

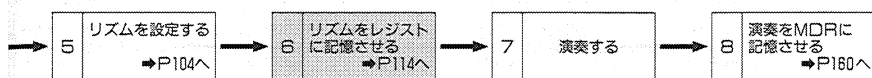
これで、パネル上の現在の状態 (音色、効果、リズム) を記憶させることができました。

#### 注意

◆レジストレーションメモリー機能は、現在のパネルの状態を記憶させるものです。すでに記憶したレジストナンバーにデータを追加したい場合は、パネル上が以前記憶させたときと変わりが無いことを確認してから、データの追加を行ってください。

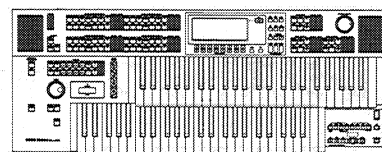
F1

レジストレーションメモリーボタンに記憶させる



レジストメモリー III. メモリー機能

## 記憶させておいたレジストレーションを再現する



▲操作部分

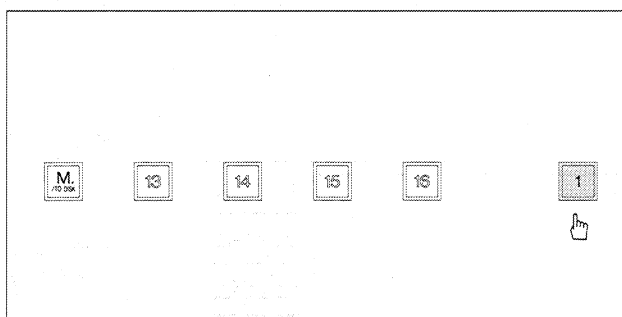
### 機能

レジストレーションナンバーに記憶させたデータを再現することができます。

### 操作

レジストレーション [1] を再現する場合

1



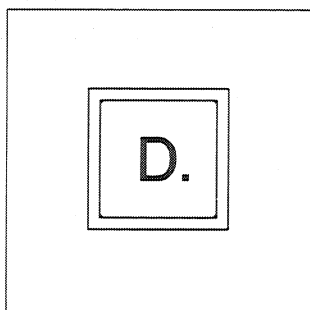
例は、[1] ボタンを押した場合。

これで、記憶させていたレジストレーションが再現されました。

●再現したいレジストレーションナンバーを押します。

●押したボタンが点灯し、パネル上に記憶内容が再現されます。

### ディセーブルについて



- 音色と効果だけを変更したいときに使うと便利です。
- 記憶させていたレジストレーションを再現するとき、[D.] (ディセーブル) ボタンをオンにしておくと、リズムと演奏補助機能のレジストレーションが固定されます。
- リズムメニュー、リズムコンディション、オートベースコード、メロディーオンコードのセッティングが固定されます。

### 注意

◆電源をONにすると、音色は基本レジストレーション1になります。  
残しておきたい音色などのデータは、電源をOFFする前に、必ずレジストレーションメモリーボタンに記憶させましょう。

◆レジストレーションメモリーボタンに記憶させないで電源をオフした場合、電源オフ前のパネルの状態に戻したいときは、再び電源をオンした後に、[M./TO DISK] (メモリー) ボタンを押しながら [D.] (ディセーブル) ボタンを押すと、前の状態に戻ります。

このとき [M./TO DISK] (メモリー) ボタンを押す前に、他のボタンに触れないよう気を付けてください。

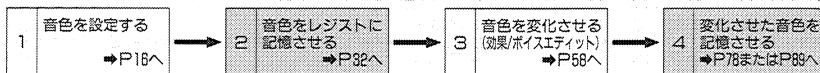
記憶させておいたレジストレーションを再現する

F2

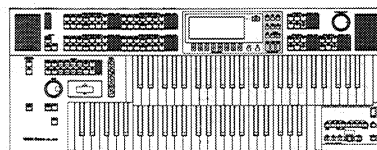
※この操作順序でレジストレーションに記憶させるときに選ぶレジストレーションメモリーボタンは、すべて同じ番号です。

### III. メモリー機能

#### レジストメモリー



## レジストシフト (右フットスイッチ)



▲操作部分

#### 機能

エクスプレッションペダルの右フットスイッチを使って、レジストナンバーをコントロールする内容を決めることができます。

レジストナンバーを番号順に呼び出すことができます。(シフトモード)

設定したレジストナンバーにジャンプすることができます。(ジャンプモード)

レジストナンバー 1～16までを自由に組みあわせ、80まで編集・登録ができます。(ユーザーモード)

#### 操作

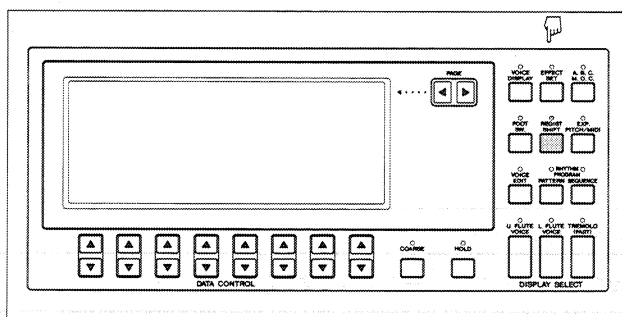
シフトモードを選択する場合。

レジストナンバーを番号順に呼び出した場合

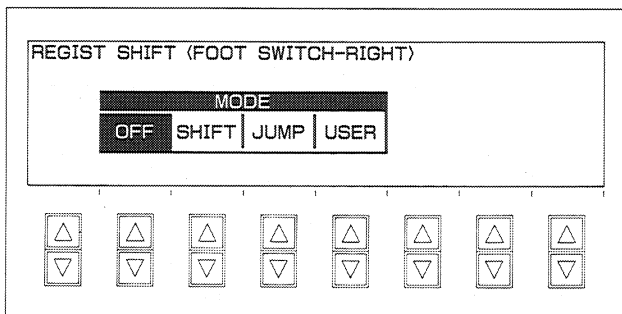


シフトモードを選択

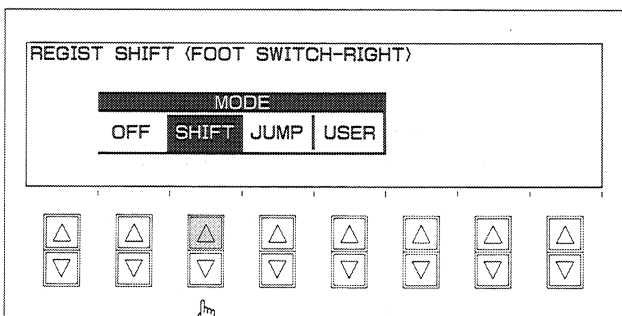
1  
2  
3



例は、レジストシフトボタンを押した場合。



例は、レジストシフトのメニューを表示した状態。



例は、[△] を押して、シフトをオンにした場合。

これで、レジストシフトのシフトモードを設定することができました。

エクスプレッションペダルの右フットスイッチを1回押すごとに、レジストナンバーがひとつずつ右方向に移動し、その度にレジストレーションメモリーがパネル上に再現されます。レジストナンバー 10まで行くと次は11になります。

● [REGIST SHIFT] (レジストシフト) のメニューを表示させます。

● ディスプレイの右にあるレジストシフトボタンを押します。

■ ボタンを押すと、ボタンの上のランプが点灯し、そのボタンを押したことを示します。

● レジストシフトボタンを押すと同時に、ディスプレイにレジストシフトのメニューが表示されます。

● MODE(モード)のSHIFT(シフト)を選択します。

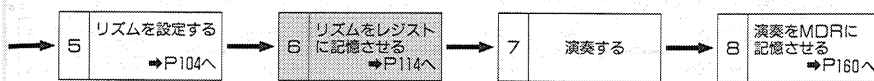
● シフトと表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、黒い枠を移動させます。同じ縦列のものなら、[△][▽]ボタンのどちらを押してもかまいません。

★ モードのメニューは、文字が反転するとオンの状態です。

F2

レジストシフト





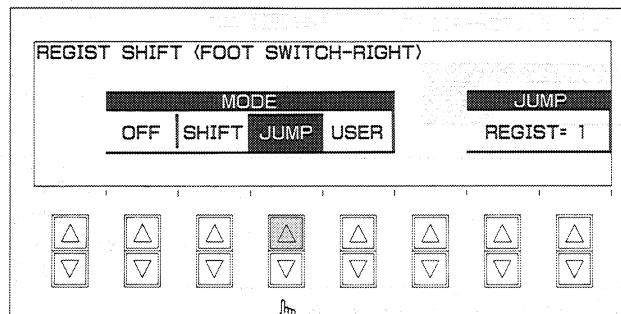
レジストメモリー III. メモリー機能

操作 ジャンプモードを選択する場合。

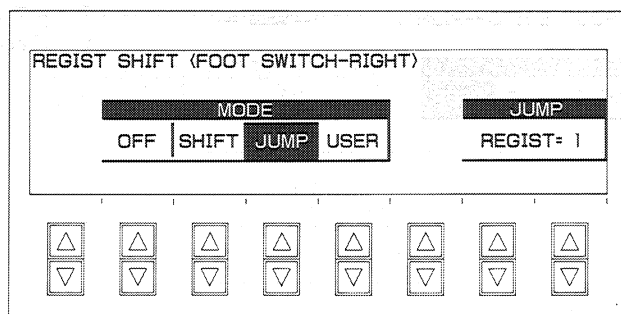
ディスプレイに、レジストシフトのメニューを表示させた後に以下の操作を行います。P146の1、2参照

あらかじめ設定した特定のレジストナンバーにジャンプさせたい場合

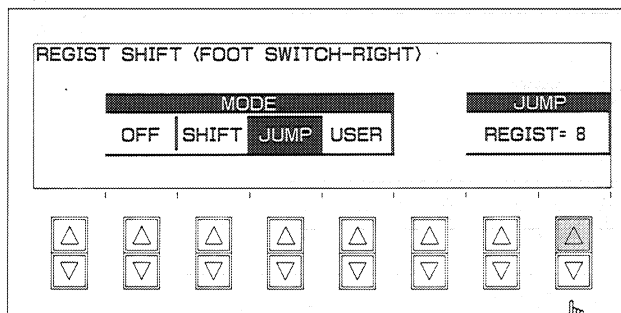
ジャンプモードを選択



例は、[△] ボタンを押して、ジャンプを選んだ場合。



例は、ジャンプモードを表示した状態。



例は、[△] ボタンを押して、レジストナンバー 8 にした場合。

●MODE (モード) のJUMP (ジャンプ) を選択します。

●ジャンプと表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、黒い枠を移動させます。同じ縦列のものなら、[△] [▽] ボタンのどちらを押してもかまいません。

★モードのメニューは、文字が反転するとオンの状態です。

●ジャンプモードを選ぶと同時に、ディスプレイ右端にJUMP (ジャンプ)、REGIST (レジスト) という表示が現れます。

●一番右端のデータコントロールボタンの [△] [▽] を使って、ジャンプさせたいレジストナンバーを指定します。

■ [△] ボタンを押すと数字はひとつずつ増え、[▽] ボタンを押すと数字はひとつずつ減ります。レジストナンバー 1～16の間で変化しますが、ボタンを一方方向に押し続けても数字は巡ります。

■JUMP (ジャンプ) の下の2列分の [△] [▽] ボタンを使うことができます。

F2

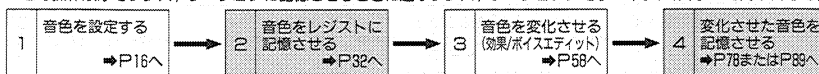
レジストシフト

これで、レジストシフトのジャンプモードを設定することができました。

エクспRESSIONペダルの右フットスイッチを1回押すと、指定したレジストナンバーにジャンプします。指定したレジストレーションメモリーがパネル上に再現されます。

次は、レジストシフトのユーザーモードを選んでみましょう。→P148へ

※この操作順序でレジストレーションに記憶させるときに選ぶレジストレーションメモリーボタンは、すべて同じ番号です。



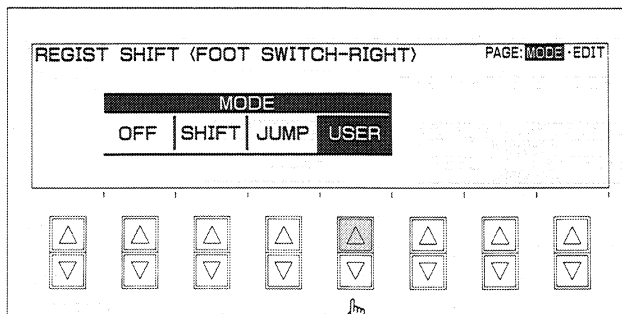
### III. メモリー機能 レジストメモリー

**操作** ユーザーモードを選択する場合。

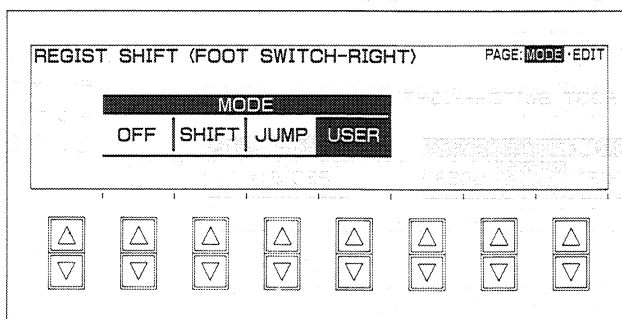
ディスプレイに、レジストシフトのメニューを表示させた後に以下の操作を行います。P146の1、2参照

あらかじめレジストナンバー順を設定しその順番で呼び出したい場合

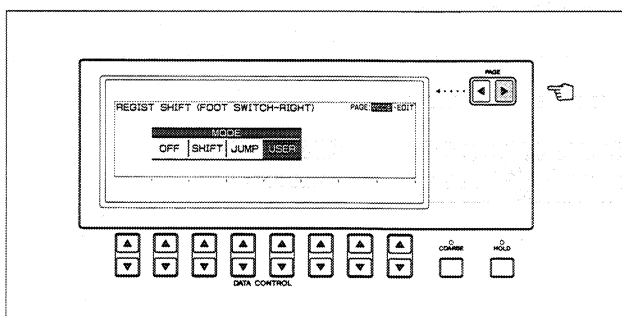
↓  
ユーザーモードを選択



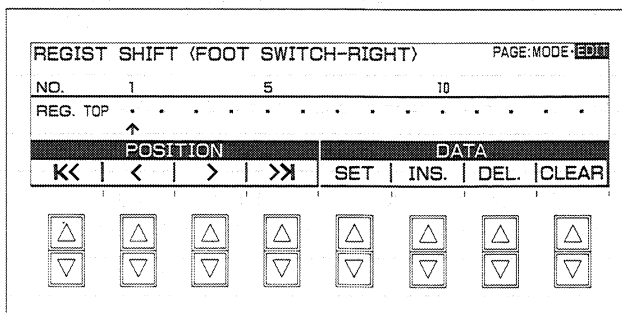
例は、[△]ボタンを押して、ユーザーを選んだ場合。



例は、ユーザーモードを表示した状態。



例は、[▷]ボタンを押して、エディットのページにする場合。



例は、エディットのページを表示している状態。

これで、レジストナンバーをエディット（編集）することができます。

●MODE（モード）のUSER（ユーザー）を選択します。

●ユーザーと表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、黒い枠を移動させます。同じ縦列のものなら、[△][▽]ボタンのどちらを押してもかまいません。

★モードのメニューは、文字が反転するとオンの状態です。

●ユーザーモードを選ぶと同時に、ディスプレイ右上にPAGE（ページ）の表示が現れます。

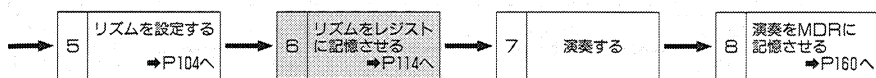
●ユーザーモードを使って、レジストナンバーを組替えるために、ページを移動します。

●PAGE（ページ）ボタン[▷]を使って、EDIT（エディット）のページにします。

●ボタンを押すと同時に、エディットのページが表示されます。

F2

レジストシフト



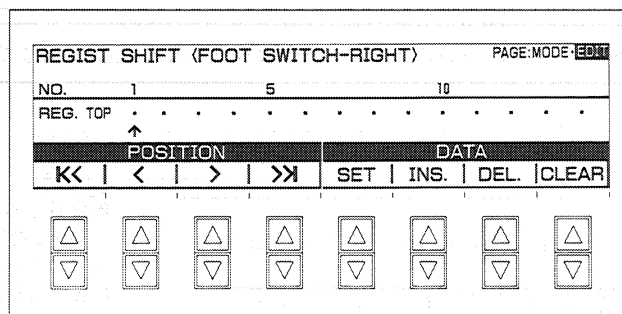
## レジストシフトの順番の設定

レジストシフトのエディットのメニューを使うと、曲にあわせて、好みのレジストレーションを素早く順番に再現することができ、とても便利です。

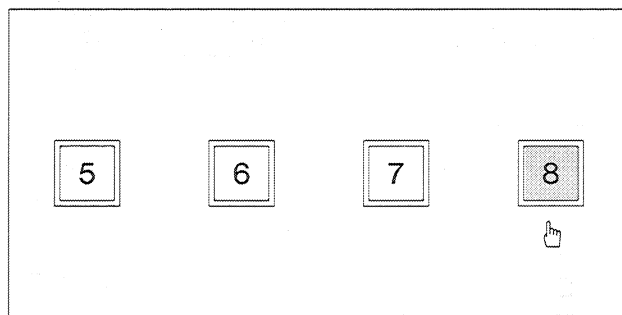
### レジストシフトのエディットの内容

- ①レジストナンバー1～16を編集することができます。
- ②レジストナンバーのひとつずつのセット、付け加え、削除ができます。
- ③編集したレジストナンバーの全消去ができます。
- ④エディットするポジションを示す「↑」を左右に移動させることができます。
- ⑤「↑」をTOPまたは、現在入力されている一番最後のレジストナンバーの位置までジャンプさせることができます。

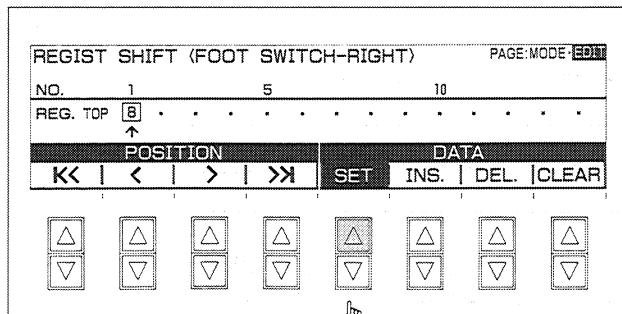
### 操作 レジストナンバーをセットする場合



例は、No.1にレジストナンバーをセットしたいので何もボタンを押さない場合。



例は、レジストナンバー「8」を押した場合。



例は、セットの [△] ボタンを押した場合。

→ P150へ

- レジストナンバーのセットしたい位置を決めます。
- 「↑」で示されている位置に、レジストナンバーがセットされます。
- POSITION(ポジション)の下の「<」「>」と表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、「↑」を左右に移動させます。
- 「|<<」でTOPに、「>>」で現在入力されている一番最後のレジストナンバーの次にジャンプします。
- [COARSE] (コース) ボタンを押しながら「<」「>」を押すと10ずつ「↑」が動きます。

- セットしたいレジストナンバーを押します。  
(ここでは、レジストナンバー8をセットします)

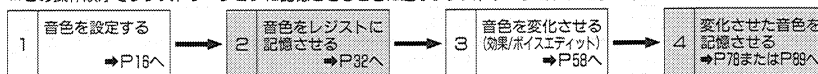
- レジストナンバーは1～16までどれでもセットできます。

- ▲現在点灯しているレジストナンバーを「↑」の位置にセットしたい場合は、レジストナンバーを押す必要はありません。

- DATA(データ)の下のSET(セット)と表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、レジストナンバーをセットします。

- セットボタンを押すごとに、同じレジストナンバーを何度でもセットすることができます。

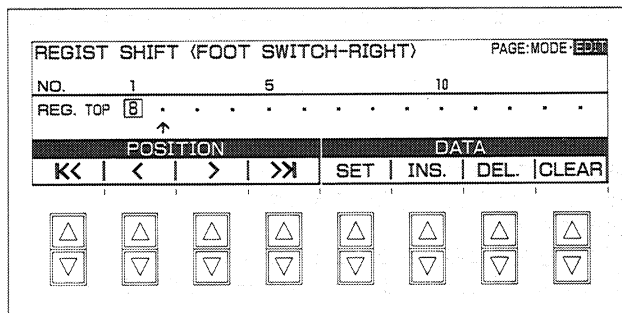
※この操作順序でレジストレーションに記憶させるときに選ぶレジストレーションメモリーボタンは、すべて同じ番号です。



### III. メモリー機能 レジストメモリー

P149から

4



●セットの [△] または [▽] ボタンを押すと同時に、ディスプレイの「↑」の上にレジストナンバーがセットされます。(ここでは、8 がセットされています)

■セットされると、「↑」は自動的に右に移動します。

例は、↑の上にレジストナンバー8がセットされた状態。

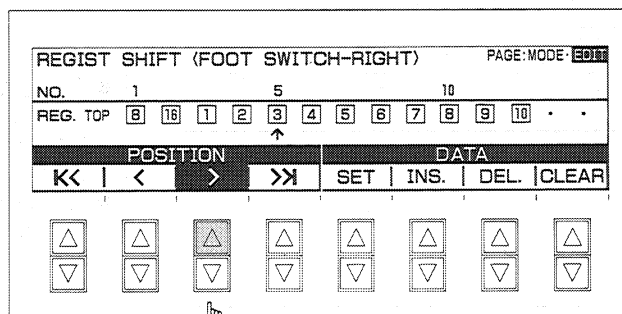
これで、レジストナンバーがセットされました。

必要に応じて3～4の操作で、レジストナンバーをセットします。最大No.80までセットできます。

操

作 インサートを使って、レジストナンバーを付け加える場合。

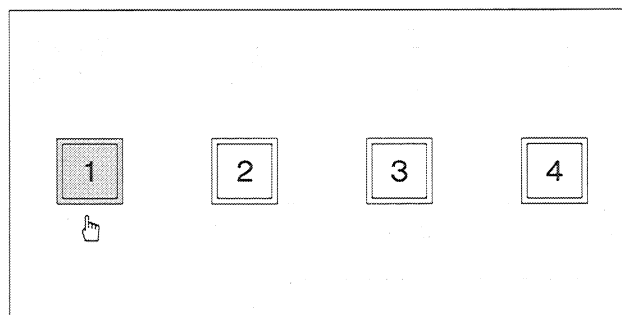
1



例は、「>」の下の [△] ボタンを押して、5番目に移動した場合。

●数多くのレジストナンバーをセットした後で、途中の順番にレジストナンバーを割り込ませます。  
●まず、新たに付け加えたいレジストナンバーの位置を決めます。  
●POSITION(ポジション)の下の「<」「>」と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、「↑」を左右に移動させます。  
●ここでは、TOPから5番目に移動させます。  
▲No. 1以外のデータのないところには「↑」は移動できません。

2

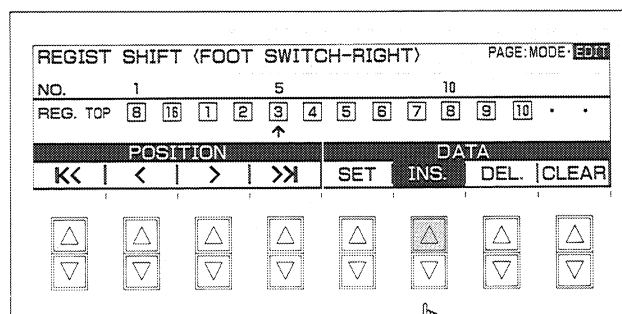


例は、レジストナンバー「1」を押した場合。

●インサートしたいレジストナンバーを押します。  
(ここでは、レジストナンバー1をセットします)

■レジストナンバーは1～16までいつでもインサートできます。  
▲現在点灯しているレジストナンバーを「↑」の位置にインサートしたい場合は、レジストナンバーを押す必要はありません。

3

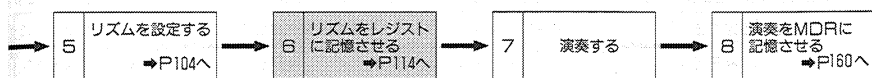


例は、インサートの [△] ボタンを押している状態。

●DATA(データ)の下のINS.(インサート)と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、レジストナンバーを付け加えます。

F2

レジストナンバー



## レジストメモリー III. メモリー機能

4

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)										PAGE:MODE:EDIT	
NO.	1			5				10			
REG. TOP	8	16	1	2	1	3	4	5	6	7	8
POSITION						DATA					
K<   <   >   >>						SET   INS.   DEL.   CLEAR					
<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>						<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>					

例は、5番目にレジストナンバー「1」が加わった状態。

これで、新たにレジストナンバーが付け加えられました。

操

作

デリートを使って、不要なレジストナンバーを削除する場合。

1

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)										PAGE:MODE:EDIT	
NO.	1			5				10			
REG. TOP	8	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9
POSITION						DATA					
K<   <   >   >>						SET   INS.   DEL.   CLEAR					
<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>						<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>					

例は、「>」を押して「↑」を10番目に移動させた場合。

2

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)										PAGE:MODE:EDIT	
NO.	1			5				10			
REG. TOP	8	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9
POSITION						DATA					
K<   <   >   >>						SET   INS.   DEL.   CLEAR					
<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>						<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>					

例は、[△]を押した場合。

3

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)										PAGE:MODE:EDIT	
NO.	1			5				10			
REG. TOP	8	16	1	2	3	4	5	6	7	9	10
POSITION						DATA					
K<   <   >   >>						SET   INS.   DEL.   CLEAR					
<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>						<div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div> <div> <div>△</div> <div>▽</div> </div>					

例は、「↑」の上のレジストナンバー「8」が削除された状態。  
(10番目にあったレジストナンバー「8」が削除)

次の項目は→P152へ

これで、不要なレジストナンバーが削除されました。

- レジストナンバーボタンを押すと同時に、ディスプレイの「↑」の位置にレジストナンバーが加わり、いままであったナンバーは6番目に移動します。  
(ここでは、5番目に割り込みました)
- レジストナンバーがインサートされると、「↑」は自動的にひとつ右に移動します。

- まず、必要のないレジストナンバーの下に「↑」を移動させます。
- POSITION(ポジション)の下の「<」「>」と表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、「↑」を左右に移動させます。(ここでは、10番目の8を削除します)
- 「|<<」でTOPに、「>>|」でENDにジャンプします。
- [COARSE] (コース) ボタンを押しながら「<」「>」を押すと10ずつ「↑」が動きます。

- DATA(データ)の下のDEL.(デリート)と表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、不要なレジストナンバーを削除します。
- [△]または[▽]ボタンを押して、「↑」で示されたレジストナンバーを削除します。
- ▲「↑」がTOP以外の位置にあることを確認してください。
- TOPに「↑」があるときは、DEL.機能は動きません。
- もしくは「↑」がTOPにあるとDATAの中のCLEAR以外の機能は動きません。

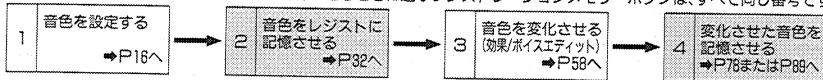
- デリートの下の[△]ボタンを押すと同時に、「↑」の上のレジストナンバーが削除されます。

F2

レジスト  
ソフト  
ト

### III. メモリー機能 レジストメモリー

\*この操作順序でレジストレーションに記憶させるときに選ぶレジストレーションメモリーボタンは、すべて同じ番号です



操作 いままでエディットしたレジストナンバーを全部消去する場合。

P151から

例は、クリアの [△] ボタンを押した場合。

例は、メッセージを表示した状態。

例は、左から3番目の [△] ボタンを押して、OKを選んだ場合。

例は、全てのデータが消去された状態。

これで、エディットの全てのデータが消去されました。新たにエディットし直すことができます。

● いままでエディットしたレジストナンバーが全て不必要になった場合に、データを全部消去します。

● DATA (データ) の下のCLEAR (クリア) と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、全部のレジストナンバーを消去します。

● クリアの下の [△] ボタンを押すと同時に、Data All Clear Are You Sure? (データ、オール、クリア、アー、ユー、シュア?) とメッセージが表示され、データ全部を本当に消してもいいですかと尋ねてきます。

● 本当にデータを消去してもよければ [OK] を、取り消す場合は [Cancel] (キャンセル) を選びます。

● OKを選ぶ場合は、左から3番目または、4番目のデータコントロールボタンの [△] か [▽] を押します。

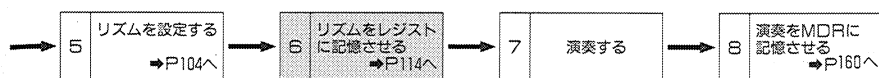
● キャンセルを選ぶ場合は、右から3番目または、4番目のデータコントロールボタンの [△] か [▽] を押します。

● OKを選択して [△] ボタンを押すと同時にCompletedが表示し、全てのデータが消去され、レジストナンバーが何もない状態になります。

■ キャンセルを選択した場合は、クリアボタンを押す前の状態に戻ります。

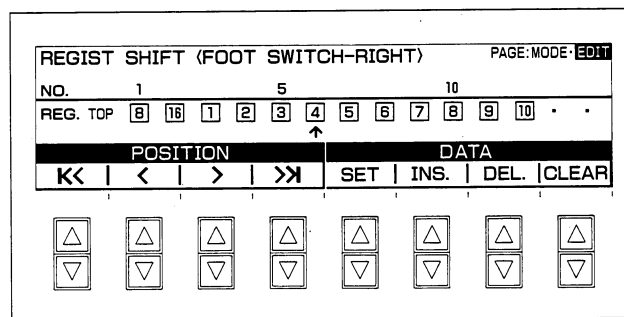
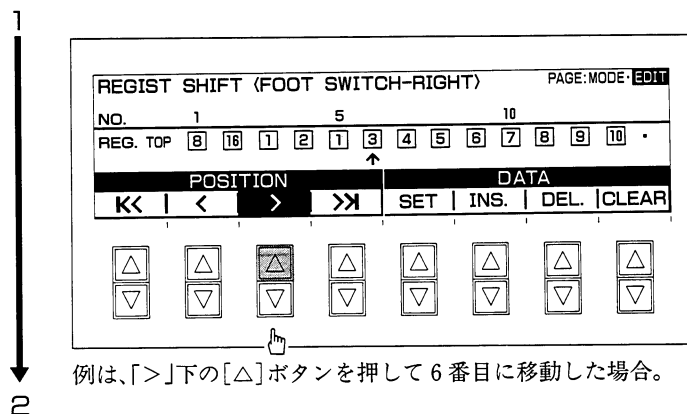
F2

レジストシフト



## レジストメモリー III. メモリー機能

**操作** エディットしたレジストナンバーを再現する場合。



●POSITION (ポジション) の下の「<」もしくは「>」と表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、再現したいレジストナンバーの下に「↑」を移動させます。(ここでは、6番目の3の下に移動)

■「↑」を移動させると、その上の番号のレジストレーションが再現されます。

●右フットスイッチを押して、次のレジストレーションを再現します。右フットスイッチを押すとディスプレイの「↑」がひとつ右に移動し、その上の番号のレジストレーションが再現されます。

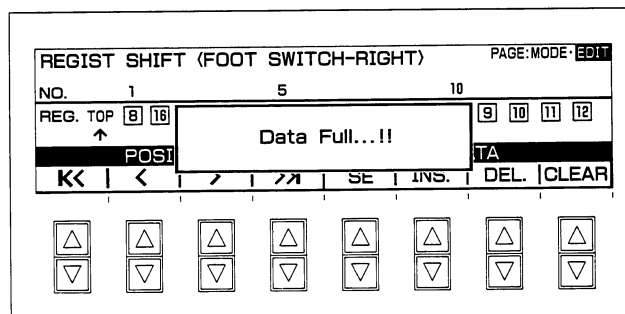
■必要に応じて右フットスイッチを押して、レジストレーションを再現させます。

## 注意

◆エディットしたレジストレーションの最初から再現したいときは、あらかじめ「↑」をTOPの位置に戻してください。

## こんなときは

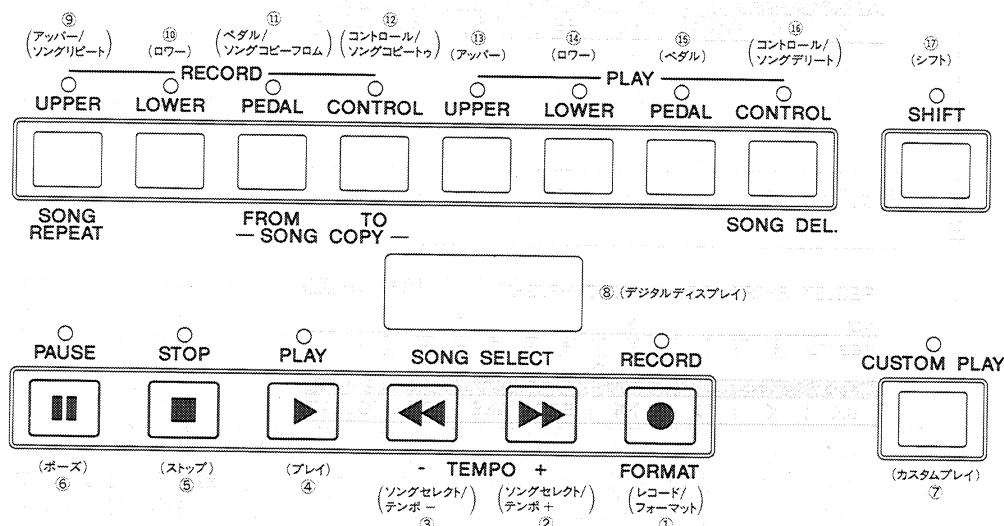
★INS. (インサート) を押して、ディスプレイにData Full...!! (データ、フル!!) と表示された場合。



上記のように表示された場合は、すでにセットされているレジストナンバーが80までいっぱい詰まっていることをメッセージしています。  
新しくレジストナンバーを加えたいときは、不必要なレジストナンバーを削除してから、インサートし直してください。

## ミュージックディスクレコーダーについて

### ミュージックディスクレコーダー (MDR) の各部の名称



### 解 説

- ①RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)：録音を行うとき、まず最初に押すボタンです。また、シフトを押しながらONにすればフロッピーディスクのフォーマットが行える状態になります。
- ②SONG SELECT/TEMPO+ (ソングセレクト/テンポ+)：ソングナンバーを進めるときに押します。シフトを押しながら、このボタンを押せば、再生のテンポを早くすることができます。また、再生中に押せば、早送りができます。
- ③SONG SELECT/TEMPO- (ソングセレクト/テンポ-)：ソングナンバーを後退させるときに押します。シフトを押しながらこのボタンを押せば、再生のテンポを遅くすることができます。また、再生中に押せば早戻しができます。
- ④PLAY (プレイ)：ストップ状態のときに押せば、レジストレーションの送信と演奏の再生がスタートします。レコードをONにした後で押せば、レジストレーションの受信と演奏の録音がスタートします。
- ⑤STOP (ストップ)：録音や再生をストップさせるときに押すボタンです。
- ⑥PAUSE (ポーズ)：再生中にこのボタンを押せば、再生を一時的に停止させることができます。
- ⑦CUSTOM PLAY (カスタムプレイ)：演奏のみの再生または録音がスタートします。
- ⑧デジタルディスプレイ：ストップ時にはソングナンバー、録音時にはメモリー残量、再生時には時間を表示します。その他、現在の状態を示す記号なども表示します。

### レコードセクション

- ⑨UPPER/SONG REPEAT(アップパー/ソングリピート)：録音時にこのボタンがONになっていれば、上鍵盤の演奏が録音されます。また、シフトを押しながらONにすれば、リピート再生が行えるようになります。
- ⑩LOWER (ローワー)：録音時にこのボタンがONになっていれば、下鍵盤の演奏が録音されます。
- ⑪PEDAL/SONG COPY FROM (ペダル/ソングコピーフロム)：録音時にこのボタンがONになっていれば、ペダル鍵盤の演奏が録音されます。また、シフトを押しながらONにすれば、コピー元のソングナンバーが選択できます。
- ⑫CONTROL/SONG COPY TO(コントロール/ソングコピートゥ)：録音時にこのボタンがONになっていれば、エクスプレッションペダルなどのデータが記録されます。また、シフトを押しながらONにすれば、コピー先のソングナンバーが選択できます。

### プレイセクション

- ⑬UPPER(アップパー)：再生時または録音時にこのボタンがONになっていれば、録音した上鍵盤の演奏が再生されます。



- ⑭LOWRE(ロワー): 再生時または録音時にこのボタンがONになっていれば、録音した下鍵盤の演奏が再生されます。
- ⑮PEDAL(ペダル): 再生時または録音時にこのボタンがONになっていれば、録音したペダル鍵盤の演奏が再生されます。
- ⑯CONTROL/SONG DEL.(コントロール/ソングデリート): 再生時または録音時にこのボタンがONになっていれば、記録したエクスプレッションペダルなどのデータが再現されます。また、シフトを押しながらONにすれば、ソングの削除が行えるようになります。
- ⑰SHIFT(シフト): このボタンを押している間は、各ボタンの下に表示されている緑色の文字の機能に切り替わります。

## デジタルディスプレイの表示の意味を知りましょう。

誤った操作を行ったときやなんらかのエラーが生じた場合は、デジタルディスプレイに下表のような記号が表示されます。表示の意味を理解して、対処してください。

表示	表示の意味と対処方法
<b>inst</b>	フロッピーディスクが装着されていません。フロッピーディスクを装着してください。
<b>Formt</b>	装着したフロッピーディスクは、まだフォーマットされていません。フォーマットしてください。
<b>Prot</b>	①フロッピーディスクが記録不可状態になっているため、録音、ソングコピー、ソングデリートが行えません。フロッピーディスクのプロテクトタブを記録可能状態にセットし直してください。 ②コピープロテクトのかかったフロッピーディスクを使っているとき、録音やソングコピー、ソングデリートを行おうとした場合にこのメッセージが表示されます。
<b>Full</b>	①メモリー残量がなくなったため、録音、ソングコピーが行えません。別のフロッピーディスクを装着してください。 ②全てのソングナンバーにデータが記録されているため、ソングコピーが行えません。ストップを押して、不要なソングを削除してください。 ③パート録音を行おうとしたとき、メモリー残量が不足していると、このメッセージが表示されます。
<b>Empty</b>	全てのソングナンバーにデータが記録されていないため、ソングコピーが行えません。ストップを押して、データを記録しているフロッピーディスクを装着してソングコピーをし直してください。
<b>fault</b>	録音/再生中などにフロッピーディスクを取り出したため、エラーになりました。ストップを押し、フロッピーディスクを装着して操作をやり直してください。
<b>disc</b>	このエレクtoonでは再生できないフロッピーディスクが装着されています。ストップを押し、適切なフロッピーディスクを装着してください。
<b>lost</b>	非常に多くのデータを録音しようとしたため、録音できませんでした。ストップを押し、録音し直してください。
<b>bad</b>	フロッピーディスクに不良があるため、フォーマットできません。ストップを押し、別のフロッピーディスクを装着してフォーマットし直してください。
<b>Error</b>	内部通信になんらかのエラーがありました。ストップを押して、操作をやり直してください。
<b>cf09</b>	MDRのメモリー (RAM) になんらかのエラーがありました。ストップを押し、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても、同じメッセージが表示される場合は故障ですので、販売店またはお近くのサービスセンターまでご連絡ください。
<b>--01</b>	すでにデータが記録されているソングナンバーに録音しようとしたため、そのソングナンバーの左に「--」が表示されました。ストップを押し、別のソングナンバーを選び録音し直してください。
<b>Pr01</b>	プロテクトのかかったフロッピーディスクを使っていることを示しています。下2桁がソングナンバーを示しています。
<b>0000</b>	違う機種のボイスディスクが挿入されました。正しいフロッピーディスクを挿入してください。
<b>1rrE</b>	ボイスディスクのフォーマットが違っています。正しいフロッピーディスクを挿入してください。

G

ミュージックディスクレコーダーについて

## MDRのできること(MDRの機能)

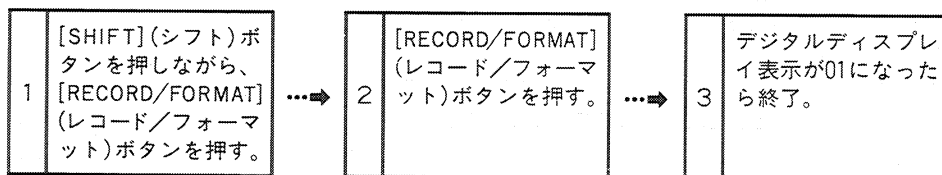
- ★レジストレーションのデータをフロッピーディスクに記録させることができます。
- ★エレクトーン演奏の録音と再生が行えます。
- フロッピーディスクをフォーマット(初期化)することができます。⇒P160
- レジストレーションだけを記録することができます。⇒P162
- 1枚のフロッピーディスクに40曲まで演奏を録音することができます。⇒P165
- エレクトーン演奏の録音やレジストレーションデータを記録することができます。⇒P165
- エレクトーン演奏の録音を途中で中断して、最初から録音し直すことができます。⇒P167
- 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の演奏をそれぞれ別に録音できるほか、エクスプレッションペダルやレジストレーションメモリーの切り替えを記録することができます。⇒P168
- フロッピーディスクのメモリー残量をデジタルディスプレイで確認することができます。⇒P176
- 録音した曲を再生することができます。⇒P177
- 再生を途中でストップすることができます。⇒P178
- レジストレーションデータは再生させずに、演奏だけを再生することができます。⇒P178
- 再生中に一時停止することができます。⇒P179
- 再生中に5倍の早さで早送りまたは、早戻しをすることができます。⇒P179
- 録音したパートの中から、特定のパートだけを再生することができます。⇒P180
- フロッピーディスクに録音した全ての曲または、特定の1曲だけを繰り返し再生することができます。⇒P181
- 録音した曲のテンポを50～200%の範囲で変えることができます。⇒P183
- テンポ変更後、録音したときのテンポに戻すことができます。⇒P183
- すでに録音した曲を別のソングナンバーにコピーすることができます。⇒P184
- フロッピーディスクに録音してある不要になった曲を削除することができます。⇒P186

## MDRの基本的な操作手順

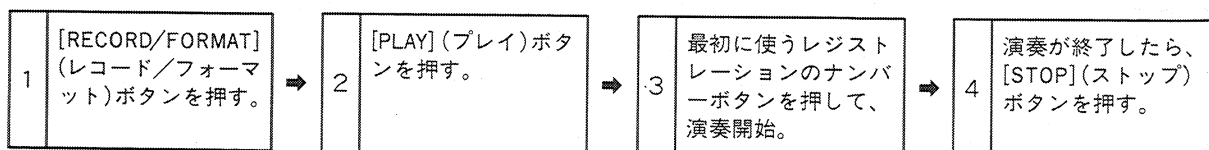
付属および市販の3.5インチ2DD、または2HDフロッピーディスクを挿入口に挿入します。

フォーマット	録音	再生
エレクトーン演奏の録音・再生ができるよう、フロッピーディスクに「フォーマット(初期化)」という処置を施します。	エレクトーン演奏を各パートごとにそれぞれ記録できます。	録音したエレクトーンの演奏を各パートごとにそれぞれ再生できます。

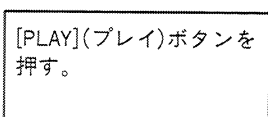
### フォーマット



### 録音



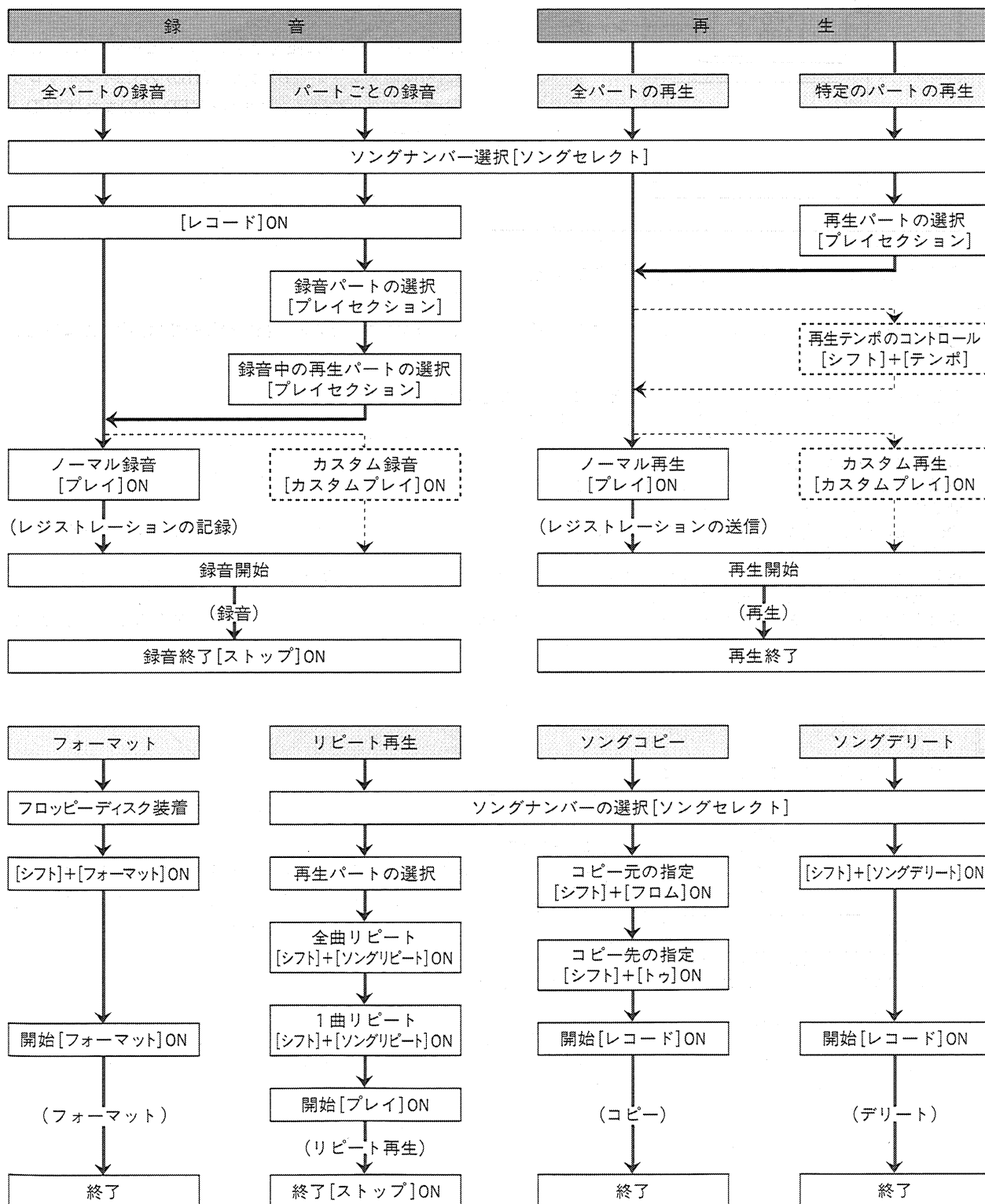
### 再生



# 操作チャート

## 解説

基本的な機能である録音と再生は、全パートまたはパートごと(再生ではマイナスワン再生)に使い分けることができます。そして、フロッピーディスクのフォーマットや、録音した曲を自由に編集できるリピート再生、ソングコピー、ソングデリートなど簡単な操作で高度な機能が得られます。

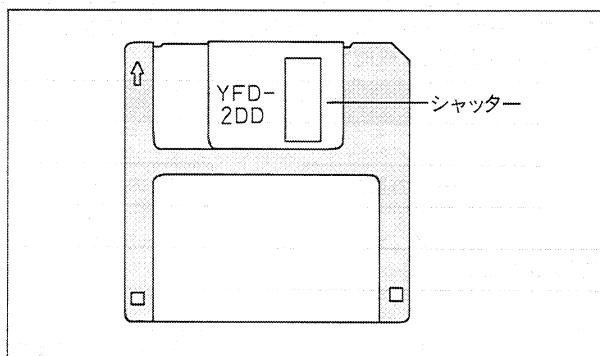


G

ミュージックディスクレコーダーについて

## フロッピーディスクについて

### フロッピーディスクの規格について



EL-90で録音・再生に使用できるフロッピーディスクは、両面倍密度倍トラック (2DDまたは2HD) の3.5インチフロッピーディスク (推奨品: ヤマハ・YFD-2DDまたはYFD-2HD) です。

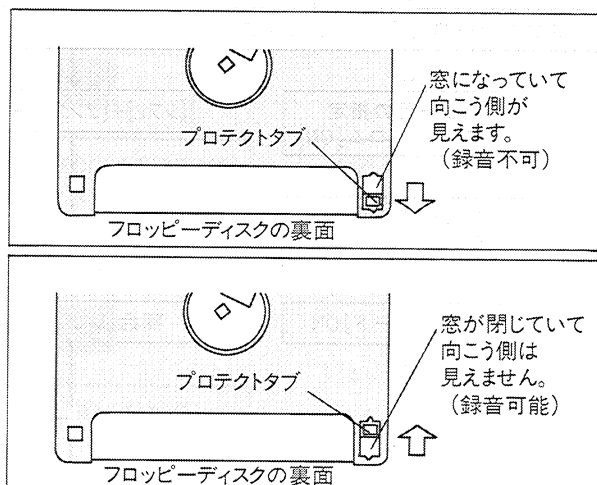
### フロッピーディスクの取り扱いと保管について

フロッピーディスクのなかには、情報を記憶する磁性体が入っていますので、その取り扱いや保管では、次の点に注意してください。

- ◆磁気を帯びたもの (テレビの上、磁石など) には絶対に近づけないでください。
- ◆シャッターを開けたり磁性体に手を触れたりしないでください。
- ◆差し込み口の先端を堅いものでこすったり、傷を付けないようにしてください。
- ◆内部に水やホコリが入らないよう注意してください。
- ◆保管する場合は、過度な温度や湿気に注意してください。
- ◆必ず、専用のケースに入れて保管してください。
- ◆持ち運ぶ際も、市販の専用のケースに入れてお使いください。まれに、衣類などの静電気によってフロッピーディスクの情報が消えてしまうことがあります。
- ◆シャッターが上下に開いているような変形したフロッピーディスクは使用しないでください。MDRが壊れたり、フロッピーディスクが取り出せなくなることがあります。
- ◆大切な情報を記憶させたフロッピーディスクは、万一のトラブルに備えて、他のフロッピーディスクにも情報を記憶させて、予備のフロッピーディスクをつくるようにしましょう。

### 録音内容の保護について

大切な録音内容を誤って消さない為に



- フロッピーディスクのプロテクトタブを図の様にスライドしておくと、再録音ができなくなります。この状態を「プロテクト」といい、再生のみできるようになります。

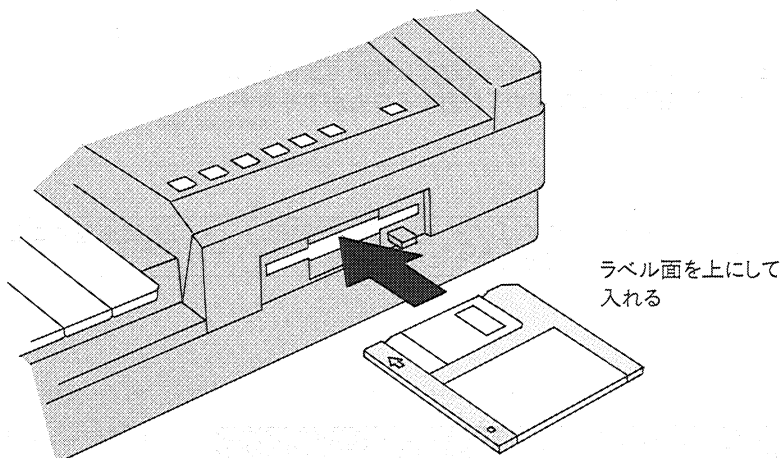
再び録音したい場合は

- プロテクトタブを戻せば、再び録音できます。

## フロッピーディスクの出し入れ

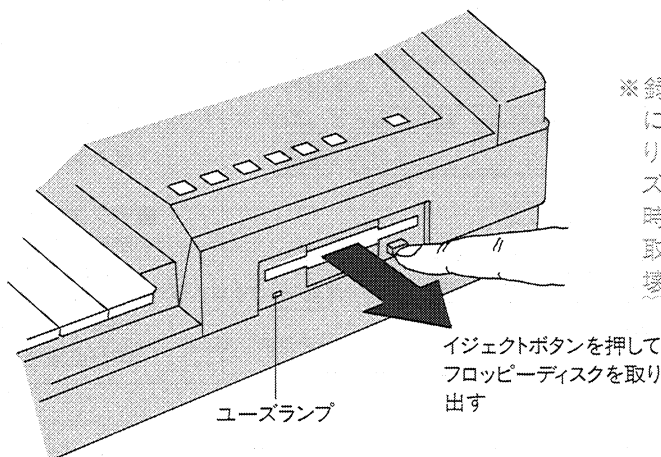
### 1. 入れかた

図のようにラベル面を上にし、「カチャ」と音がするまでしっかり入れます。



### 2. 取り出しかた

ランプが消えていることを確認した上で、イジェクトボタンを押して、ディスクを取り出します。



※録音や再生中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないで下さい。ユーズランプが点灯している時にフロッピーディスクを取り出すと、録音内容が壊れる場合があります。

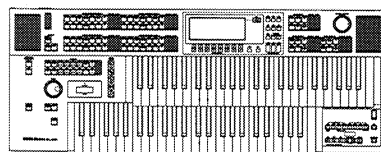
## 注 意

- ◆イジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出たことを確認し、取り出してください。
- ◆イジェクトボタンを中途半端に押したり、あわてて押すと、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり、取り出せなくなる場合があります。また、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクやMDR本体の故障の原因となります。
- ◆イジェクトボタンが中途半端な状態になったり、フロッピーディスクが完全に出ない場合は、もう一度イジェクトボタンをしっかりと押しなおすか、またはフロッピーディスクをMDRに完全に押し込んで、再度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして、取り出してください。

G

ミュージックディスクレコーダーについて

## いろいろな録音のしかた



▲操作部分

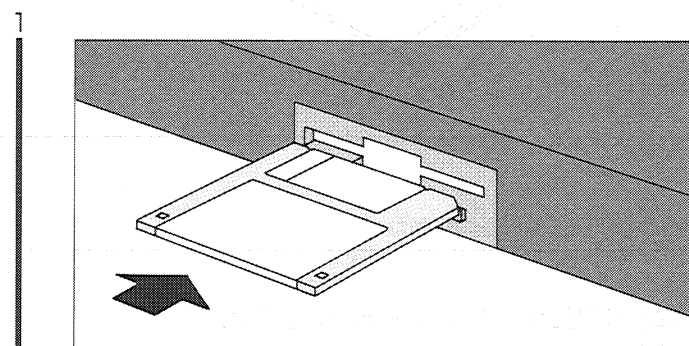
### フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

付属および市販のフロッピーディスクは、そのままの状態では使用できません。「フォーマット（初期化）」という処置を施して初めて使用することができます。

#### 機能

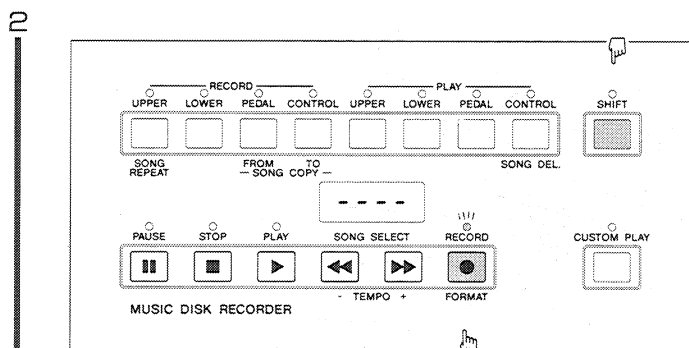
未初期化状態のフロッピーディスクを「フォーマット（初期化）」という処置を施すことによって、MDRでエレクトーンの演奏を録音・再生できるようになります。

#### 操作



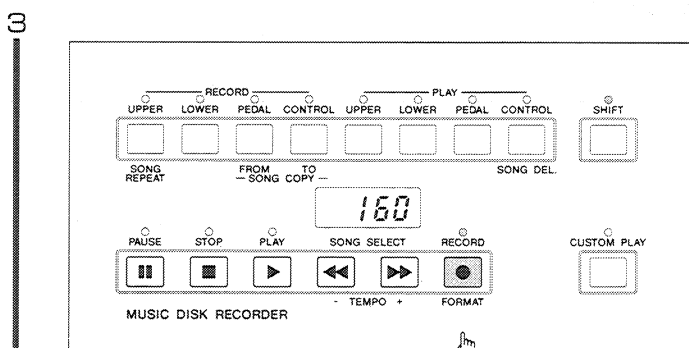
●フォーマットしたいフロッピーディスクを装着します。

■未使用の3.5インチ2DD、または2HDフロッピーディスクを表を上にして、カチャッという音がするまで水平に挿入してください。



●[SHIFT]（シフト）ボタンを押しながら、[RECORD/FORMAT]（レコード／フォーマット）ボタンを押します。

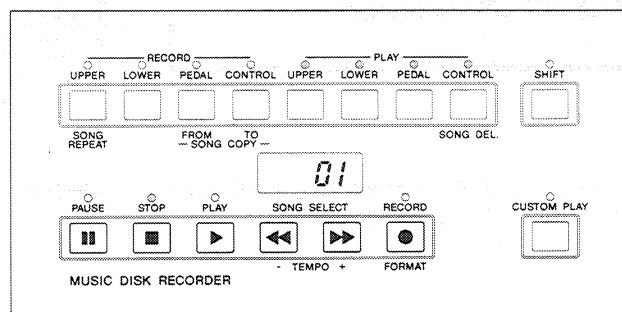
■デジタルディスプレイに「---」が表示され、フォーマットが行える状態になったことを示します。そのとき、レコード／フォーマットの緑（グリーン）のランプが点滅を開始します。



●レコード／フォーマットボタンを押します。

■レコード／フォーマットのグリーンランプが点滅から点灯に変わり、フォーマットが始まります。このとき、デジタルディスプレイには「160」が表示され、その後「001」までカウントダウンしていきます。

↓  
4



- フォーマットが終わると同時に、[RECORD/FORMAT] (レコード/フォーマット) ボタンの上のランプが消え、デジタルディスプレイには、ソングナンバーが表示されます。

これで、MDR用のフロッピーディスクができあがりました。演奏の録音と再生をお楽しみください。

#### 注 意

- ◆MDR用としてつくり変えていないフロッピーディスクを装着して操作を行おうとすると、デジタルディスプレイに「*For*t」が表示され、フォーマットを行うように促します。
- ◆フロッピーディスクのプロテクトタブは、録音可能状態のままにしておいてください。
- ◆録音済みのフロッピーディスクに誤ってフォーマットの操作を行うと、すでに記録されていたデータが失われてしまいますので、フォーマットするフロッピーディスクがデータを記録していないかどうかを確かめた上で、フォーマットしてください。RECORDボタンを押したときに、[—05]のように、ソングナンバーの左に[—]があれば、録音済みです。
- ◆レジストレーションメニューディスク、ボイスディスクはフォーマットできません。

#### 補 足

- ◆2HDのフロッピーディスクは、2DDのフロッピーディスクより、記憶できる情報量が多くなります。ひとつのソングナンバーに多くの情報を入れたいときには、2HDのフロッピーディスクの方が適しています。なお、ソングナンバーの数は、どちらも40までしか入りません。

#### ■MDRドライブユニットのヘッドのクリーニングについて

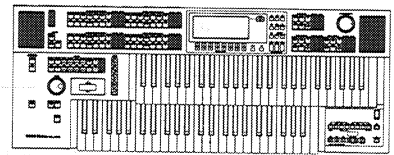
MDRのドライブユニットには、データを読み取るための磁気ヘッドがあります。この磁気ヘッドが汚れると、データの読み取りができなくなったり、ディスクが傷ついたりします。

市販のクリーニングディスク(乾式)で、定期的に磁気ヘッドのクリーニングを行うよう心がけてください。

G1

いろいろな録音のしかた

# レジストレーションデータの記録



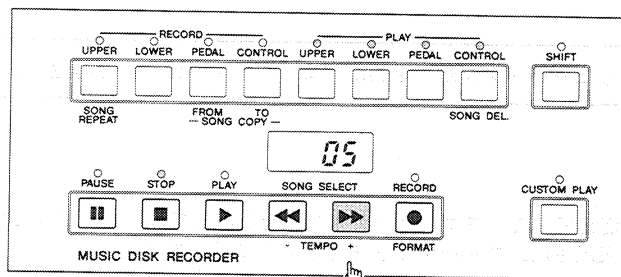
▲操作部分

機能

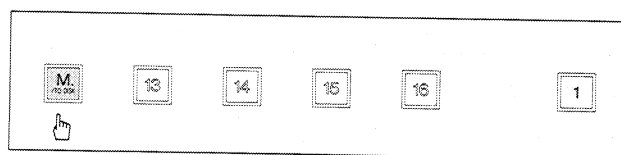
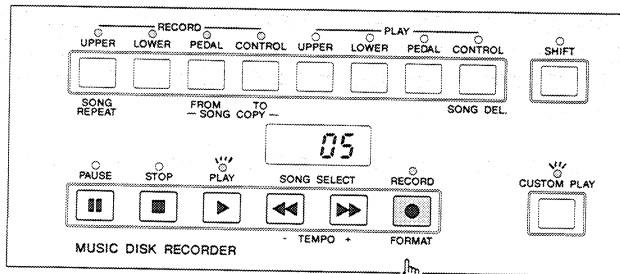
エレクトーンのレジストレーションメモリーボタンに記録させたレジストレーションデータを一括して、フロッピーディスクに移す（記録させる）ことができます。

操作

[M./TO DISK]  
ボタンを使っ  
てレジストレ  
ーションのデ  
ータをフロッ  
ピーディスク  
に記憶させたい場合



例は、[>>] ボタンを押してソングナンバー 5 を選んだ場合。



●ディスプレイの「----」は「記録中です」という意味です。

これで、エレクトーンのレジストレーションのデータがフロッピーディスクに記録されました。

●レジストレーションデータを記録したいソングナンバーを選びます。

●SONG SELECT (ソングセレクト) の[<<] [>>] ボタンを使って、ソングナンバーを選びます。

●MDRの [RECORD/FORMAT] (レコード/フォーマット) ボタンを押しながら、エレクトーンの上鍵盤の下にある [M./TO DISK] (メモリー) ボタンを押します。

●まずレコード/フォーマットボタンを押します。

■選択したソングナンバーになんらかのデータが記録されている場合はソングナンバーの左に「--05」が表示され点滅します。別のソングナンバーを選択してください。

▲メモリーボタンを押すまで、レコード/フォーマットボタンは押したままにします。

●エレクトーンの上鍵盤の下にある [M./TO DISK] (メモリー) ボタンを押します。

補足

MDRを使用して演奏中にレジストレーションの入れ替えを行う場合

(1) レジストレーションにユーザーボイス、ユーザーフルートボイスを使用しない場合、MDRの「プレイ」ボタンの操作にてレジストレーションの入れ替えができます。

(2) レジストレーションにユーザーボイス、ユーザーフルートボイスを使用したい場合、

① ユーザーボイス、ユーザーフルートボイスを、最初に演奏するレジストレーションのユーザーエリアに登録してください。

② レジストレーションの入れ替えは、MDRの「シフト」を押しながら「カスタムプレイ」ボタンを押して下さい。

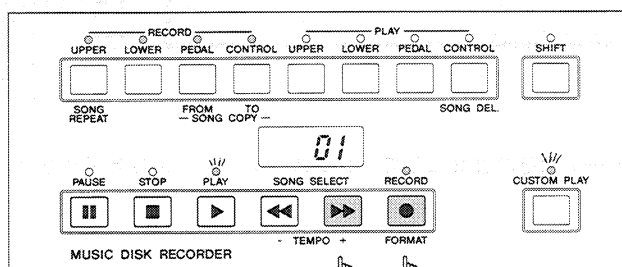
注意

◆ソングナンバーを選んでレジストレーションを記録させるときなど、新たにデータを記録させる場合は、必ずデジタルディスプレイの表示を確認してください。デジタルディスプレイに「--05」が表示され点滅しているにもかかわらず、そのまま新しいデータを記録すると、以前に記録されていたデータが消えてしまいますので、注意してください。

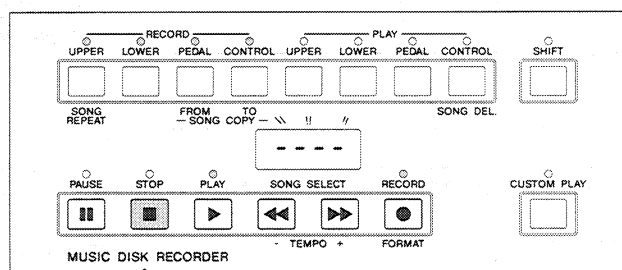
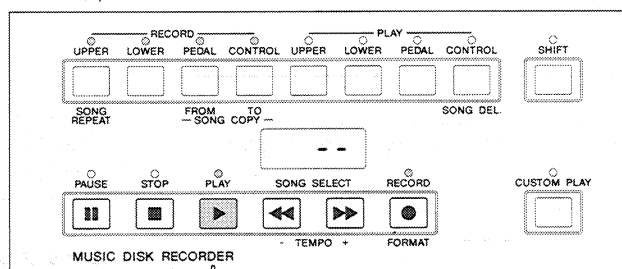


操 作

MDRのボタン  
だけを使って、  
レジストレー  
ションのデー  
タをフロッピ  
ーディスクに  
記録したい場  
合

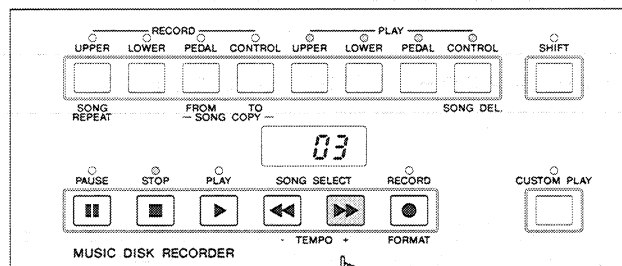


例は、[>>] ボタンを押してソングナンバー 1 を選んだ後に、  
レコード/フォーマットボタンを押した場合。

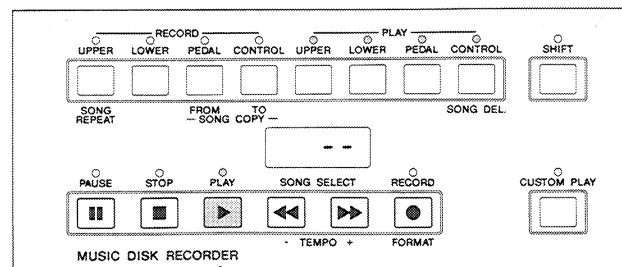


これで、エレクトーンのレジストレーションのデータがフロッピーディスクに記録されました。  
次に、フロッピーディスクに記録したレジストレーションをエレクトーンに読み込ませます。

フロッピーデ  
ィスクに記録  
したレジスト  
レーションを  
エレクトーン  
に読み込ませ  
る場合



例は、[>>] ボタンを押してソングナンバー 3 を選んだ場合。



これで、フロッピーディスクに記録していたレジストレーションのデータがエレクトーンに移りました。

- SONG SELECT(ソングセレクト)の[<<][>>]ボタンを使って、ソングナンバーを選びます。
- RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)ボタンを押します。
- 選択したソングナンバーになんらかのデータが記録されている場合は、ソングナンバーの左に「--01」が表示され点滅します。その曲に記録したいときはRECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)ボタンを押します。
- PLAY(プレイ)ボタンが点滅します。

- PLAY(プレイ)ボタンを押します。

- デジタルディスプレイの「-」が左から右へ走行を始め、レジストレーションのデータが記録されます。

- デジタルディスプレイの「-」が走行を始めたら、STOP(ストップ)ボタンを押します。

- ストップボタンを押すと同時に、デジタルディスプレイに表示された「----」が点滅を始め、レジストレーションのデータが記録されます。終了すると自動的にストップします。

- レジストレーションデータを記録したソングナンバーを選びます。

- SONG SELECT(ソングセレクト)の[<<][>>]ボタンを使って、ソングナンバーを選びます。

- 次に、PLAY(プレイ)ボタンを押します。

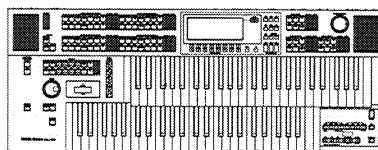
- デジタルディスプレイの「-」が右から左に走行し、記録したレジストレーションのデータがエレクトーンに読み込まれます。終了すると、ストップ状態に戻り、レジストレーションのデータが使用できます。

- ▲ レジストレーションデータの読み込み時、リズムがスタートしていた場合リズムプログラムでつくったデータは読み込まれません。

G1

いろいろな録音のしかた

## レジストレーションのデータだけを差し替える



▲操作部分

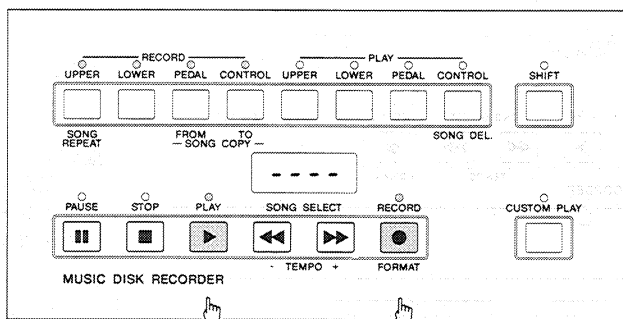
### 機能

録音を行った後、演奏データはそのままにして、レジストレーションのデータだけを一括して差し替えることができます。

### 操作

1 あらかじめ、新しく差し替えたいレジストレーションのデータをレジストレーションメモリーボタンに記録させておきます。

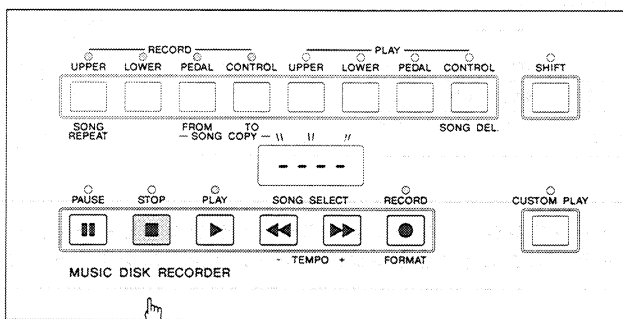
2



●差し替えを行いたいソングナンバーを選び、RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)ボタンを2回押し、次にPLAY(プレイ)ボタンを押します。

●デジタルディスプレイの「-」が走行し、前に記録したレジストレーションのデータが消去され、新たにレジストレーションのデータが記録されます。

3



●デジタルディスプレイの「-」が走行を始めたら、STOP(ストップ)ボタンを押します。

■ストップボタンを押すと同時に、デジタルディスプレイに表示された「---」が点滅を始め、レジストレーションのデータが記録されます。終了すると自動的にストップします。

これで、レジストレーションのデータだけの差し替えができました。

G1

いろいろな録音のしかた

### 補足

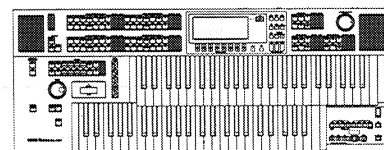
◆レジストレーションデータの差し替えは、レジストレーションを記録させるのと同様に、現在エレクトーンのレジストレーションメモリーボタンに記録させている全てのデータが一括して差し替えられます。

◆P162の操作 ([M./TO DISK] ボタンを使う操作) をしても、レジストレーションのデータの差し替えをすることができます。その際、ソングナンバーは、差し替えを行いたい番号を選んでください。

### 注意

◆データを記録させたフロッピーディスクは、ラジオやテレビなど磁気が発生するものには近づけないようにしてください。  
フロッピーディスクは、カセットテープのように磁気によってデータを記録させているため、他から磁気の影響を受けると、正確にデータを再現できなくなる恐れがあります。

## 演奏を録音する



▲操作部分

機能

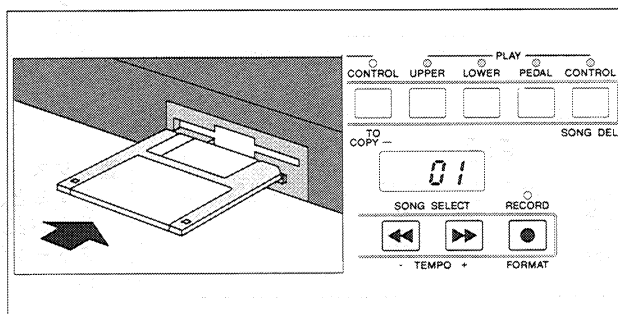
通常のエレクトーン演奏の録音やレジストレーションのデータの記録が行えます。

操作

ソングナンバー 2 に録音する場合。

1 演奏に使用したいレジストレーションを、エレクトーンのレジストレーションメモリーに必要なだけ記憶させ、曲の先頭で使うレジストレーションをパネルにセットしてください。

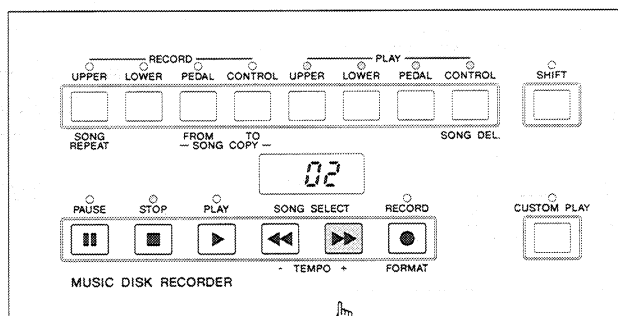
2



●フォーマット済みのフロッピーディスクを装着します。

■装着後、デジタルディスプレイには [ 01 ] が表示され、今ソングナンバー 1 番が選ばれていることを示します。

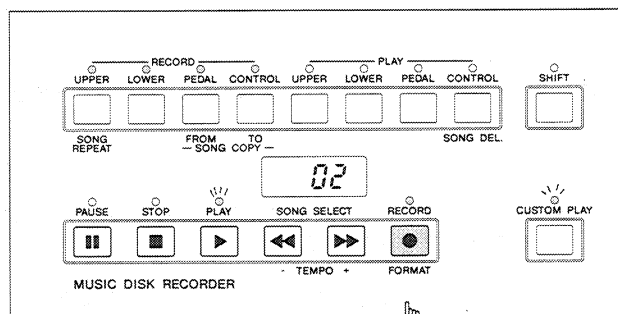
3



●SONG SELECT (ソングセレクト) の [ << ] [ >> ] ボタンを使って、録音したいソングナンバーを選びます。

■ソングナンバーは 1 ~ 40 番まであり、ソングセレクトボタンを押すことによって、デジタルディスプレイに表示されるソングナンバーを自由に選ぶことができます。

4



例は、[ >> ] ボタンを押してソングナンバー 2 を選んだ場合。

●RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

■レコード/フォーマットランプが点灯し、録音が行える状態になったことを示します。この時、PLAY (プレイ) ランプとCUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ランプは赤く点滅し始めます。

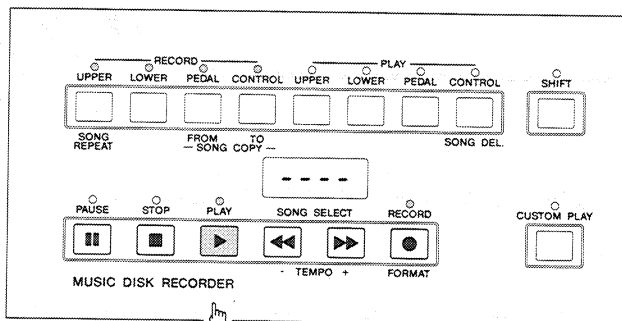
G1

いろいろな録音のしかた

### III. メモリー機能

#### ミュージックディスクレコーダー(MDR)

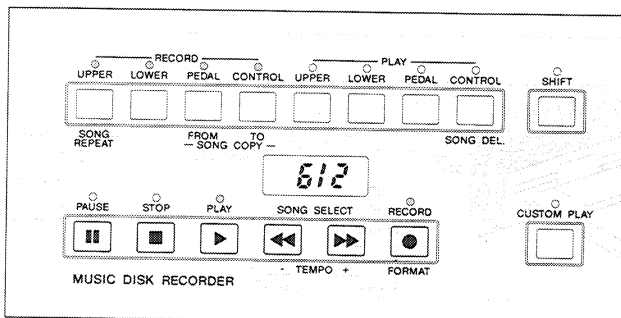
5



●PLAY(プレイ) ボタンを押します。

■プレイランプが点灯し、デジタルディスプレイでは「-」が左から右へ走行します。これは、現在エレクトーンが記憶しているレジストレーションのデータがディスクに記録されていることを示します。

6

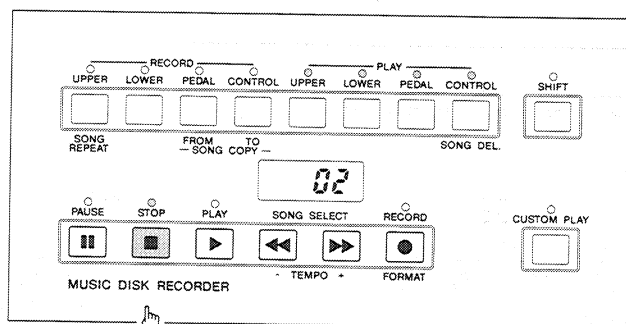


●デジタルディスプレイに数字が表示されたら、最初に使うレジストレーションメモリーのナンバーボタンを押して演奏を開始します。

■レジストレーションの記録が終了すると、メモリー残量を示す数字が表示されますから、エレクトーン演奏を開始してください。

例は、メモリー残量が612の場合。

7



●演奏が終了したら、STOP(ストップ) ボタンを押します。

■ストップボタンを押すと、RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)とPLAY(プレイ)の赤ランプが消え、ストップ状態に戻ります。

G1

これで、通常の状態でのエレクトーン演奏が録音できました。

いろいろな録音のしかた

#### 操作ポイント

#### こんなときは

- 通常の状態の録音では、エレクトーンが記憶しているレジストレーションデータを、録音開始時に記録するようにになっています。
- デジタルディスプレイのメモリー残量が「008」以下になると、残量表示が点滅を始め、注意を促します。「000」になる前に、録音をストップさせてください。
- 選択したソングナンバーにすでにデータが記録されている場合は、デジタルディスプレイの上二桁に「-」が表示され、ソングナンバーとともに赤く点滅して注意を促します。
  - ・録音を中止：STOP(ストップ) ボタンを押す。
  - ・別のソングナンバーに録音：SONG SELECT(ソングセレクト)の「<<」または「>>」ボタンを押して、ソングナンバーを変更する。
  - ・現在のソングナンバーに録音：もう一度RECORD/FORMAT(レコード/フォーマット)ボタンを押すと、レコード/フォーマットランプが赤く点灯し、録音が行えるようになります。

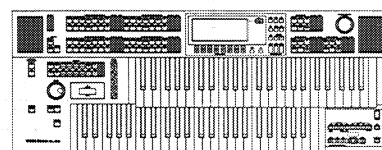
補 足

- ソングナンバーを選ぶときのSONG SELECT (ソングセレクト) ボタンの操作方法は、
  - ・[>>] : 1回押すごとに、ソングナンバーが進みます。
  - ・[<<] : 1回押すごとに、ソングナンバーが減っていきます。
 また、ボタンを長く押しつづけると、離すまで連続的にソングナンバーが変化していきます。
- RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押すと、演奏によって録音されるパートが、レコードセクションの赤ランプの点灯によって示されます。電源を入れた後、そのままの状態では、UPPER (アッパー) ~CONTROL (コントロール) のランプがすべて赤く点灯しており、エレクトーンの演奏がそのまま録音できることを示します。
- RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押した後に、レジストレーションのデータを記憶させないで、すぐに演奏の録音を開始したい場合は、CUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンを押してください。P166の5のデジタルディスプレイの表示はされずに、すぐに録音開始になります。

注 意

- メモリー残量を示す数値は、録音の進行にしたがって減少していきます。
- メモリー残量を示す数値が表示されてから演奏を開始するまでの空白時間も記録されます。
- 選択したソングナンバーにすでにデータが記録されている場合、それより長いデータを録音することはできませんが、それより短いデータを録音すると、新たに録音した部分以外は前のデータがそのまま残ります。不都合がある場合は、前のデータを削除してください。

## 録音をやり直す(リトライ)

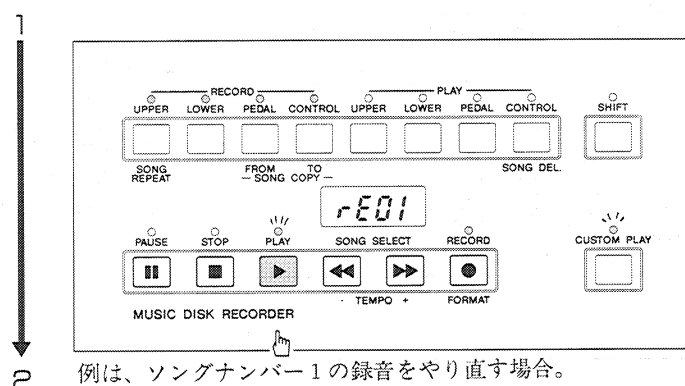


▲操作部分

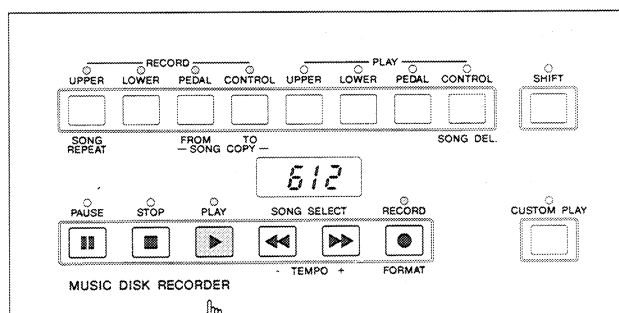
機 能

録音の途中でミスをしたなど、録音を始めからやり直したい時は、以下の「リトライ機能」を使います。いったんソングナンバーのデータを削除するなどの操作をしなくても、簡単に録音のやり直しができます。

操 作



例は、ソングナンバー1の録音をやり直す場合。



例は、メモリー残量が612の場合。

- 録音の途中でPLAY (プレイ) ボタンを押します。

- 録音の途中でプレイボタンを押すと、録音がストップし、曲の先頭に戻ります。デジタルディスプレイの上二桁には「rE」(リトライ)が表示され、PLAY (プレイ)とCUSTOM PLAY (カスタムプレイ) の赤ランプが点滅を開始します。

- 再びPLAY (プレイ) ボタンを押して、録音をやり直します。

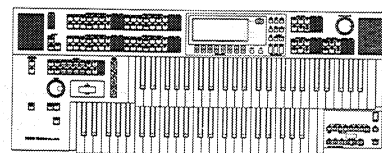
- プレイランプが赤く点灯し、デジタルディスプレイにはメモリー残量がすぐに表示されますから、曲の先頭から録音をやり直してください。新たな演奏が録音されます。

G1

いろいろな録音のしかた

これで、録音を始めからやり直すことができます。もう一度、トライしてください。

## 鍵盤ごとに録音する



▲操作部分

機能

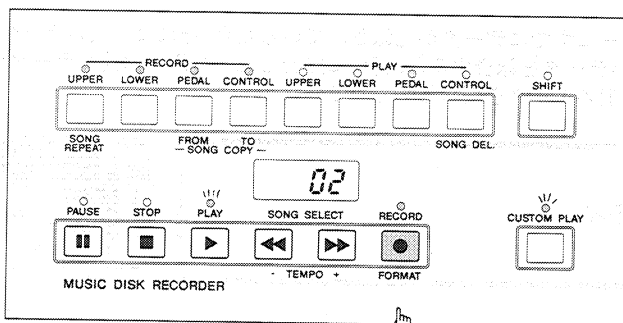
エレクトーンの演奏を各鍵盤ごとに録音することができます。

操作

まず、伴奏を録音した後、メロディーを録音する場合。

- 1 エレクトーンでレジストレーションをセットします。  
★伴奏とメロディーを演奏するためのレジストレーションをレジストレーションメモリーに記憶させ、曲の先頭で使うレジストレーションをパネルにセットします。
- 2 フォーマット済みのフロッピーディスクを装着し、何もデータが記憶されていないソングナンバーを選んでください。

3

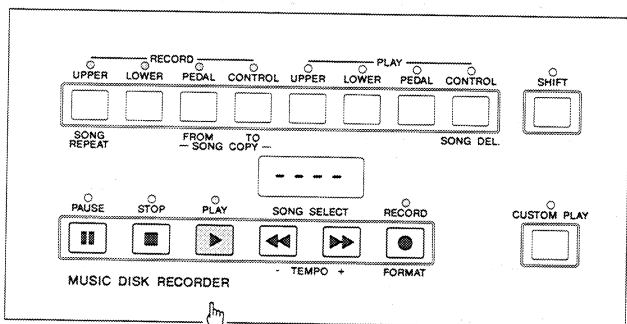


例は、ソングナンバー 2 を選んだ場合。

● RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

■ レコード/フォーマットボタンを押すとレコードセクションのボタンで録音するパートを選ぶことができます。ここではまず伴奏を録音するため、LOWER (ロワー)、PEDAL (ペダル)、CONTROL (コントロール) が ON になっていることを確認してください。UPPER (アッパー) はどちらでも構いません。

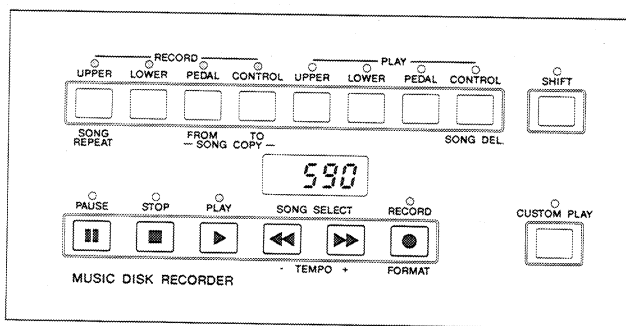
4



● PLAY (プレイ) ボタンを押します。

■ プレイランプが赤く点灯し、レジストレーションのデータが記録されます。その間、デジタルディスプレイには「-」が左から右に走行し、記録が終了すると、メモリー残量を示す数字が表示され、録音の開始を促します。

5



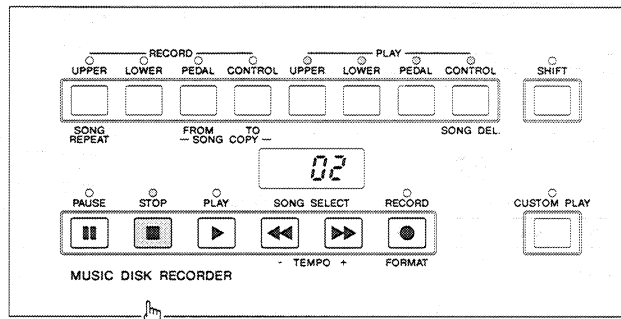
例は、メモリー残量が590の場合。

● エレクトーンで伴奏の録音を開始します。

G1

いろいろな録音のしかた

6

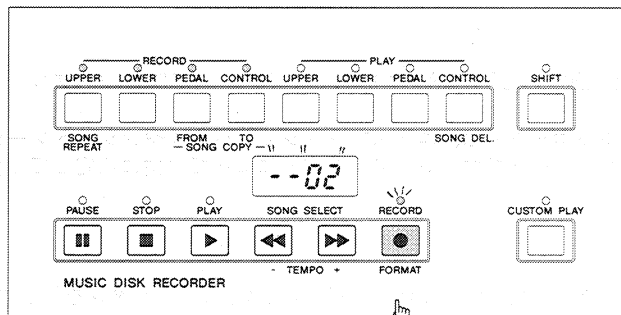


●録音が終了したら、STOP(ストップ) ボタンを押します。

■ストップボタンを押した後、デジタルディスプレイにはソングナンバーが表示されます。

次に、メロディー演奏を録音します。

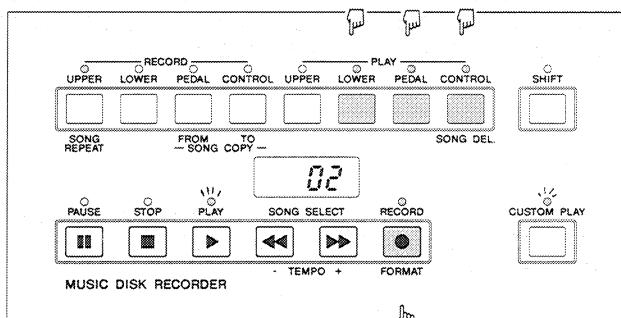
7



● RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

■伴奏の録音が終わったら、レコード/フォーマットボタンを押します。すでに伴奏は録音済みのため、デジタルディスプレイの左側に「--」が表示されソングナンバーとともに赤く点滅します。

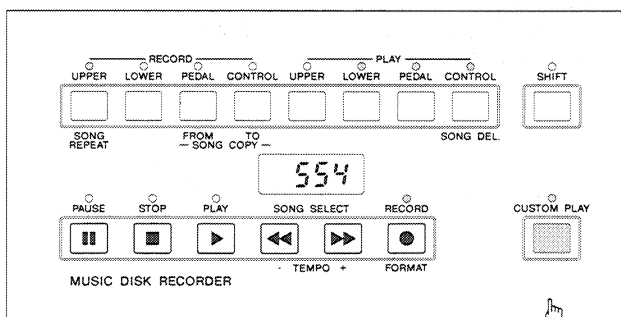
8



●もう一度RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押し、プレイセクションのLOWER(ローワー)、PEDAL(ペダル)、CONTROL(コントロール) をONにします。

■プレイセクションのローワー、ペダル、コントロールをONにし、録音済みのパートを再生させます。同時にレコードセクションのローワー、ペダル、コントロールは自動的にOFFになります。

9



●CUSTOM PLAY(カスタムプレイ) ボタンを押します。

■デジタルディスプレイにメモリー残量が表示され、すでに録音済みのパートが再生されます。またこの時、レコードセクションのアップーボタンが赤く点灯しているかどうかを確認してください。

例は、メモリー残量が554の場合。

10

エレクトーンの上鍵盤を弾いて、メロディーの録音を開始します。

★再生させるパートを聴きながら、タイミングよくメロディー演奏を開始してください。

リズムのイントロを録音しておいた場合は、まず、最初にイントロが発音しますから、弾きは最初のタイミングをうまくとってください。

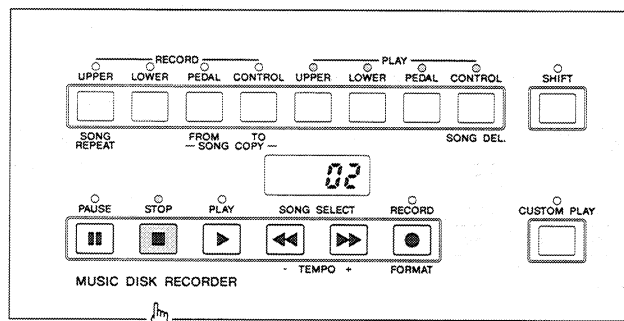
G1

いろいろな録音のしかた

### III. メモリー機能

#### ミュージックディスクレコーダー(MDR)

↓  
11



●メロディーの録音が終了したら、STOP(ストップ)ボタンを押します。

■ストップ状態に戻り、デジタルディスプレイにはソングナンバーが表示されます。この状態でPLAY(プレイ)ボタンを押せば、録音したパートをすべて再生することができます。

これで、伴奏を録音し、その後メロディーの録音をするという、鍵盤ごとの録音が終わりました。

#### 操作ポイント

- UPPER(アッパー)は上鍵盤、LOWER(ロワー)は下鍵盤、PEDAL(ペダル)はペダル鍵盤に対応しています。  
また、CONTROL(コントロール)は、エクスプレッションペダルやレジストレーションメモリーの切り替えなどを記録するためのパートです。レッスンの方法によって自由に設定してください。

#### こんなときは

- 伴奏やメロディーの演奏をやり直したい場合は、STOP(ストップ)ボタンを押さずに、PLAY(プレイ)ボタンを押せば、リトライ機能によって録音のやり直しがより簡単に行えます。
- メロディーの演奏を録音する時、PLAY(プレイ)ボタンのみを押して録音した場合は、レジストレーションデータがもう一度記録されるため、メモリー残量表示になるまで待たなければなりません。しかし、CUSTOM PLAY(カスタムプレイ)ボタンを押すことにより、すぐに録音が始めるようになります。

#### 補 足

- リズムを使用する場合は、メモリー残量が表示されてからスタートさせ、演奏を開始させてください。リズムのイントロを先頭に入れておくと、メロディーを録音する時に、スタートのタイミングがとりやすくなります。フィルインやエンディングも必要に応じて入れてください。
- メロディー演奏を録音する時、プレイセクションでONになっているパートは、録音中に伴奏を再生することができます。また、この時、レコードセクションは自動的にOFFになり、演奏は録音されません。
- パート録音を行う場合、どのパートから録音しても構いません。  
また、ロワーとペダルを別々に録音したり、コントロールでエクスプレッションペダルやレジストレーションの切り替えなどを別に録音することもできます。

#### 注 意

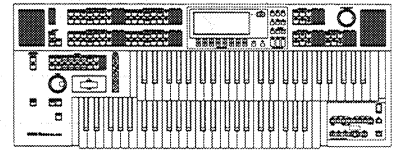
- メロディー録音の長さは、はじめに録音した伴奏の録音の長さと同じになり、それ以上長く録音することはできません。

G1

いろいろな録音のしかた



# リードボイスによる演奏を録音する



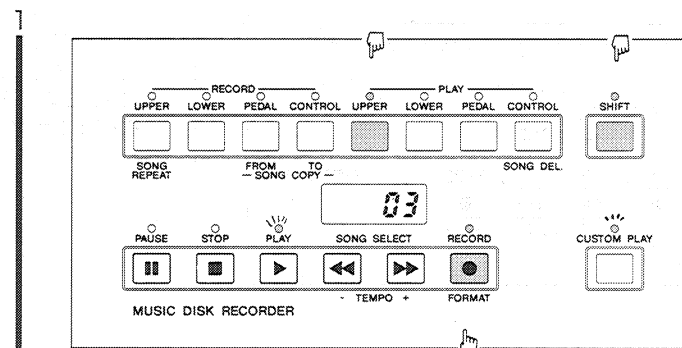
▲操作部分

## 機能

すでに録音した他のパートを聞きながら、リードボイスの演奏だけを録音することができます。

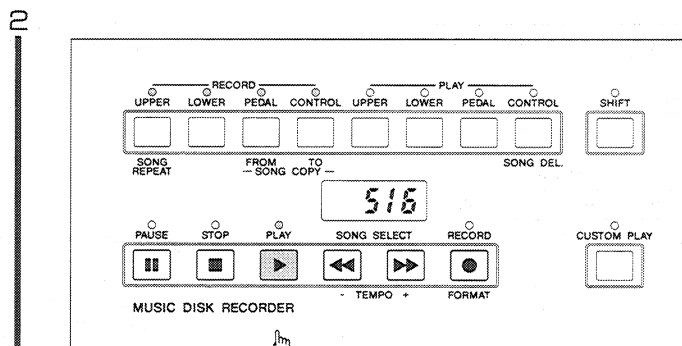
## 操作

- ・エレクトーンのリードボイスが発音するようにセットして下さい。
- ・リードボイス以外の他のパートを先に録音します。
- ・リードボイスを分離する操作を行います。



例は、ソングナンバー 3 の場合。

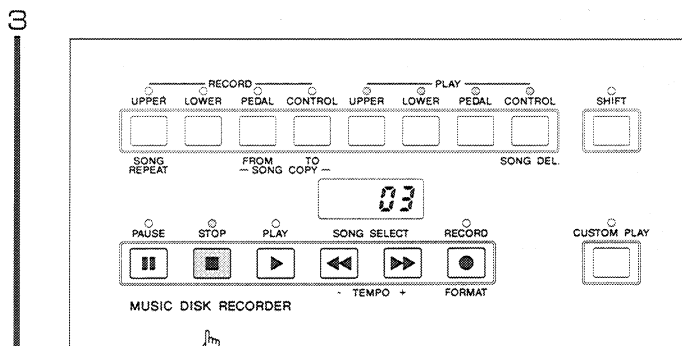
- RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押した後、SHIFT (シフト) ボタンを押しながらプレイセクションのUPPER (アッパー) を押します。



例は、メモリー残量が516の場合。

- PLAY (プレイボタン) を押し、リード以外の他のパートを録音します。

■ この操作を行うことで、演奏の際にはリードボイスは発音しません。



- 録音が終わったらSTOP(ストップ) ボタンを押してください。

これで、リードボイス以外の他のパートを録音することができました。続いて、リードボイスの演奏を録音しましょう。→P172へ

G1

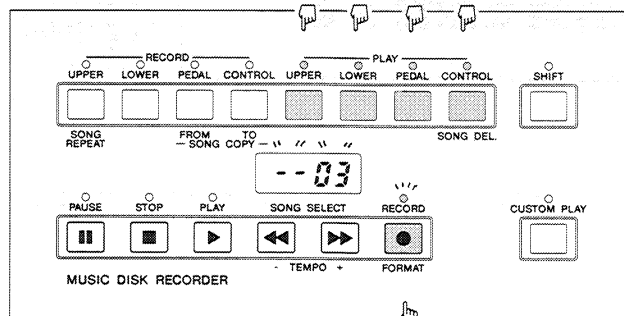
いろいろな録音のしかた

### III. メモリー機能

#### ミュージックディスクレコーダー(MDR)

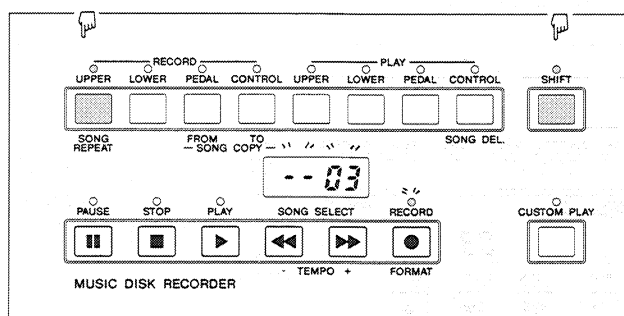
次に録音済みの他のパートを再生しながら、リードボイスを録音します。

1  
2  
3  
4

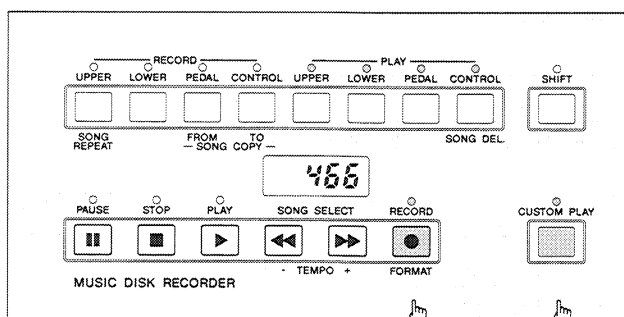


● RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押した後、プレイセクションの全パートをオンにします。

■プレイセクションの全パートをオンにすると、レコードセクションの全パートがオフになります。



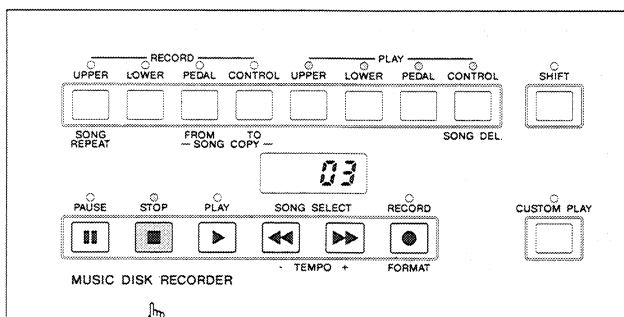
● SHIFT (シフト) ボタンを押しつつながら、レコードセクションのUPPER (アッパー) ボタンを押します。UPPERランプが点灯したのを確認した後に、UPPERのボタンを離し、次にSHIFTボタンを離します。



● 点滅しているRECORD (レコード) ボタンを再度押すと、CUSTOM PLAY (カスタムプレイ) のランプが点滅します。CUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンを押し、カスタム録音でリードボイスの演奏だけを録音します。

■CUSTOM (カスタムプレイ) ボタンを押すと同時に、録音済みの他のパートが再生され、リードボイスでの演奏を録音してください。

例は、メモリー残量が466の場合。



● リードボイスでの録音が終了したら、STOP (ストップ) ボタンを押してください。

これで、リードボイスの演奏だけを録音することができました。

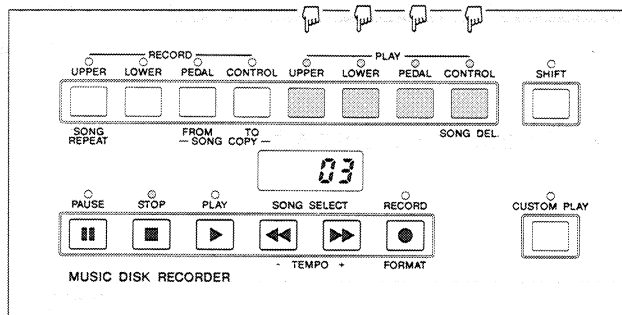
G1

いろいろな録音のしかた

# リードボイスを分離した場合の再生

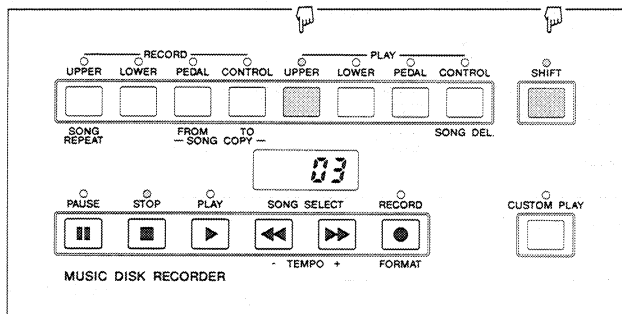
録音した演奏を再生する。

1



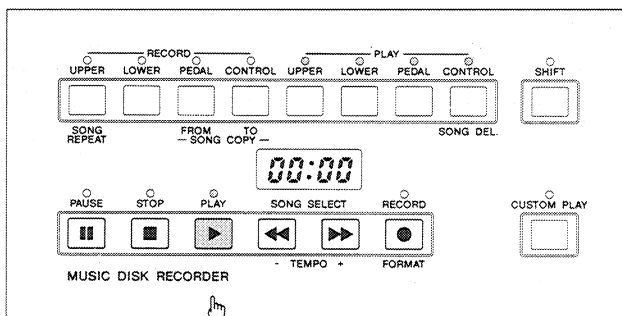
●プレイセクションの全パートをオンにします。

2



●SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、プレイセクションのUPPER (アッパー) を押します。

3



●プレイボタンを押します。

## 注意

◆リードボイスを分離した録音の再生は、再生のたびにこの操作が必要になります。

## 補足

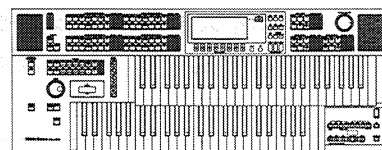
◆この手順は、他のパートの演奏に、リードボイスでの演奏を多重録音する方法です。リードボイスでの演奏ひとつだけをフロッピーディスクに録音する操作ではありません。

◆以前録音しておいた演奏に、リードボイスでの演奏を新たに付け加えたいときなどに、この機能を使うと便利です。

G1

いろいろな録音のしかた

# キーボードパーカッションによるリズムのパート録音



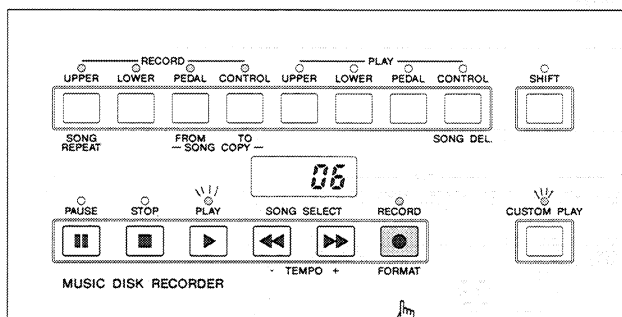
▲操作部分

機能

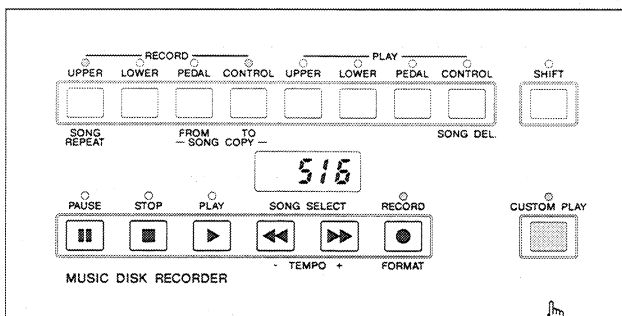
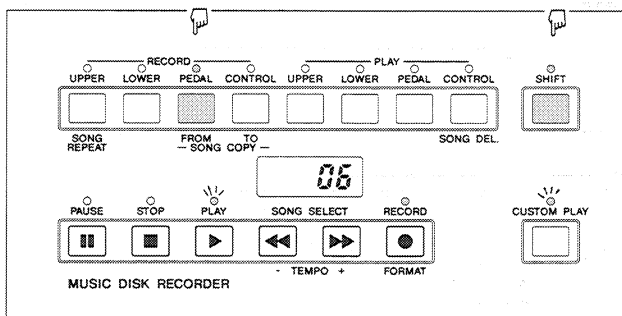
キーボードパーカッションの演奏を録音することができます。

操作

1  
2  
3



例は、ソングナンバー 6 の場合。



例は、メモリー残量が516の場合。

これで、パーカッションの演奏を録音することができました。

●録音したいソングナンバーを決めた後に、RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

●次に、SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、レコードセクションのPEDAL (ペダル) を押します。

■「1」「2」の操作で、キーボードパーカッションを録音できるようになります。

▲パネルのキーボードパーカッションはオンにしてください。

●カスタム録音によって、キーボードパーカッションの演奏を録音することができます。

●CUSTOM PLAY(カスタムプレイ) ボタンを押します。

■ボタンを押すと、すぐに録音が始まります。

●録音が終了したら、STOP(ストップ) ボタンを押してください。

G1

いろいろな録音のしかた

注意

◆ソングナンバーにすでにデータが入っていた場合は、次の操作をしてください。

①データを消したくない場合は、別のソングナンバーを選んでください。

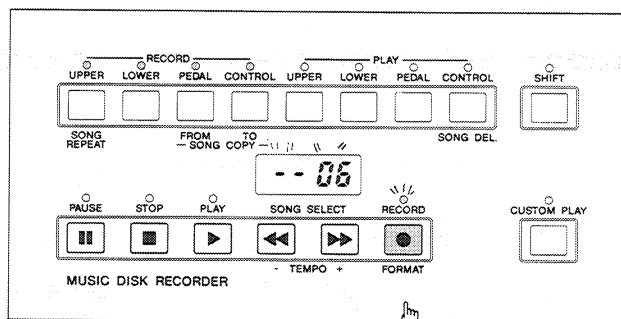
②データを消して別のデータを記録したい場合は、1の操作でRECORD/FORMAT(レコード/フォーマット) ボタンを2回押します。

操 作

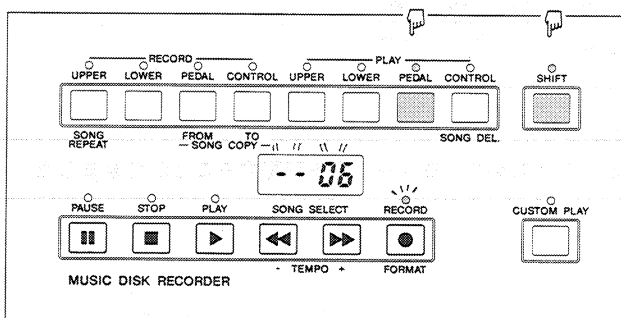
録音したキーボードパーカッションを聞きながら、他のパートを録音する場合

- 録音したいパートが発音するようにセットしてください。
- パネルのキーボードパーカッションはオフにし、リズムのボリュームを上げてください。

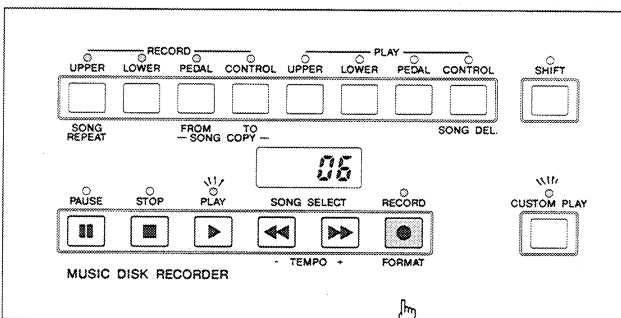
1  
2  
3  
4



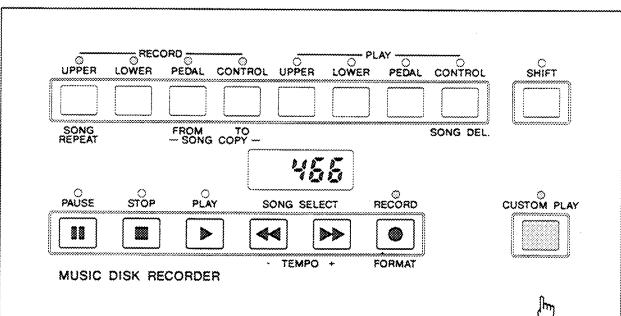
- キーボードパーカッションを録音したソングナンバーを選んだ後に、RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。



- SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、プレイセクションのPEDAL (ペダル) を押します。
- この操作で、録音の際にキーボードパーカッションが発音します。



- RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを再び押します。



- 点滅しているCUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンを押します。
- ボタンを押すとすぐに録音が始まります。
- 録音が終わったら、STOP(ストップ) ボタンを押してください。

これで、録音したキーボードパーカッションを聞きながら他のパートを録音することができました。

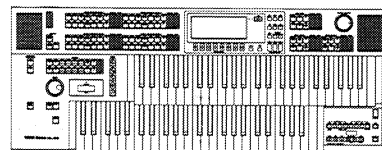
注 意

- ◆キーボードパーカッションのリズムを再生する場合は、SHIFT (シフト) ボタンを押した時に、プレイセクションのPEDAL (ペダル) ランプが点灯していることを確認してください。

G1

いろいろな録音のしかた

## メモリー残量の確認

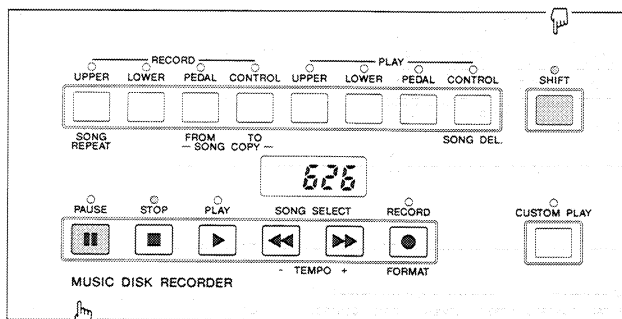


▲操作部分

機能

デジタルディスプレイ表示でフロッピーディスクのメモリー残量を確認することができます。

操作



● SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、PAUSE (ポーズ) ボタンを押します。

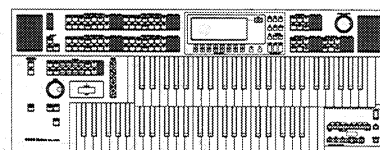
■ メモリー残量は、ボタンを押している間のみ、デジタルディスプレイに表示されます。

これで、フロッピーディスクのメモリー残量を確認することができました。

補足

- メモリー残量の最大は、何も録音されていない2DDフロッピーディスクを使用した時で、デジタルディスプレイに [ 626 ] を表示します。(2HDでは [1248] を表示)
- 録音を行うことによって、デジタルディスプレイは [ 626 ] から [ 000 ] まで2メモリーごとに減少していきます。

# 再生のしかた



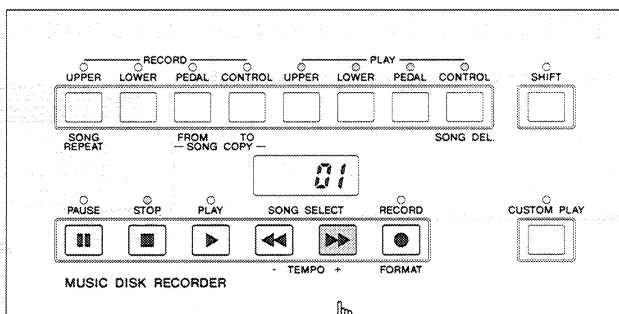
▲操作部分

機能

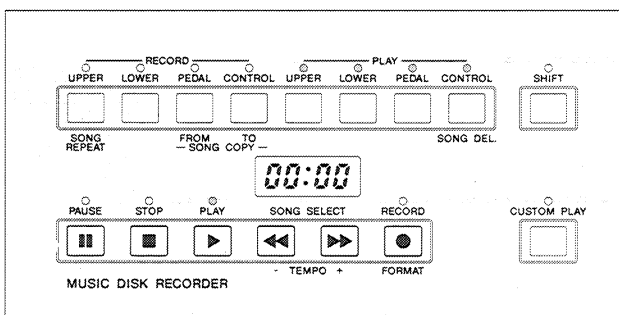
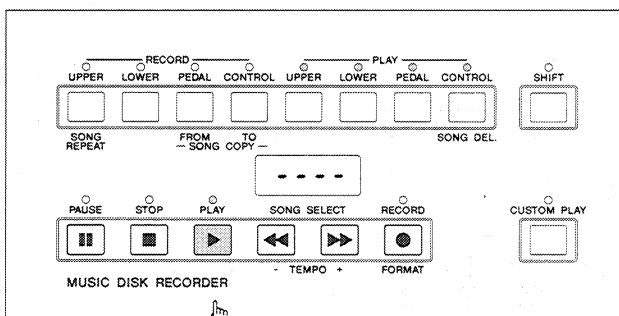
録音したエレクトーン演奏の再生やレジストレーションのデータの再現が行えます。

操作

1  
2  
3



例は、[>>] ボタンを押してソングナンバー 1 を選んだ場合。



●再生させたい曲のソングナンバーを選びます。

■ソングナンバーは1～40まであり、SONG SELECT (ソングセレクト) の [<<] または [>>] ボタンを押すことで、デジタルディスプレイ表示されるソングナンバーを自由に選ぶことができます。

●PLAY (プレイ) ボタンを押します。

■(プレイ) ランプが赤く点灯し、まず、レジストレーションのデータがエレクトーンに読み込まれます。その間、デジタルディスプレイでは「-」が右から左に走行し、読み込みが行われていることを示します。

●デジタルディスプレイに時間が表示され、演奏の再生がスタートします。

■レジストレーションのデータ送信が終わったら、デジタルディスプレイに時間を示す数字が表示され、再生がスタートします。

これで、録音したエレクトーンの演奏を再生させることができます。

補足

- 再生させたいソングナンバーを選ぶ時
  - ▶ [>>] : 1回押すごとにソングナンバーが進みます。(ソングナンバー40のときに押すとソングナンバー1になります)
  - ▶ [<<] : 1回押すごとにソングナンバーが減っていきます。(ソングナンバー1のときに押すとソングナンバー40になります)
- ストップ状態の時は、プレイセクションのランプにより再生可能のパートが示されます。電源を入れた直後では、UPPER (アッパー) からCONTROL (コントロール) までのランプがすべてONの状態になっており、通常のエレクトーン演奏が再生できることを示します。

G2

いろいろな再生のしかた

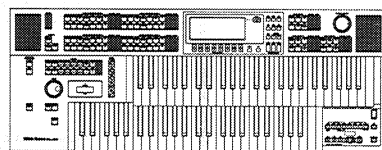
### III. メモリー機能 ミュージックディスクレコーダー(MDR)

- デジタルディスプレイに時間が表示されたらすぐに演奏の再生が行われるとは限りません。録音した時、メモリー残量表示に切り替わってもすぐ演奏を始めなかった場合など、遅れた分だけ再生のスタートが遅れることになります。
- レジストレーションデータの読み込み時、リズムが発音していると、リズムプログラム（パターン・シーケンス）で作ったデータは読み込まれません。
- シフトボタンを押しながら、カスタムプレイボタンを押すと、ユーザーボイス、ユーザーフルートボイス、リズムプログラムパターン、リズムプログラムシーケンスのデータを除いて再生することができます。レジストレーションのデータを素早く読み込ませる時に便利です。

#### 注 意

- 再生中は、絶対に電源をOFFにしたり、イジェクトボタンを押したりしないでください。

## 再生を途中で止める

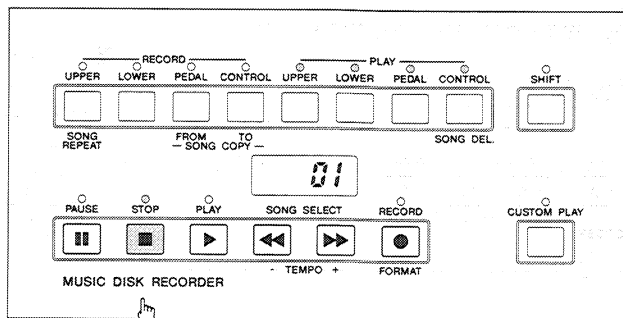


▲操作部分

#### 機 能

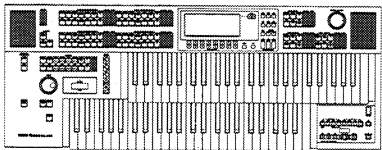
再生の途中でストップさせることができます。

#### 操 作



- 再生の途中でストップさせたい場合は、STOP(ストップ)ボタンを押すことで、直ちにストップ状態に戻ります。

## 演奏だけを再生

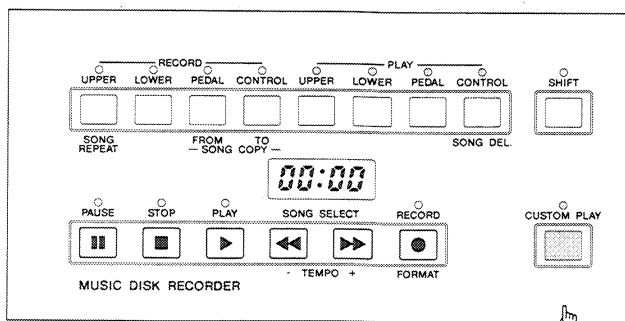


▲操作部分

#### 機 能

レジストレーションのデータは再生させず、演奏だけを再生させることができます。(カスタム再生)

#### 操 作

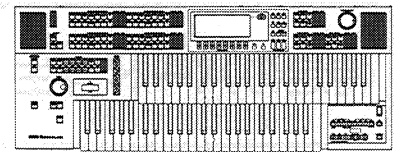


- CUSTOM PLAY(カスタムプレイ)ボタンを押します。

- すぐにデジタルディスプレイが時間を表示し、演奏の再生がスタートします。一度、レジストレーションデータをエレクトーンに送った後、同じ曲を繰り返して再生したい時などとても便利です。



## 再生の一時停止

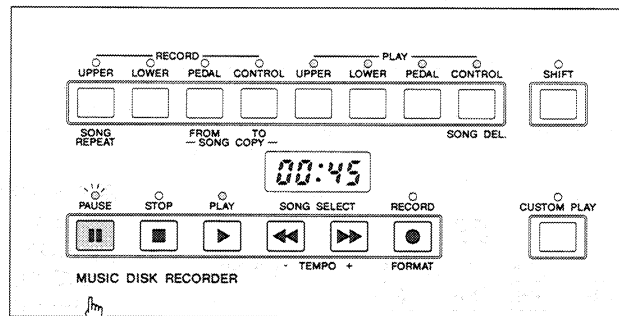


▲操作部分

機能

再生を一時的に停止させることができます。

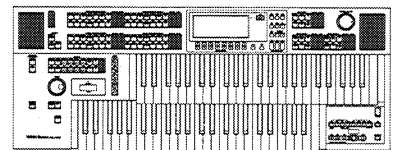
操作



●再生中にPAUSE (ポーズ) ボタンを押します。

■ポーズの赤ランプが点滅し、デジタルディスプレイに表示される時間が停止し、再生が一時的にストップします。この状態を解除したい場合は、ポーズボタンをもう一度押してください。

## 再生の早送り、早戻し

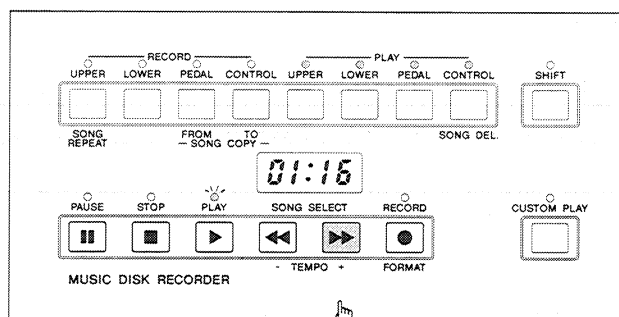


▲操作部分

機能

再生中に早送りと早戻しができます。

操作



例は、[>>] ボタンを押して01:16まで早送りした場合。

●SONG SELECT (ソングセレクト) ボタン[>>]を押すと早送りが、[<<]を押すと早戻しができます。すると再生が中断し、デジタルディスプレイの時間表示が早送り、または早戻しされますので、再スタートさせたい時間が表示されるまで、ボタンを押しつづけてください。ボタンから手を離すと一時停止状態になり、PLAY (プレイ) ボタンが点滅するのでPLAY (プレイ) ボタンを押し、再生をスタートさせてください。

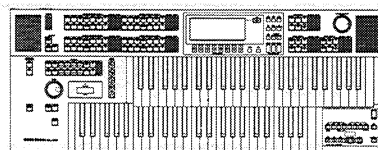
補足

●SONG SELECT (ソングセレクト) ボタン[>>]早送り、[<<]早戻しの速さは、通常の再生スピードの約5倍です。

G2

いろいろな再生のしかた

## 特定のパート再生



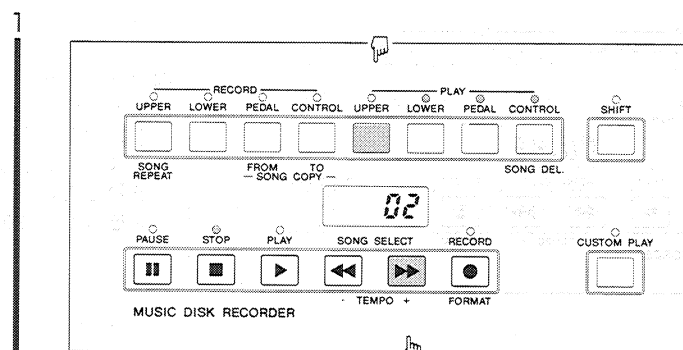
▲操作部分

機能

録音したパートの中から、特定のパートだけを再生させないで、その他のパートを再生させることができます。

操作

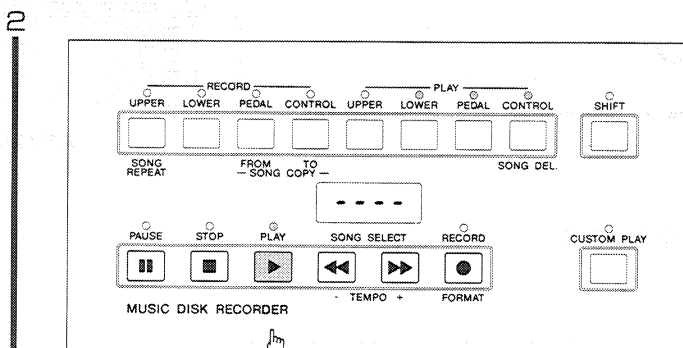
UPPER (アッパー) をOFFにして、上鍵盤だけを再生させなくする場合。



●再生させたいソングナンバーを選び、再生させたくないパートをOFFにします。

■ストップ状態の時、プレイセクションのUPPER (アッパー) ~CONTROL (コントロール) までの中で、再生させたくないパートのボタンを押し、OFFの状態にします。

例は、ソングナンバー2を選び、アッパーをOFFにした場合。



●PLAY (プレイ) ボタンを押します。

■プレイランプが赤く点灯し、まずレジストレーションデータがエレクトーンに送信されます。送信終了後、操作1でOFF状態にしたパートがキャンセルされ、演奏がスタートします。

3 録音されている演奏にあわせて、再生させなかったパートをエレクトーンで演奏します。

これで、上鍵盤以外のパート演奏を伴奏として再生させながら、上鍵盤を演奏することができました。

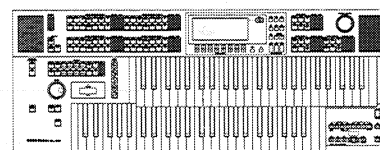
補足

- 再生させないようにするパートは、いくつでもかまいません。
- 録音されている演奏にあわせて演奏する時、再生は自動的に終了し、ストップ状態に戻ります。

G2

いろいろな再生のしかた

# 繰り返し再生

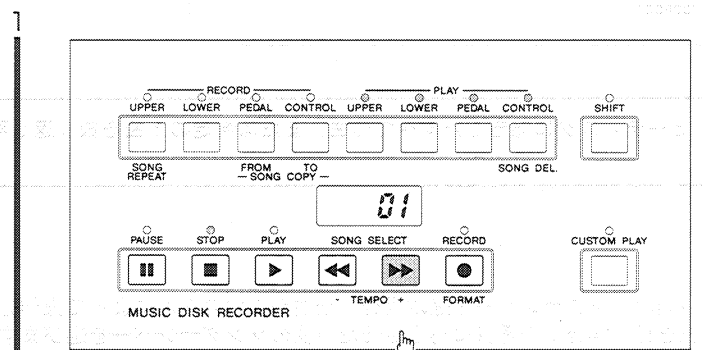


▲操作部分

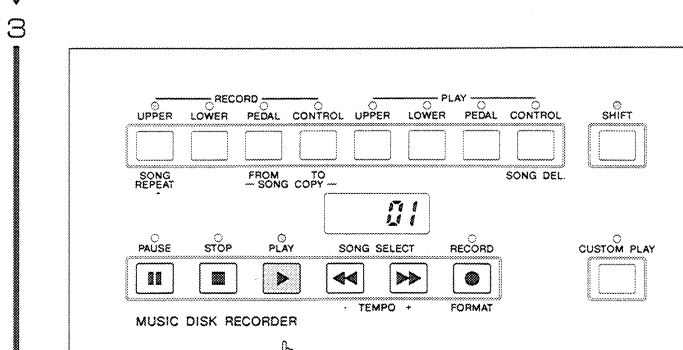
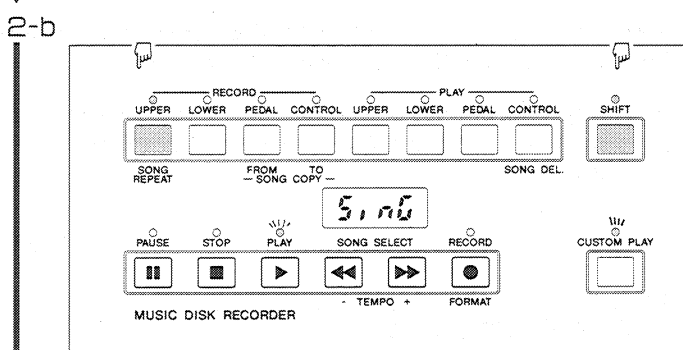
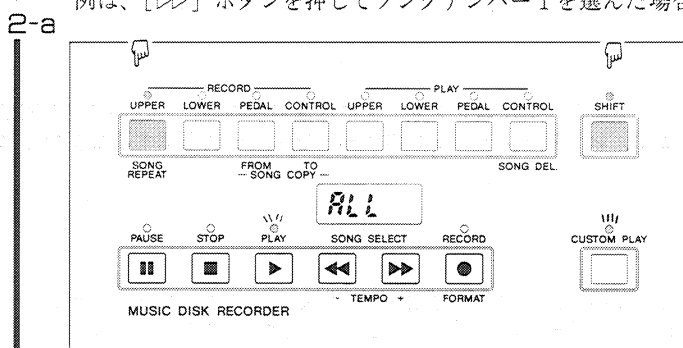
機能

操作

フロッピーディスクに録音した全ての曲、または特定の1曲を繰り返し再生させることができます。



例は、[>>] ボタンを押してソングナンバー 1 を選んだ場合。



●再生させたい曲のソングナンバーを選びます。まず、SONG SELECT (ソングセレクト) の [<<] または [>>] ボタンを押してソングナンバーを選びます。

■録音した曲のパートをリピート再生させることもできますので必要に応じてプレイセクション各パートのPLAY (プレイ) ボタンを選んでください。

●SHIFT (シフト) ボタンを押しながら同時にUPPER/SONG REPEAT (アッパー/ソングリピート) ボタンを押します。

■シフトとアッパー/ソングリピートランプがONになり、デジタルディスプレイには[ALL]が表示されます。全曲のリピート再生を行いたい場合は、この状態で(プレイ) ボタンを押してください。

●1曲のみをリピート再生させる場合は、もう一度SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、UPPER/SONG REPEAT (アッパー/ソングリピート) ボタンを押します。

■デジタルディスプレイの表示が[Sing] (シングル) に切り替わり、1曲のみのリピート再生が行える状態になったことを示します。

●PLAY (プレイ) ボタンを押します。

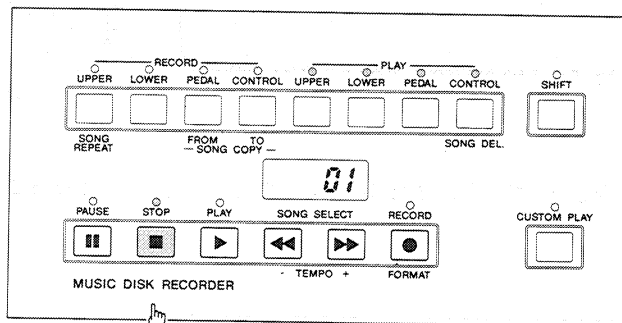
■再生を行うソングナンバーが表示されレジストレーションデータがエレクトーンに送信されます。送信中は、デジタルディスプレイに[-]が走行し、終了すると時間表示に切り替わり、演奏の再生がスタートします。

G2

いろいろな再生のしかた

### III. メモリー機能 ミュージックディスクレコーダー(MDR)

↓  
4



●STOP(ストップ)ボタンを押します。

■リピート再生をストップさせたい時は、ストップボタンを押してください。ストップ状態に戻ります。

これで、フロッピーディスクに録音したすべての曲、または特定の1曲を繰り返し再生することができました。

#### 操作ポイント

- リピート再生させたい曲のソングナンバーを選ぶ場合、全曲か1曲のみによって操作方法が違います。
  - ▶全曲のリピート再生を行う場合：1番目に再生させたい曲のソングナンバーを選びます。
  - ▶1曲のみのリピート再生を行う場合：リピート再生させたいソングナンバーを選択します。

#### こんなときは

- すでに、レジストレーションのデータがエレクトーンに送信済みの時は、CUSTOM PLAY (カスタムプレイ) ボタンを押すことで、レジストレーションのデータをもう一度送信する必要なしに、繰り返し再生することができます。

#### 補 足

- 全曲のリピート再生を行った場合、1曲目の再生が終了すると、2曲目のソングナンバーが表示されます。その後、レジストレーションのデータが送信され、2曲目の再生がスタートします。以後は、データが記録されているソングナンバーのみをサーチし、順次再生していきます。
- 1曲のみのリピート再生を行った場合、曲の終わりまで再生すると、同一のソングナンバーが表示され、レジストレーションのデータが再度送信されてから再生を繰り返します。
- 1曲のみのリピート再生を行った時、選んだソングナンバーにデータが記録されていない場合や、全曲のリピート再生を行った時、フロッピーディスクに1曲もデータが記録されていない場合は、[0000]を表示してからストップ状態に戻ります。

#### 注 意

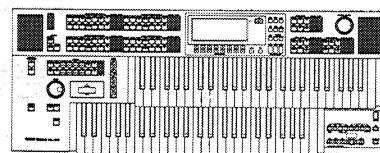
- 1枚のフロッピーディスク内にリードボイスを分離して録音した曲と、分離していない曲がまざっている場合は、繰り返し再生では正常な再生ができません。

G2

いろいろな再生のしかた



## 曲をコピーする



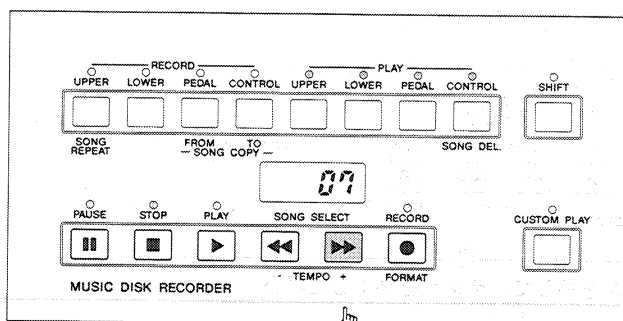
▲操作部分

機能

あるソングナンバーに記録したデータを別のソングナンバーにコピーすることができます。

操作

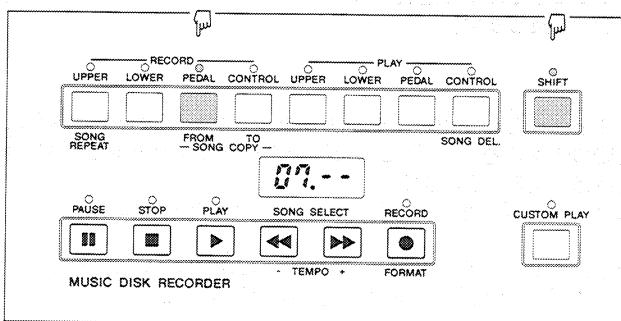
ソングナンバー“7”のデータをソングナンバー“9”にコピーする場合。



● SONG SELECT (ソングセレクト) の [◀◀] または [▶▶] ボタンで、コピー元のソングナンバー“7”を選びます。

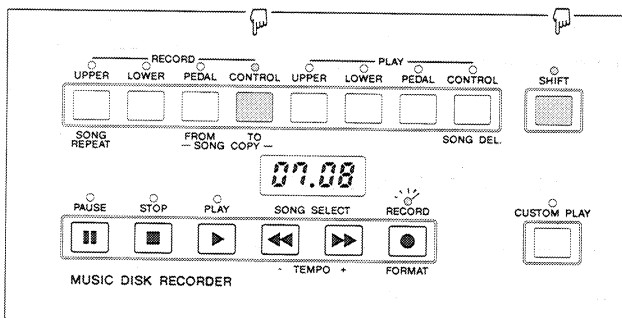
■ コピーしたいデータが記録されているソングナンバー“7”をソングセレクトボタンで、デジタルディスプレイに表示させます。

例は、[▶▶] ボタンを押してソングナンバー7を選んだ場合。



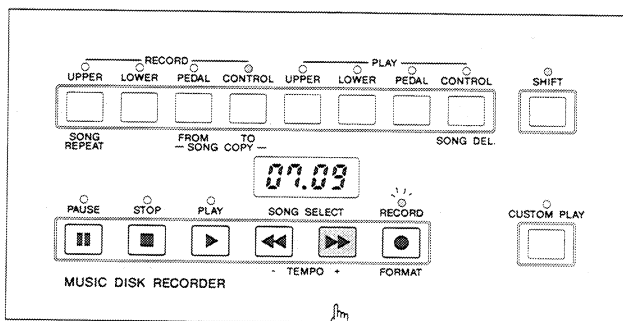
● SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、PEDAL/SONG COPY FROM (ペダル/ソングコピーフロン) ボタンを押します。

■ デジタルディスプレイの上二桁にコピー元のソングナンバー[07]が表示されます。このとき、シフトとペダル/ソングコピーフロンボタンから指を離すとソングナンバーの変更ができます。また、下二桁には [—] が表示され、コピー先が指定されていないことを示します。



● SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、CONTROL/SONG COPY TO (コントロール/ソングコピートゥー) ボタンを押します。

■ デジタルディスプレイの下二桁には、データが記録されていないソングナンバーが自動的に選ばれ、コピー先が表示されます。



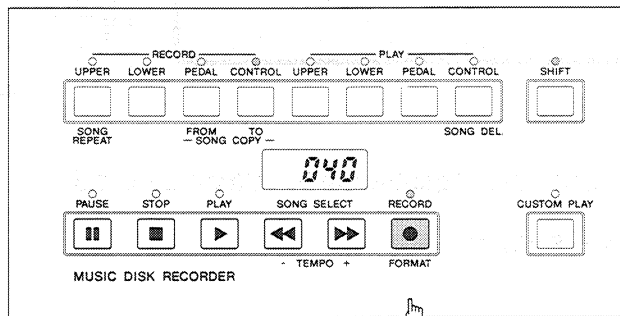
● SONG SELECT (ソングセレクト) の [◀◀] または [▶▶] ボタンで、コピー先のソングナンバー“9”を選びます。

■ コピー先のソングナンバーを変更したい場合は、[◀◀] または [▶▶] ボタンで指定してください。データが記録されていないソングナンバーのみが自動的に選ばれます。

例は、[▶▶] ボタンを押してソングナンバー9を選んだ場合。

G2

いろいろな再生のしかた

↓  
5

● RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

■レコード/フォーマットの赤ランプが点滅から点灯に変わり、ソングコピーが開始されます。デジタルディスプレイにはコピー元の容量が表示され、ソングコピーの進行に従って減少していきます。表示される数字が「000」になると、ソングコピーは終了し、自動的にストップ状態に戻ります。

これで、ソングナンバー「1」のデータが、ソングナンバー「9」にコピーされました。

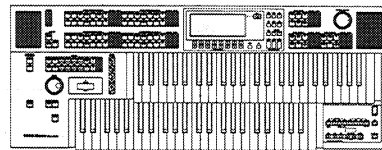
#### こんなときは

- SONG SELECT (ソングセレクト) ボタンで、コピー元のソングナンバーを選ぶ時、選んだソングナンバーにデータが記録されていない場合は、データが記録されている次のソングナンバーが自動的に表示されます。
- コピー先のソングナンバーすべてにデータが記録されている場合は、デジタルディスプレイに[FULL]が表示されます。その場合、ソングコピーは行えませんので、いったんSTOP(ストップ)ボタンを押し、ソングデリート機能を使い、不要なソングナンバーのデータを削除してください。

#### 注意

- ソングコピーを行った時、フロッピーディスクのメモリー残量が不足している場合は、デジタルディスプレイに[FULL]が表示され、ソングコピーは行われません。

## 曲を削除する



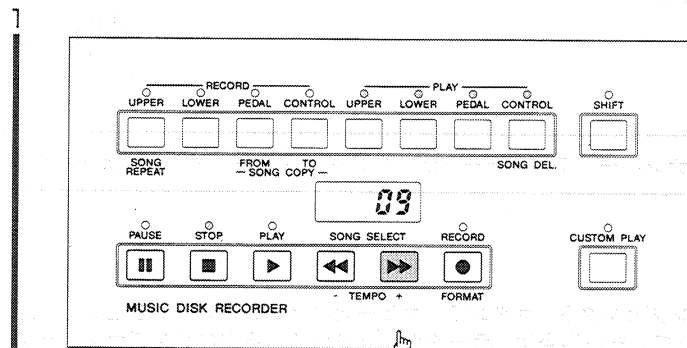
▲操作部分

機能

フロッピーディスクに記録済みの曲が不要になった場合、削除することができます。

操作

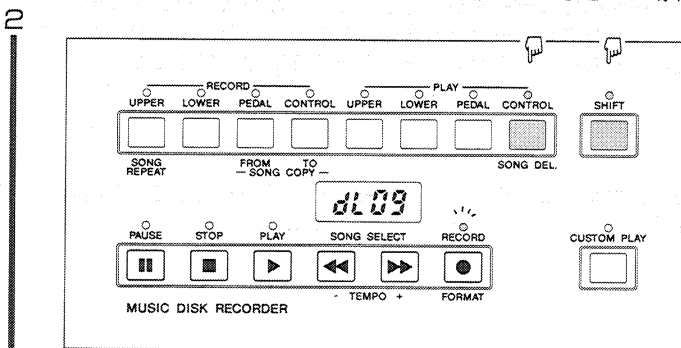
ソングナンバー“9”のデータを削除する場合。



● SONG SELECT (ソングセレクト) の [◀◀] または [▶▶] ボタンで、削除したいソングナンバー“9”を選びます。

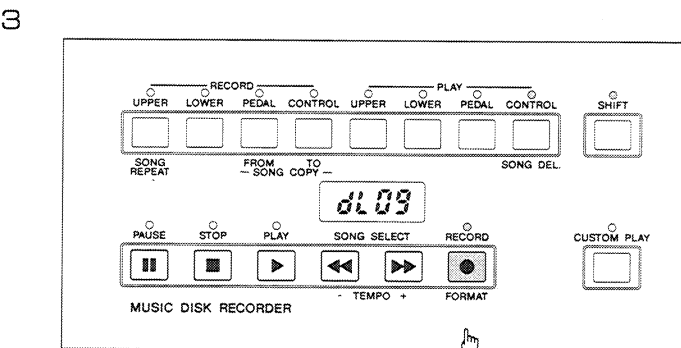
■ 削除したいデータが記録されているソングナンバー“9”をソングセレクトボタンで、デジタルディスプレイに表示させます。

例は、[▶▶] ボタンを押してソングナンバー9を選んだ場合。



● SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、CONTROL/SONG DEL. (コントロール/ソングデリート) ボタンを押します。

■ デジタルディスプレイの上二桁には [dL] (デリート) が表示され、下二桁には削除したいソングナンバー“9”が表示されます。また、RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ランプが赤く点滅を始めます。



● RECORD/FORMAT (レコード/フォーマット) ボタンを押します。

■ レコード/フォーマットのグリーンのランプが点滅から点灯に変わり、データの削除が開始されます。終了すると、レコード/フォーマットの赤ランプが消え、自動的にストップ状態に戻ります。

これで、ソングナンバー“9”のデータを削除することができました。

補足

- CONTROL/SONG DEL. (コントロール/ソングデリート) ボタンを押した後も SONG SELECT (ソングセレクト) ボタンで、削除するソングナンバーを選び直すことができます。
- 記録した曲の削除を中止したい場合は、RECORD (レコード) ランプが点滅しているとき (待機中) に STOP (ストップ) ボタンを押してください。
- データの削除を続けて行いたい場合は、操作 1 ~ 3 を繰り返してください。

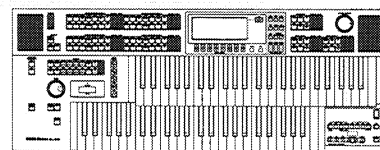


## その他の機能

M.O.C.	M.O.C.(メロディーオンコード)	P188
フットスイッチ	フットスイッチでコントロールできること	P189
	リズムモード(ストップ、エンディング、フィルイン)	P190
	グライドモード	P192
	トレモロモード	P194
セカンドエクスプレッション	セカンドエクスプレッション	P195
MIDI		P197
パワーオンリセット		P199

#### IV. その他の機能 M.O.C.

## M.O.C. (メロディーオンコード)



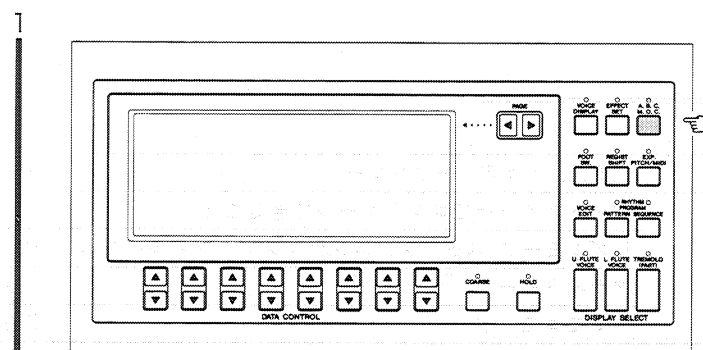
▲操作部分

### 機能

下鍵盤でコードを押さえているときに、上鍵盤で弾くメロディーにハーモニーを自動的につけることができます。

### 操作

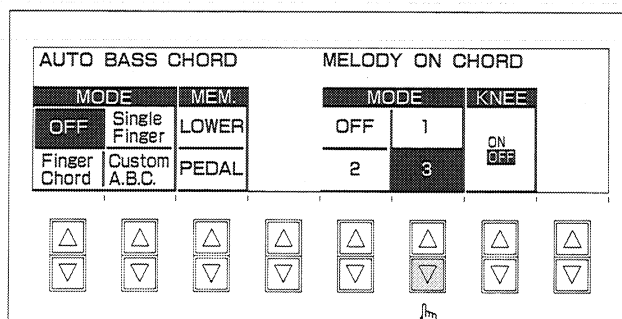
メロディーオンコードを設定する場合



例は、[A.B.C./M.O.C.] ボタンを押した場合。

- A.B.C./M.O.C. (オートベースコード/メロディーオンコード) のメニューを表示させます。
- [A.B.C./M.O.C.] ボタンを押します。

### M.O.C.のモードを設定したい場合



例は、[▽] ボタンを押して、モードの3を選んだ場合。

- MELODY ON CHORD (メロディーオンコード) を設定します。
- MODE (モード) と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、モードを選択します。
- モードには、メロディーオンコードを作動させないOFF(オフ)以外に、1、2、3の三つがあります。

### メロディーオンコードのモード

- |   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 最大2音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。     |
| 2 | 最大3音までのハーモニーが、メロディーに近い音域で発音します。     |
| 3 | 最大4音までのハーモニーが、メロディーからやや離れた音域で発音します。 |

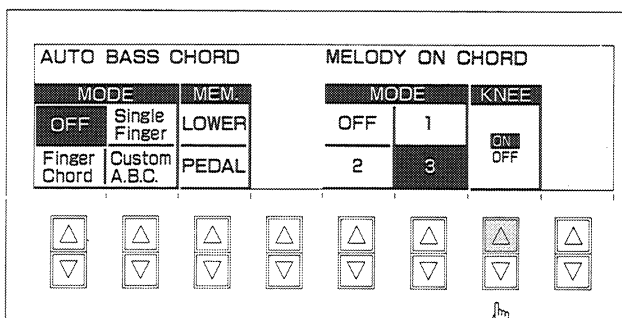
### M.O.C.

### M.O.C.

### M.O.C.をニーレバーでON/OFFのコントロールをしたい場合



### M.O.C.のニーを設定



例は、[△] ボタンを押して、オンを選んだ場合。

これで、M.O.C.を設定することができました。

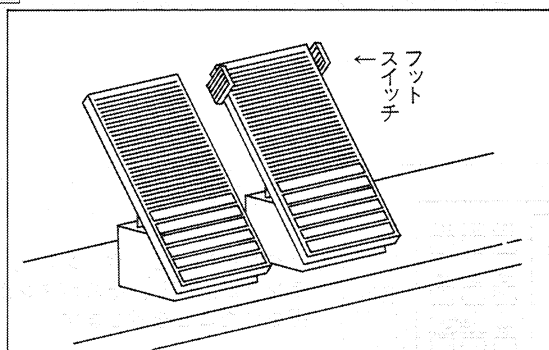
- メロディーオンコードのKNEE (ニー) を設定します。
- ニーと表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、ONを選択します。
- ★ ニーは、ONにすると、ニーレバーでメロディーオンコードのON、OFFの切り替えをコントロールすることができます。

### 補足

- ◆ メロディーオンコードは、A.B.C.のメモリーのローをオンにして、リズムをスタートさせているときは、下鍵盤から指を離した後も、メロディーにハーモニーがつきます。

## フットスイッチでコントロールできること

### フットスイッチについて



- ペダル鍵盤の上側に、エクスプレッションペダル（右側）と、セカンドエクスプレッションペダル（左側）があります。
- フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左右についています。
- 右フットスイッチは、レジストレーションナンバーを移動させるときに使います。→P146～P153「レジストシフト」参照。
- 左フットスイッチは、リズム、グライド、トレモロと3つのモードがあり、[FOOT SW.]（フットスイッチ）ボタンを使って、設定した通りにコントロールできます。

### 右フットスイッチでコントロールできること

ボタン名	モード	機能
[REGIST SHIFT]（レジストシフト）	シフト	現在点灯しているレジストナンバーから右側のナンバーをひとつずつ順番に再生。
	ジャンプ	指定したレジストナンバーを再生。
	ユーザー	編集したレジストナンバーを順番に再生。

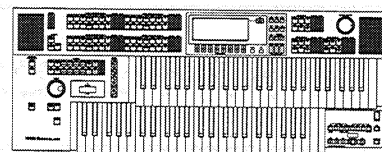
### 左フットスイッチでコントロールできること

ボタン名	モード	コントロール	機能
[FOOT SW.]（フットスイッチ）	リズム	ストップ	3つのコントロールのうちどれかを、スイッチのオンによって実施することができます。
		エンディング	
		フィルイン	
	グライド	アッパー 1、2 ロワー 1、2 リード グライドスピード	グライド効果をかける音群を指定することができます。 グライドのスピードを設定することができます。 スイッチのオンによって、指定した音群にグライド効果をかけることができます。
	トレモロ		トレモロ（ファースト）ボタンで設定したトレモロ（ファースト）をかけることができます。 スイッチのオン、オフによって、トレモロとコーラスを切り替えることができます。

F.S.

フットスイッチ

# リズムモード



▲操作部分

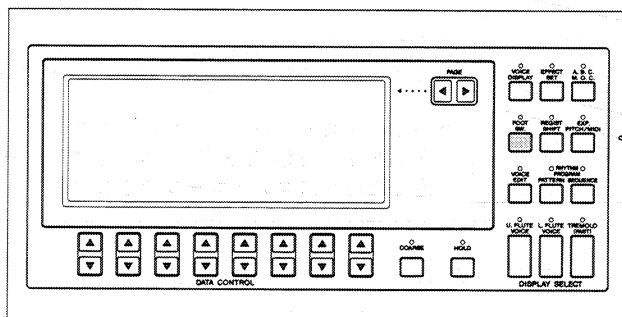
機能

左フットスイッチのオンによって、リズムのストップ、エンディング、フィルインのどれかを実施することができます。

操作

リズムモードのフィルインを選ぶ場合。

1

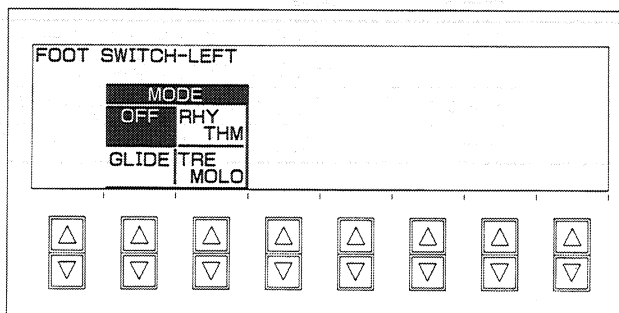


例は、フットスイッチボタンを押した場合。

●まず、[FOOT SW.] (フットスイッチ) ボタンを押します。

■ボタンを押すと、ボタンの上のランプが点灯し、そのボタンが押されたことを示します。

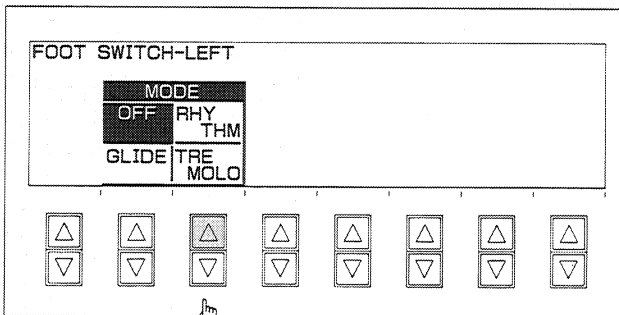
2



例は、フットスイッチのメニューを表示した状態。

●フットスイッチボタンを押すと同時に、ディスプレイにフットスイッチのメニューが表示されます。

3



例は、[Δ] ボタンを押して、リズムを選択する場合。

●まず、MODE (モード) を選択します。

●モードと表示された同じ縦列の [Δ] [▽] ボタンを使って、選択します。

■ここでは、RHYTHM(リズム) を選択します。リズムと表示された同じ縦列の [Δ] ボタンを押します。

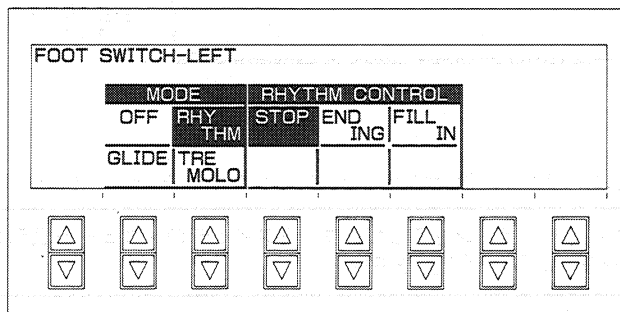
F.S.

フットスイッチ

補足

◆モードの文字が反転している部分が、現在選択されているものです。

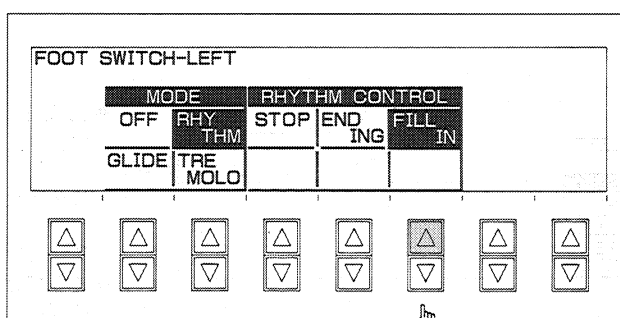
↓  
4  
↓  
5  
↓



例は、リズムモードのメニューを表示した状態。

- [△] ボタンを押すと同時に、文字が反転し、リズムのメニュー—RHYTHM CONTROL(リズムコントロール)を表示します。

■ 文字が反転しているものが、現在選択しているものです。



例は、[△] ボタンを押して、リズムコントロールのフィルインを選んだ場合。

- リズムコントロールのFILL IN(フィルイン)を選びます。

- フィルインと表示された同じ縦列の[△] ボタンを使って、選択します。

これで、リズムのフィルインが設定できました。左フットスイッチでコントロールできます。

左フットスイッチをオンするとリズムのフィルインパターンを発音します。スイッチを押す度に、フィルインパターンを得ることができます。また、スイッチを押しつづけている間は、フィルインパターンを発音し続けます。

#### こんなときは

- ◆ リズムコントロールのストップまたはエンディングを選びたいとき  
操作は、フィルインを選んだ方法と同じです。4、5の操作を参考にしてください。

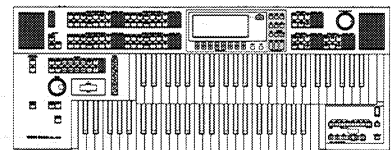
#### 各リズムコントロールの働き

コントロール	働き
ストップ	リズムのストップ、スタートがコントロールできます。リズムが再生されているときに、フットスイッチを押すとリズムがストップします。もう一度押すと再びリズムがスタートします。
エンディング	スイッチを押すとリズムがエンディングパターンを発音し、リズムがストップします。
フィルイン	リズムのフィルインパターンを発音させることができます。スイッチを押す度に、フィルインパターンを得ることができます。また、スイッチを押しつづけている間は、フィルインパターンを発音し続けます。

F.S.

フットスイッチ

## グライドモード



▲操作部分

機能

グライド（音程を一時的に半音下げ、徐々に元の音程に戻す効果）を音群ごとにかけることができます。

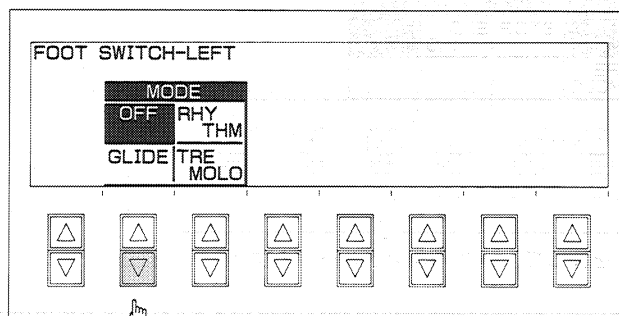
[FOOT SW.](フットスイッチ) ボタンを押して、フットスイッチのメニューを表示させた後に、以下の操作を行ってください。→P190「1」「2」を参照。

操作

グライドモードを選んだ場合。

P190の2から

3



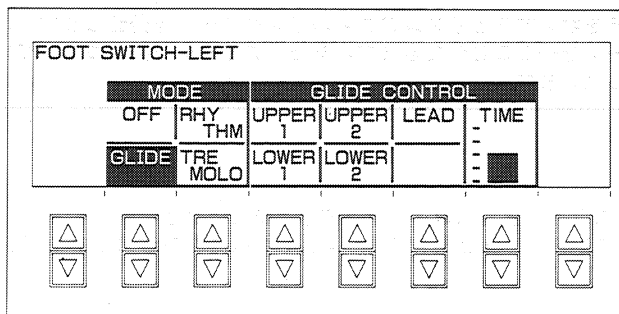
●MODE (モード) を選択します。

●モードと表示された同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、選択します。

●ここでは、GLIDE (グライド) を選択します。グライドと表示された同じ縦列の[▽]ボタンを押します。

例は、[▽] ボタンを押して、グライドを選択する場合。

4

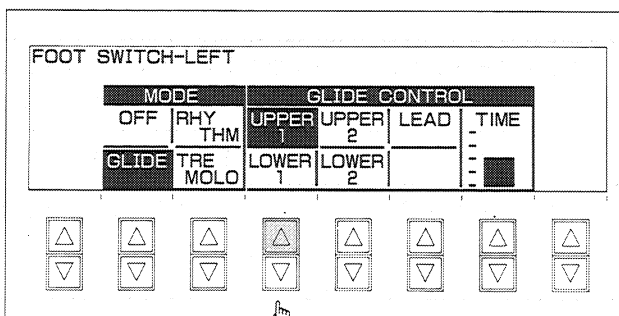


●[▽] ボタンを押すと同時に、黒い枠がグライドに移動し、グライドのメニューGLIDE CONTROL (グライドコントロール) を表示します。

●文字が反転しているものが、現在選択しているものです。

例は、グライドモードのメニューを表示した状態。

5



例は、[△] ボタンを使って、アッパー 1 を選んだ場合。

●グライドをかけたい音群を選択します。

●選びたい音群と同じ縦列の[△][▽]ボタンを使って、選択します。

●ここでは、UPPER 1 (アッパー 1) とUPPER 2 (アッパー 2) とLEAD (リード) を選択します。

●まず、アッパー 1 と表示された同じ縦列の[△] ボタンを押します。

■選択する数はいくつでもかまいません。

F.S.

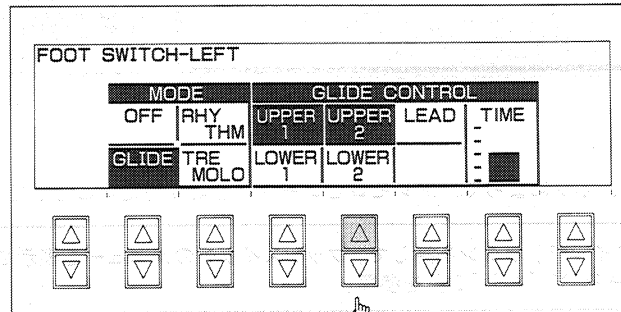
フットスイッチ

グライドをかけたい小音群を設定したい場合

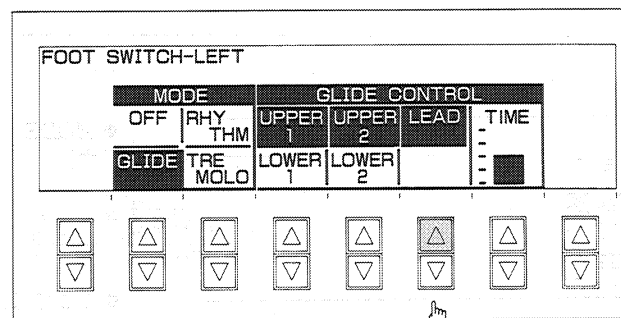
補足

◆グライドコントロールで、選択された音群は、文字が反転し、選択されたことを示します。

↓  
6  
↓  
7



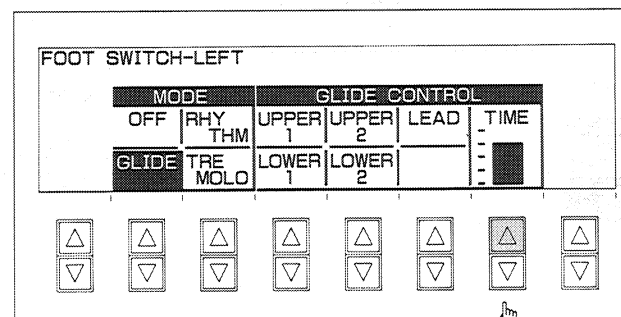
例は、[△] ボタンを押して、アッパー 2 を選んだ場合。



例は、[△] ボタンを押して、リードを選んだ場合。

これで、グライドをかけたい小音色群の設定ができました。

グライドのスピードを設定したい場合



例は、[△] ボタンを押して、データのレベルを上げた場合。

これで、グライドモードを設定することができました。左フットスイッチでコントロールできます。

左フットスイッチをオンすると、選んだ音群にグライドがかかります。

●続いて、UPPER 2(アッパー 2) と表示された同じ縦列の [△] ボタンを押します。

■文字が反転しているものが、現在選択しているものです。

■ここでは、すでにアッパー 1 が選択されている状態です。

●さらに、LEAD(リード)と表示された同じ縦列の [△] ボタンを押します。

■文字が反転しているものが、現在選択しているものです。

■ここでは、すでにアッパー 1 とアッパー 2 が選択されている状態です。

●グライドコントロールのTIME(タイム)を設定します。

●タイムと表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、データのレベルを変化させます。

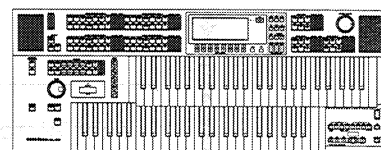
★タイムは、グライドのかかる速さを 5 段階に設定することができます。

■レベルが高いほど、元の音程に戻るスピードは遅くなります。

F.S.

フットスイッチ

## トレモロモード



▲操作部分

### 機能

左フットスイッチのオン、オフによって、トレモロとコーラスを切り替えることができます。

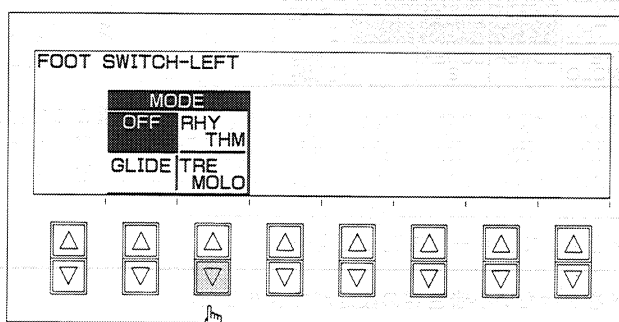
[FOOT SW.](フットスイッチ) ボタンを押して、フットスイッチのメニューを表示させた後に、以下の操作を行ってください。→P190「1」「2」を参照。

### 操作

トレモロモードを選ぶ場合。

P190の2から

3



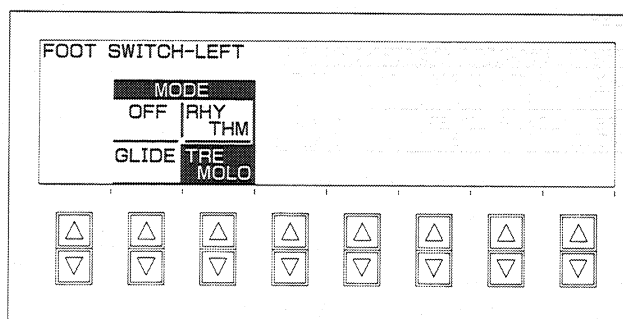
- MODE (モード) を選択します。

- モードと表示された同じ縦列の[△][▽] ボタンを使って、選択します。

- ここでは、TREMORO(トレモロ)を選択します。トレモロと表示された同じ縦列の[▽] ボタンを押します。

4

例は、[▽] ボタンを押して、トレモロを選択する場合。



- [▽] ボタンを押すと同時に、文字が反転します。

- 文字が反転しているものが、現在選択しているものです。

例は、トレモロを選択した状態。

これで、トレモロモードを選択することができました。左フットスイッチでコントロールできます。

左フットスイッチを押すとトレモロとコーラスを切り替えることができます。

F.S.

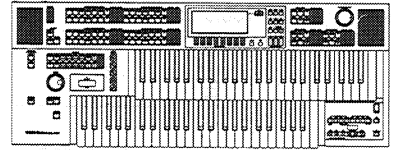
フットスイッチ

### 補足

- ◆トレモロモードは、[TREMORO (FAST)] (トレモロ(ファースト)) ボタンで設定した状態で効果がかかります。左フットスイッチを押すと、トレモロがかかります。再び押すとコーラスになります。
- ◆あらかじめボイスコンディションでエフェクトのトレモロを選んでおかないと効きません。
- ◆フットスイッチでトレモロ(ファースト)を切り替えると、パネルの[TREMORO (FAST)] (トレモロ(ファースト)) ボタンのランプが連動します。



## セカンドエクスプレッション



▲操作部分

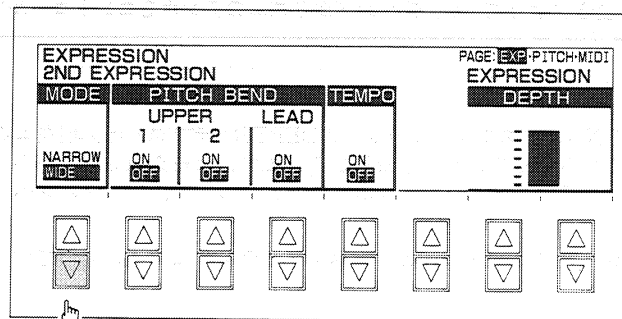
## 機能

セカンドエクスプレッションペダルを動かしたときの可変幅のモードを選ぶことができます。  
セカンドエクスプレッションペダルで、アッパーキーボードボイスとリードボイスにピッチベンドをかけることができます。  
リズムのテンポをコントロールするための設定ができます。  
現在のエクスプレッションペダルの踏み込んだ深さを確認することができます。

[EXP./PITCH/MIDI] (エクスプレッション/ピッチ/ミディ) ボタンを押して、エクスプレッションのページを表示させた後に、以下の操作を行ってください。→P96「1」「2」を参照。

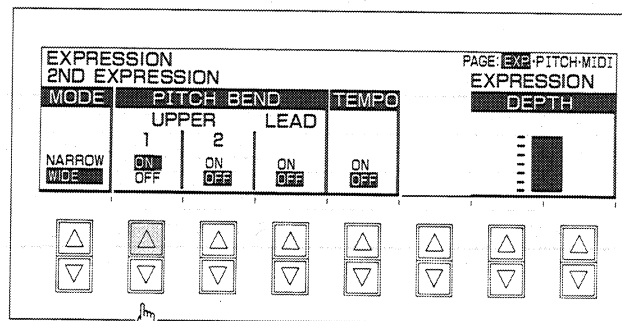
## 操作 セカンドエクスプレッションを設定する場合。

ピッチベンド  
を設定したい  
場合



例は、[▽] ボタンを押して、ワイドを選んだ場合。

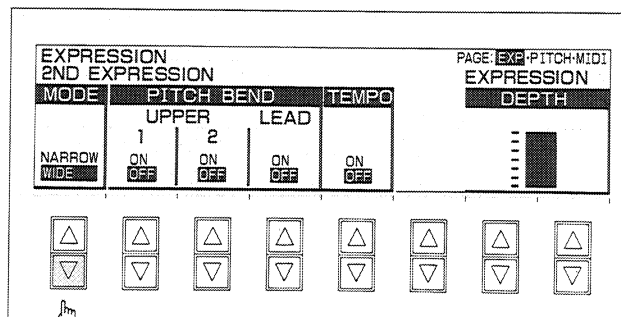
2



例は、[△] ボタンを押して、アッパー 1 をオンにした場合。  
([▽] ボタンを押してもオンになります。)

リズムのテンポ  
を調節したい  
場合

テンポを設定



例は、[▽] ボタンを押して、ワイドを選んだ場合。

→ P196へ

- 2ND EXPRESSION (セカンドエクスプレッション) のPITCH BEND (ピッチベンド) を設定します。
- 最初に、MODE (モード) と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、NARROW (ナロー)、WIDE (ワイド) を選択します。
- ここでは、ワイドを選びます。
- ★モードは、セカンドエクスプレッションを踏み込んだり手前に戻したりする可変幅のかかり具合です。ワイドは可変幅が広く、ナローは狭いタイプです。

- 次にPITCH BEND (ピッチベンド) を設定します。
- ピッチベンドをかけたい音群を選び、オンにします。
- ここでは、UPPER 1 (アッパー 1) を選びます。
- アッパー 1 と表示された同じ縦列の [△] ボタンを使って、オンにします。
- ★ピッチベンドは、音程を上下にスライドさせることができます。くわしくは、→P196参照。

- セカンドエクスプレッションのTEMPO (テンポ) を設定します。

- 最初に、MODE (モード) と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、NARROW (ナロー)、WIDE (ワイド) を選択します。
- ここでは、ワイドを選びます。
- ★モードは、セカンドエクスプレッションを踏み込んだり手前に戻したりする可変幅のかかり具合です。ワイドは可変幅が広く、ナローは狭いタイプです。

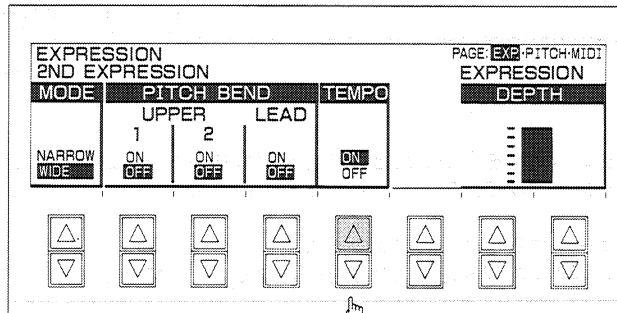
EXP.

セカンドエクスプレッション

#### IV. その他の機能 セカンドエクスプレッション

P195から

↓  
2



例は、[△]ボタンを押して、オンを選択した場合。([▽]ボタンを押しても、オンになります。)

これで、セカンドエクスプレッションの設定ができました。

ペダルを踏み込む度合によって、ピッチベンドかリズムのテンポをコントロールすることができます。

#### 補 足

- ◆画面右端のEXPRESSION (エクスプレッション) のDEPTH (デプス) は、現在エクスプレッションペダルをどのくらいの深さで踏み込んでいるかを表示しています。データのレベルが高いほど、ペダルを深く踏み込んでいます。なお、データコントロールボタン[△][▽]で、データのレベルを変化させることはできません。
- ◆セカンドエクスプレッションのモードは、ピッチベンドとテンポに共通のものです。

#### 注 意

- ◆通常は、ピッチベンドとテンポのふたつをオンにしないでください。ふたつの機能が同時に働き、ピッチベンドをしながらリズムのテンポも一緒に変わるという、特殊な演奏になります。どちらかひとつをオンにして、それ以外はオフにしてください。

#### セカンドエクスプレッションペダルによるコントロール

ペダルを踏み込む	ピッチベンド	音程が上にベンド (スライド) します。
	テンポ	リズムテンポが徐々に速くなります。
ペダルを手前に戻す	ピッチベンド	音程が下にベンド (スライド) します。
	テンポ	リズムテンポが徐々に遅くなります。

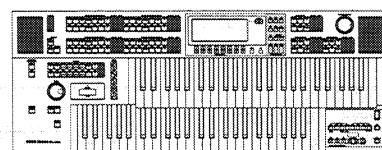
#### モードの違いによる可変幅

ナロー	ピッチベンド	上下に最大長2度の範囲で音程をベンドすることができます。
	テンポ	現在設定しているリズムテンポを速くしたり遅くしたりすることができます。(70%~140%)
ワイド	ピッチベンド	上下に最大1オクターブの範囲で音程をベンドすることができます。
	テンポ	現在設定しているリズムテンポをナローより広い変化幅で速くしたり遅くしたりすることができます。(50%~200%)

EXP.

セカンドエクスプレッション

## MIDI



▲操作部分

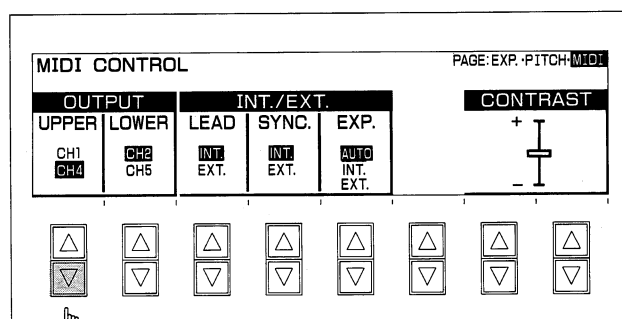
## 機能

MIDIの出力チャンネルを切り替えることができます。  
 入力を内部またはMIDIに切り替えができます。  
 ディスプレイの明るさを調節することができます。

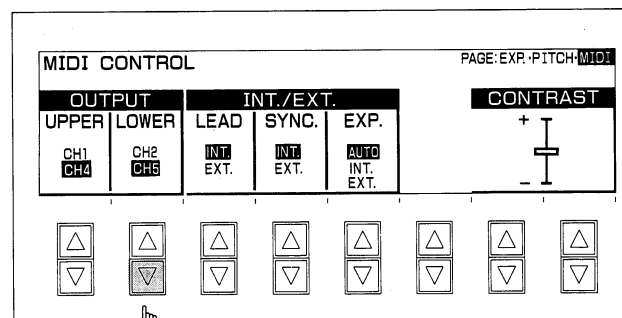
[EXP./PITCH/MIDI] (エクスプレッション/ピッチ/ミディ) ボタンを押して、MIDIのページを表示させた後に、以下の操作を行ってください。→P96「1」「2」を参照。

## 操作

1  
 アウトプットのチャンネルを設定したい場合



例は、[▽] ボタンを押して、チャンネル4を選んだ場合。



例は、[▽] ボタンを押して、チャンネル5を選択した場合。

- OUTPUT (アウトプット) を設定します。
- アウトプットと表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、上鍵盤のMIDIの出力させたいチャンネルを選択します。
- ここでは、UPPER (アッパー) と表示された同じ縦列の [▽] ボタンを押して、CH4 (チャンネル4) を選びます。
- ★他のMIDI対応機器と接続する際は同じチャンネルにします。

- 次に、LOWER (ロワー) と表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、下鍵盤の情報を出力させるMIDIのチャンネルを選択します。
- ここでは、[▽] を押して、CH5 (チャンネル5) を選びます。

次の項目は→P198へ

## 補足

- ◆アウトプットは、通常、上鍵盤はチャンネル1、下鍵盤はチャンネル2を使います。  
 チャンネル変更は、特定のチャンネルの演奏を別のチャンネルで多重録音する際や、複数の他のMIDI対応機器と接続して同チャンネルのものだけをコントロールする際に使います。
- ◆ペダル鍵盤の出力チャンネルは、チャンネル3で固定しています。
- ◆出力チャンネルの変更は、該当する鍵盤がすべて離された状態のときのみ変更可能状態となります。

MIDI

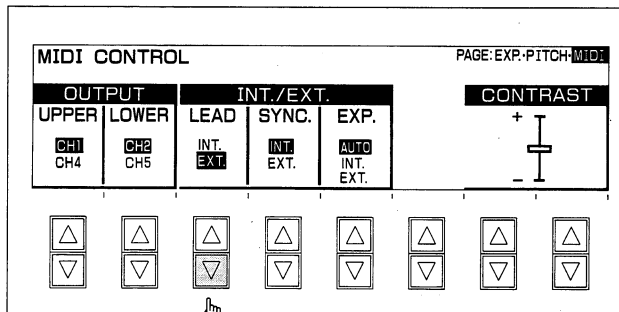
MIDI

#### IV. その他の機能 MIDI

P197から



INT./EXT.の  
設定をしたい  
場合

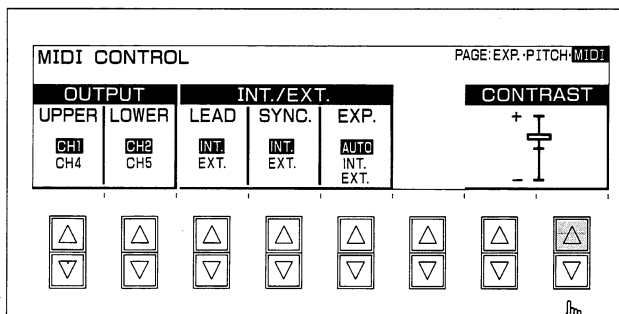


例は、[▽] ボタンを押して、EXT.にした場合。  
([△] ボタンを押しても可)

- 次に、INT./EXT. (インターナル/エクスターナル) を設定します。
- 他のMIDI対応機器で、LEAD (リード) ボイスやEXP. (エクスプレッションペダル)、SYNC. (シンクロ) をコントロールするかどうかの入力切り替えです。SYNC. は、リズムの入力切り替えです。
- EXT. にすると、他のMIDI対応機器でコントロールすることができます。
- ここでは、リードをEXT. にします。
- リードと表示された同じ縦列の [▽] ボタンを押します。

これで、MIDIの出力・入力の設定ができました。

コントラスト  
を設定したい  
場合



例は、右端の [△] ボタンを押して、四角いポイントを上げた場合。

- CONTRAST (コントラスト) を設定します。
- コントラストと表示された同じ縦列の [△] [▽] ボタンを使って、四角いポイントを上下させます。
- [△] [▽] ボタンが2列分ある場合は、左右どちらを使ってもかまいません。
- ★コントラストは、ディスプレイの濃度を調整するもので、+7 ~ -7 の間で設定できます。プラス側ほど濃くなります。

これで、MIDIのメニューをすべて設定することができました。

補 足

- ◆INT./EXT.のEXT.への切り替えは、他のMIDI対応機器でリードボイスや、エクスプレッションペダルやリズムなどをコントロールしたいときに行ってください。
- ◆ディスプレイの明るさ調節は、下鍵盤の裏の付属端子のLCD BRIGHTNESSを使ってできます。  
→P202参照。
- ◆MIDI端子については、「付属端子について」P202を参照してください。
- ◆他のMIDI対応機器との接続は、P203を参照してください。
- ◆リードボイスをEXT.にすると、チャンネル4で外部より入力できます。ただし、MDRが再生中のときは、自動的にMDR側が優先されます。

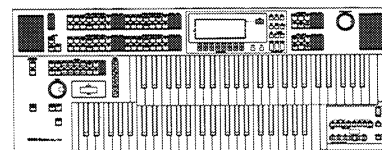
MIDI

M  
D  
I

注 意

- ◆他のMIDI対応機器を接続しないで、SYNC. (シンクロ) がEXT. (エクスターナル) になっている場合は、エレクトーンのリズムはスタートしません。

# パワーオンリセット



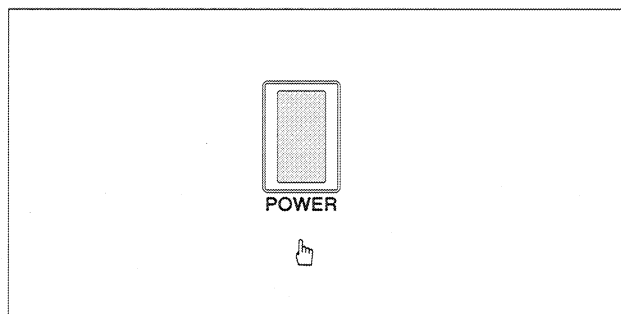
▲操作部分

## 機能

パワーオンリセットは、エレクトーンをお買い求めになったとき（工場出荷時状態）と同じ設定に戻すことができる機能です。

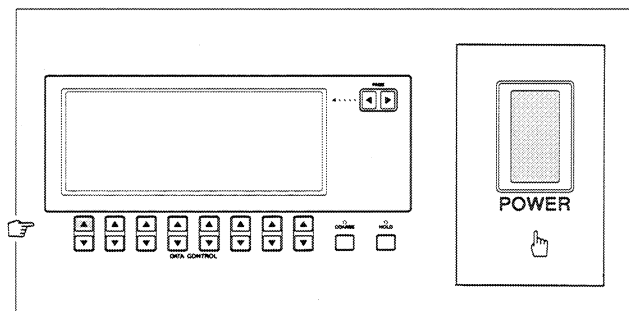
## 操作

1



例は、パワースイッチを押して電源を切った場合。

2



例は、[△]ボタンを押しながら、パワースイッチを押した場合。

●パワースイッチを押して、電源を切ります。

●データコントロールボタンの左端の[△]を押しながら、パワースイッチを押します。

これで、エレクトーンをリセットすることができました。

## 注意

- ◆エレクトーン本体だけに記憶させているレジストレーションのデータは、リセットする前にフロッピーディスクに記録させておきましょう。  
→P162参照



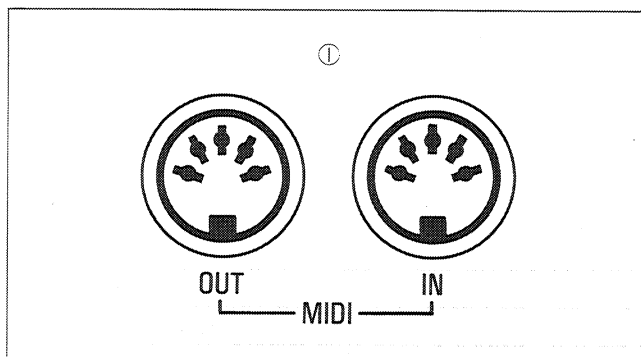
## 付録

付属端子について	P202
MIDI対応機器との接続例	P203
MIDIコード一覧	P204
末永くお使いいただくために	P209
困ったときに（故障だと思える前に）	P210
仕様	P212

## 付属端子について

付属端子は、下鍵盤の裏にあります。右側にMIDI端子、左側にその他の端子があります。

### MIDI端子



#### ①MIDI IN/OUT (MIDI入/出力端子)

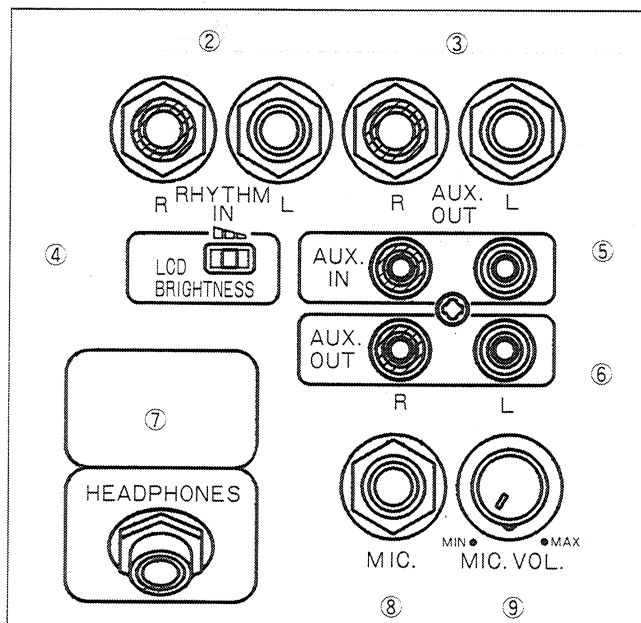
MIDI規格に応じた外部機器と、各種情報をやりとりするときに接続する端子です。

IN (イン) で、他の機器の情報を入力します。

OUT (アウト) で、エレクトーンの演奏情報を他の機器に出力します。

★接続に際しては、MIDI専用ケーブルを使ってください。

### その他の端子



#### ②RHYTHM IN (リズム入力端子)

他のリズムマシンからの信号をステレオ入力する端子です。

#### ③AUX. OUT (ライン出力端子)

エレクトーンの音声信号を、外部スピーカーがミキサーなどにステレオ出力する端子 (フォーン) です。この端子だけを使用すれば、エレクトーンのすべての音声信号を出力させることができます。

#### ④LCD BRIGHTNESS (LCDブライツネス)

ディスプレイの明るさを3段階に調節することができるスイッチです。

#### ⑤AUX. IN (ライン入力端子)

外部機器からの音声信号をステレオ入力する端子です。この端子で入力した音の音量は、接続した外部機器で調節します。

#### ⑥AUX. OUT (ライン出力端子)

キーボードアンプKAシリーズなどの外部スピーカーやミキサーなどに音声信号をステレオ出力する端子です。この端子に外部アンプ・スピーカーを接続している際にエレクトーンの電源だけをオフにする場合は、エレクトーン本体の音量を小さくするか (エクスプレッションペダルを手前に戻す)、外部アンプ・スピーカーの音量を小さくしてから、電源をオフにしてください。

#### ⑦HEADPHONES (ヘッドホン端子)

ヘッドホン接続する端子です。ヘッドホン以外の機器を接続することはやめてください。

#### ⑧MIC. (マイク端子)

マイクロフォンを接続する端子です。

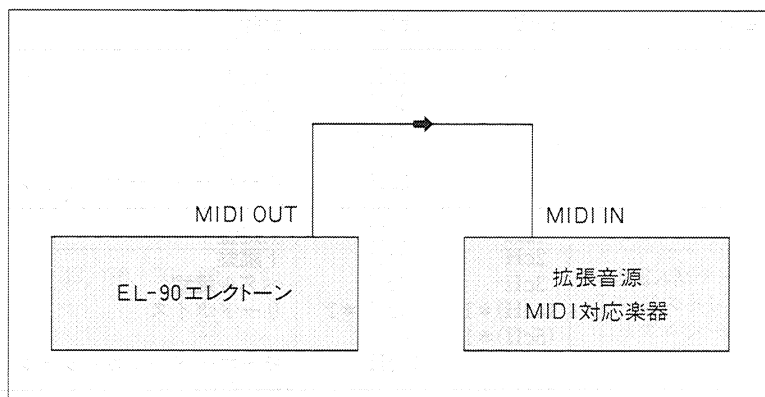
#### ⑨MIC. VOL. (マイクボリューム)

接続したマイクロフォンの音量を調節するボリュームです。



## MIDI対応機器との接続例

拡張音源や楽器に演奏データを送信する場合



- エレクトーンの演奏情報を、拡張音源または音源をもったMIDI対応機器に送信したい場合は、左図のように接続してください。エレクトーンを演奏すると、その演奏データに従って、外部機器の音色が発音します。
- 送信に際しては、エレクトーンのMIDIアウトプットのチャンネルと、外部機器の受信チャンネルを同じにしてください。  
→ P197参照。

### 注 意

- ★受信する音源を切り替える際は、いったん発音を止めてください。複数の拡張音源を接続しているとき、受信する音源を切り替えると、最初の音が発音しないといった不都合が生じる場合があります。

## MIDIコード一覧

## ■チャンネルメッセージ

コード	ファンクション	送信	受信	備考
8n、nn(ノートNo)、80-7F	ノートオフ	×	1cH 2cH 3cH (4cH) *1 15cH	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リードボイス キーボードパーカッション
9n、nn(ノートNo)、00 01-7F	ノートオフ オン	1cH 2cH 3cH (4cH)*1 (5cH)*1 ×	1cH 2cH 3cH (4cH)*1 ×	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リードボイス キーボードパッカッション
Bn、04、00-7F	セカンドエクスプレッション	16cH (4cH)*1	16cH (4cH)*1	コントロール リードボイス
BF、08、00-7F	エクスプレッション	16cH	16cH	コントロール
Bn、40、00 7F	サステインオフ オン	×	×	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤
Bn、7B、00	オールノートオフ	×	×	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リードボイス コントロール
Cn、nn(レジストNo)	プログラムチェンジ	×	1cH 2cH 3cH 16cH	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 コントロール
Dn、00-7F	アフタータッチ	1cH 2cH 3cH (4cH)*1 ×	1cH 2cH 3cH (4cH)*1 ×	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リードボイス

\*1MIDIコントロール機能で変更。

## ■リアルタイムメッセージ

コード	ファンクション	送信	受信	備考
F8	クロック	○	○*1	
FA	スタート	○	○	
FC	ストップ	○	○	
FE	アクティブセンス	○	○	
FF	リセット	×	×	

\*1外部同期モードのみ。

## システムイクスクルーシブメッセージ

## 1. エレクトーン共通メッセージ

## ■バルクダンプデータ関係

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、70、00、……（データ）……F7 01 02	バルクダンプデータ 音色パラメータデータ送信要求 音色パラメータデータ受信要求	× × ×	○ ○ ○
F0、43、70、70、10、F7 11 12 14 15 16	全RAMデータ送信要求 レジストレーションデータ送信要求 リズムシーケンスデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーボイスデータ送信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
F0、43、70、70、20、F7 21 22 24 25 26	全RAMデータ受信要求 レジストレーションデータ受信要求 リズムシーケンスデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーボイスデータ受信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
F0、43、70、70、30、F7	モデルIDデータ送信要求	×	○
F0、43、70、70、38、7F、F7 00	バルクダンプアクノリッジ アンアクノリッジ	○ ○	× ×

## ■コントロールチェンジ

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、70、40、45、7F、F7 00	レフトフットスイッチオン オフ	○ ○	○ ○
40、47、7F、F7 00	ニーレバーオン オフ	○ ○	○ ○
40、48、7F、F7 00	フィルイン1オン オン	○ ○	○ ○
40、48、7F、F7 00	イントロ/エンディングオン オフ	○ ○	○ ○
40、50、TL、TH、F7	テンポ	○	○

## ■MDR-2P関係

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、70、70、01、F7 02	プレイスタート ストップ	× ×	○ ○
03	レコードスタート	×	○
04	ストップ	×	○
05	早送りスタート	×	○
06	ストップ	×	○
09	リズムポインターリセット	×	○

## ■その他

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、70、78、SC、NC、F7	バーシグナル	○	○

## 2. ELシリーズ共通メッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、78、00、……（データ）……F7 01 02	バルクダンプデータ 音色パラメータデータ送信要求 音色パラメータデータ送信要求	○ × ×	○ ○ ○
F0、43、70、78、10、F7 11 12 14 15 16	全RAMデータ送信要求 レジストレーションデータ送信要求 リズムシーケンスデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーボイスデータ送信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
F0、43、70、78、20、F7 21 22 24 25 26	全RAMデータ受信要求 レジストレーションデータ受信要求 リズムシーケンスデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーボイスデータ受信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
F0、43、70、78、41、……（データ）……F7	パネルスイッチイベントデータ*1	○	○
F0、43、70、78、42、……（データ）……F7	カレントレジストレーションデータ	○	○

\*1次のページのスイッチコードを一覧を参照。

## 3. モデル固有メッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、70、nn、00、……（データ）……F7 nn、00 nn、01 nn、02	バルクダンプデータ モデルIDデータ 音色パラメータデータ送信要求 音色パラメータデータ受信要求	× ○ × ×	○ × ○ ○
F0、43、70、nn、10、F7 11 12 14 15 16	全RAMデータ送信要求 レジストレーションデータ送信要求 リズムシーケンスデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーパターンデータ送信要求 ユーザーボイスデータ送信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
F0、43、70、nn、20、F7 21 22 24 25 26	全RAMデータ受信要求 レジストレーションデータ受信要求 リズムシーケンスデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーパターンデータ受信要求 ユーザーボイスデータ受信要求	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○

nnは、\$ 35(EL70)、\$ 36(EL90)で送受信可能。

## 4. エレクトーン/シングルキーボード共通メッセージ

コード	メッセージ	送信	受信
F0、43、73、01、02、F7 03	内部同期モード要求 外部同期モード要求	× ×	○ ○

## ●スイッチコード一覧

モデルコード [F0、43、70、MODEL、FUNCTION、CODE、DATA、F7] MODEL 78シリーズ、FUNCTION 41: パネルスイッチイベント

ファンクション/スイッチ		コード	データ	備考
セレクト	アッパーキーボードボイス 1	02	00-0D	スイッチナンバー
	ロワーキーボードボイス 1	03	00-0D	スイッチナンバー
	アッパーキーボードボイス 2	04	00-0D	スイッチナンバー
	ロワーキーボードボイス 2	05	00-0D	スイッチナンバー
	リードボイス	06	00-04	スイッチナンバー
	ペダルボイス 1	07	00-04	スイッチナンバー
	スイッチナンバー 2	08	00-04	スイッチナンバー
	リズム	0B	00-0B	スイッチナンバー
ボリューム	アッパーキーボードボイス 1	12	00-7F	ボリュームデータ
	ロワーキーボードボイス 1	13	00-7F	ボリュームデータ
	アッパーキーボードボイス 2	14	00-7F	ボリュームデータ
	ロワーキーボードボイス 2	15	00-7F	ボリュームデータ
	リードボイス	16	00-7F	ボリュームデータ
	ペダルボイス 1	17	00-7F	ボリュームデータ
	ペダルボイス 2	18	00-7F	ボリュームデータ
	リズム	1A	00-7F	ボリュームデータ
	リバーブ	1B	00-7F	デプスデータ
フルートボイス	アッパー	30	00-01	00-OFF 01-ON
	ロワー	31	00-01	00-OFF 01-ON
トゥロー	リード	36	00-01	00-OFF 01-ON
	ペダルボイス 1	37	00-01	00-OFF 01-ON
	ペダルボイス 2	38	00-01	00-OFF 01-ON
ブリリアンス	アッパーキーボードボイス 1	42	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	ロワーキーボードボイス 1	43	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	アッパーキーボードボイス 2	44	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	ロワーキーボードボイス 2	45	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	リードボイス	46	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	ペダルボイス 1	47	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
	ペダルボイス 2	48	00-06	00-ブリリアント 06-メロー
サステイン	アッパー	50	00-01	00-OFF 01-ON
	ロワー	51	00-01	00-OFF 01-ON
	ペダル	52	00-01	00-OFF 01-ON
キーボードパーカッション	ロワー	5B	00-01	00-OFF 01-ON
	ペダル	5C	00-01	00-OFF 01-ON
ディセーブル	ディセーブル	5F	00-01	00-OFF 01-ON
トレモロ	トレモロ	60	00-01	00-コーラス 01-トレモロ
リズムシーケンス	1	61	00-01	00-OFF 01-ON
	2	62	00-01	00-OFF 01-ON
	3	63	00-01	00-OFF 01-ON
	4	64	00-01	00-OFF 01-ON

エレクトーン ELシリーズ MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 1991-01-22  
Version : 1. 1

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1、2、3、16チャンネル 4、5チャンネル	1、2、3、16チャンネル 4チャンネル	****
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード3 × ×	
ノートナンバー	音域	36-96* *****	36-96**	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	9nH、V=1-127 9nH、V=0	9nH、V=1-127 9nH、V=0、8nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ○	× ○	
ピッチベンダー		×	×	
コントロールチェンジ	1 4 11 64	× ○ ○ ×	× ○ ○ (外部モード時のみ) ×	モジュレーションホイール セカンドエクスプレッションペダル エクスプレッションペダル サステイン
プログラムチェンジ	設定可能範囲	0-15***112-116 *****	0-15***112-116	
エクスクルーシブ		○	○	MIDIコード一覧表参照
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	受信は外部同期モード時 (FAH、FCH)
その他	ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	× × ○ ×	
備考		* 1チャンネル：48-96、2チャンネル：36-84、3チャンネル：36-55 ** 15チャンネルのみ36-127、他は36-96 *** 0-15：EL-90、0-7：EL-70 **** 1チャンネル：上鍵盤、2チャンネル：下鍵盤、3チャンネル：ペダル鍵盤 4チャンネル：リードボイス、15チャンネル：キーボードパーカッション、 16チャンネル：コントロール		

モード1：オムニ・オン、ポリ      モード2：オムニ・オン、モノ      ○：あり  
 モード3：オムニ・オフ、ポリ      モード4：オムニ・オフ、モノ      ×：なし

## 末永くお使いいただくために

### 設置場所について

- 直射日光はさけてください。
- 暖房器具の近くには設置しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所や、温度の特に低い場所もさけてください。

### 外装・鍵盤のお手入れは

- 外装や鍵盤のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤は、鍵盤や外装をいためますので、絶対に使用しないでください。
- 外装の塗装は、ビニール製品と化学反応を起こすことがありますので、ビニール製のカバーなどはご使用にならないでください。

### 電源コードを大切に

- エレクトーン本体や椅子などで電源コードを踏みつけたり、足に引っかけたりしないように注意してください。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っばらないでください。
- 電源コードの継ぎ足しは、危険ですからさけてください。

### 無理な力を加えないでください

- ボタンやつまみ、スイッチ類に無理な力を加えることはさけてください。
- 椅子、譜面板などの取り扱いでは、キズをつけないように注意してください。

### 他の機器との接続について

アンプなどの外部機器と接続する場合は、P202「付属端子について」を参照のうえ、正しく接続してください。また接続の際はエレクトーンと外部機器の電源スイッチを切ってから行ってください。

### 他の電気機器への影響について

このエレクトーンはデジタル回路を多用しているため、ごく近くでラジオやテレビの電気機器を同時に使用すると、雑音や誤作動の原因になることがあります。他の電気機器から充分はなしてご使用ください。

### 落雷に対する注意

落雷などのおそれがあるときは、早めに電源コードをコンセントから抜いてください。

### 万一異常があったら

使用中に音が出なくなったり、異常なおい煙が出た場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店もしくはサービスセンター、サービスステーションまでご連絡ください。

### 本書と保証書の保管について

本書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

### フロッピーディスクの取り扱いと保管について

フロッピーディスクのなかには、情報を記憶する磁性体が入っていますのでその取り扱いや保管では、次の点に注意してください。

- 磁気を帯びたもの（テレビの上、磁石など）には絶対に近づけないでください。
- 落としたり、強い力を加えたりしないでください。
- シャッターを開けたり磁性体に手を触れたりしないでください。
- 差込み口の先端を堅いものでこすったり、傷をつけないようにしてください。
- 内部に水やホコリが入らないように注意してください。
- 保管する場合は、過度な温度や湿気に注意してください。
- 必ず、専用のケースにに入れて保管してください。
- 持ち運ぶ際も、市販の専用ケースにに入れてお使いください。まれに、衣類などの静電気によってフロッピーディスクの情報が消えてしまうことがあります。
- 大切な情報を記憶させたフロッピーディスクは、万一のトラブルに備えて、他のフロッピーディスクにも情報を記憶させて、予備のフロッピーディスクをつくるようにしましょう。

## 困ったときに(故障だとお考えになる前に)

下記のような現象は故障ではありません。このような現象でサービスを依頼されますと、保証期間中であっても実費料金を申し受けますので、ご了承ください。

現 象	原 因 と 対 処
時々ガリッとかポツンという雑音が入る。	近くで電気器具の電源をON/OFFしたり、故障したネオンサインや電気ドリルなどを使用している場合は、雑音が入ることがあります。原因と思われる機器から、なるべく離れたコンセントを使ってください。また、原因不明の場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
ラジオやテレビ、無線などの電波が入る。	近くに大電力の放送局やアマチュア無線局があるためです。どうしても気になる場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
ラジオやテレビなどに雑音が入ることがある。	エレクトーンのすぐ近くにラジオやテレビを置いてあると雑音が入ることがあります。なるべく離してご使用ください。
音が周囲のものを共鳴させてビビル。	エレクトーンの音は持続音が多いため、周囲の戸棚や窓ガラスの器物を共鳴させることがあります。気になる場合は、器物を取り除くか、音量を小さくしてください。
選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のバラつきがある。	一般に電子楽器は、音色を変えるという本質的な要素を持つため、音色による各鍵盤の音量のバラつきをなくすことは非常に困難です。エレクトーンは、どの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されていますが、設置場所や聞く位置によって音量や音色が異なることがあります。どうしても気になる場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
ペダル鍵盤ではピッチが高く、上・下鍵盤の高音部では低く感じられる。	特にピアノと比較した場合に感じますが、ピアノでは倍音構成が複雑なため、高音と低音の調律は実音での調律ができず、倍音を聞いて調律しています。エレクトーンの場合は逆に実音で調律していますから、ピアノとエレクトーンでは本質的に違うわけです。
割れるような感じや、ノイズが入るような感じのする音色がある。	おもに管楽器の音色で感じるのですが、これは実際の楽器音の特長を再現するため、特に組み込まれた音色効果です。ブラスの振動やプレスノイズなど、よりリアルな特徴をそなえた音色が得られます。
ボリュームを最大にセットしても、音が小さすぎる。	①マスターボリュームが最少近くになっています。時計回りに回してください。 ②エクスプレッションペダルが踏み込まれていません。ペダルを踏み込んでください。
上鍵盤と下鍵盤を同時に15音押さえても、14音しか発音しない。	上鍵盤または下鍵盤では、上下鍵盤合わせて最大14音まで同時に発音するようになっています。また、フルートボイスは、上下鍵盤合わせて最大12音まで同時に発音します。ただし、アタック音は、上下鍵盤それぞれ6音を同時に発音します。→P12へ
ペダル鍵盤またはリードボイスを同時に2音押さえても、1音しか発音しない。	ペダル鍵盤またはリードボイスでは、それぞれ同時に1音しか発音しないようになっています。同時に2音以上押さえた場合は、高音が優先されます。→P12
上鍵盤の音量が下鍵盤の音量に較べて大きすぎる。(またはその逆)	マニュアルバランスがアッパーまたはロー側寄りすぎています。ボイスディスプレイを押して、マニュアルバランスを設定しなおしてください。→P43
ボリュームをセットしても、ペダル鍵盤の音色が発音しない。	オートベースコードのシングルフィンガーまたはフィンガーコードがセットされています。リズムコンディションまたは、[A.B.C./M.O.C.] ボタンのメニューのA.B.C.のモードをオフにしてください。→P116 ペダルボタンの[TO LOWER] (トゥーロー) ボタンが2つともオンになっています。ボタンをオフにしてください。
パンをセットしたのに左右の音のバランスが変わらない。	ボイスコンディションのエフェクトがオフになっていません。パン機能は、ボイスコンディションのエフェクトがオフの状態でないとかかりません。
ボイスエディットを押したのにディスプレイにエディットのメニューが表示されない	ボイスエディットボタンだけを押ししているためです。ボイスエディットボタンを押しながら、エディットしたい音色ボタンも押さないとボイスエディットのメニューは表示されません。



現 象	原 因 と 対 処
ボタンを押しても、そのボタンのメニューが表示されない。	ホールドボタンがオンになっています。ホールドをオフにして、あらためて目的のボタンを押してください。
タッチコントロールが思ったより効かない。	ボイスコンディションでのタッチトーンのレベル設定がゼロになっています。ボイスコンディションのメニューを表示させ、タッチトーンのレベルを上げてください。→ P22
レジストレーションに記憶されない機能がある。	次の機能は記憶されないようになっています。 リズムのスタート、シンクロススタート、フィルイン、イントロ/エンディングの各スイッチなどの機能。 ユーザーボイス、ユーザーリズム、レジストシフト、MDRセレクトボタンなど。
トゥーディスクの操作をしても、データが移らない。	操作が不適切であるか、フロッピーディスクのプロテクトスイッチがオンになっています。操作方法などを確認してください。→ P155
メロディーオンコードによるハーモニーの音が発音しない。	上鍵盤でリードボイスだけが発音するようになっています。アップパーキーボードボイスまたは、アップパーフルートボイスをセットしてください。→ P16、P34
ボイスエディットを行っているとき、鍵盤を押さえても指定した音色が発音しない。	①オペレーターがオフになっているか、アウトプットレベルがゼロになっています。オペレーターをオンにするか、アウトプットレベルを上げてください。 ②エンベロープジェネレーターの各レベルが極端に低くなっています。設定をしておってください。→ P86
ボイスエディットで、FMオペレーターのキャリアのエンベロープジェネレーターを変更したら、音色の変化するタイミングがずれてしまう。	FMオペレーターのモジュレーターのエンベロープジェネレーターを変更していないために、時間的に変化するタイミングが音量と音色でずれています。モジュレーターのエンベロープジェネレーターを変更してください。→ P87
下鍵盤またはペダル鍵盤を押さえると、リズム楽器の音が一緒に発音する。	キーボードパーカッションがオンになっています。キーボードパーカッションを使用しないときはオフにしてください。→ P113
A.B.C.のシングルフィンガーで下鍵盤の高い方を押さえても、音程が変わらない。	シングルフィンガーでは定められた1オクターブのなかの音が出るようになっています。同じコードまたは同じ音色であれば、下鍵盤のどの位置を押さえても同じ音程で和音が出ます。
コントロールパネル等が正常に働かない。または、メモリーしていた情報が変わってしまう。	非常にまれなことですが、落雷などにより異常電圧が流れ、エレクトーンが正常に機能しなくなったり、メモリーしていた情報が変わったりすることがあります。このような場合は、いったん電源スイッチを切り、データコントロールボタンの左端の[△]を押しながら、電源スイッチをもう一度オンにしてください。それでも正常に働かない場合は、電音サービスセンター、サービスステーションまでご相談ください。
リバーブの深さを変えても変わらない	その音色群にエフェクトがかかっています。 リバーブのページ4にしてエフェクターのリバーブレベルを変えて下さい。

## EL-90仕様

## SPECIFICATION

鍵盤	上鍵盤	49鍵 c ~ c4 (4 オクターブ)
	下鍵盤	49鍵 C ~ c3 (4 オクターブ)
	ペダル鍵盤	20鍵 C ~ g (1 $\frac{1}{2}$ オクターブ)
タッチレスポンス	イニシャルタッチ	リードボイス、アッパーキーボードボイス、ローキーボードボイス、ペダルボイス
	アフタータッチ	リードボイス、アッパーキーボードボイス、ローキーボードボイス、ペダルボイス
音色	アッパー キーボードボイス 1、2	ストリングス1・2・3・4・5、トレモロストリングス、シンセストリングス1・2、ピチカートストリングス、クラリネット1・2、シンセクラリネット1、サキソフォン1・2、サキソフォンアンサンブル、ソプラノサックス、ブラス1・2・3・4、シンセブラス1・2、コーラス1・2・3、ボーカル、オルガン1・2・3・4、シアターオルガン1・2、ポップオルガン1・2、ジャズオルガン1・2・3、アコーディオン、バンドネオン、ピアノ1・2、ホンキートンクピアノ、エレクトリックピアノ1・2、クラブ、ハーブシコード1、ギター1・2・3、エレクトリックギター1・2、ディストーションギター、ミュートッドギター、マンドリン、大正琴、バンジョー、ハーブ、琴、ビブラフォン、スティールドラム、チャイム、グロッケン、チェレスタ、シンセチャイム、マリンバ、シロフォン、トゥッティ1・2・3・4・5・6、コズミック1・2・3・4・5・6・7・8・9、ハーモニカ1・2、(アッパー専用)、ホルン1・2・3(ロー専用)、ミュートッドホルン(ロー専用)、[ドットボタン]アッパーキーボードボイス1・2、アッパーキーボードボイス2・1・2、ローキーボードボイス1・2、ローキーボードボイス2・1・2
	リードボイス	バイオリン1・2・3・4、チェロ、ピチカートバイオリン、フルート1・2、リコーダー、パンフルート、ホイッスル、ビッコロ、トランペット1・2・3・4・5、ミュートッドトランペット、フリューゲルホルン、トロンボーン1・2、ミュートッドトロンボーン、オーボエ1・2、イングリッシュホルン、バスーン1・2、[トゥーロー]、[ドットボタン] 1:1
	ペダルボイス 1、2	コントラバス1・2、ピチカートベース、アップライトベース、エレキベース1・2・3、シンセベース1・2・3、オルガンベース1・2・3・4、チューバ、ティンパニ、ティンパニロール、[トゥーロー]: ペダルボイス1・2、[ドットボタン]: ペダルボイス1:1、ペダルボイス2:1
	アッパーフルートボイス (セレクト)	[フッテージ]: 16'、8'、5・1/3'、4'、2・2/3'、2'、1・3/5'、1'、[アタック]: 4'、2・2/3'・2'、[レンジス]、[モード]: イーチ、ファースト、クリック、レスポンス、ボリューム
	ローフルートボイス (セレクト)	[フッテージ]: 16'、8'、5・1/3'、4'、2・2/3'、2'、1・3/5'、1'、[アタック]: 4'・2・2/3'・2'、[レンジス]、[モード]: イーチ、ファースト、クリック、レスポンス、ボリューム
	アッパー、ロー フルートボイス	[フロム・プリセット&ユーザー]ジャズオルガン1・2・3・4、ポップオルガン1・2・3・4、ユーザー1・2・3・4・5・6・7・8、[セーブ・トゥ・ユーザー]: ユーザー1・2・3・4・5・6・7・8
効果・コントロール	リバーブ	パネル コントロール
		ディスプレイ タイプ: ルーム、ホール、チャーチ、レンジス、デプス、[リバーブレベル]: アッパー1・2、ロー1・2、リード、ペダル1・2、トレモロ、シンフォニック、アカンパニメント、パーカッション、[ディレイ]: アッパー、ロー、ペダル、[フランジャー]: アッパー、ロー、ペダル
	サステイン	パネル アッパー(ニー)、ロー(ニー)、ペダル
		ディスプレイ レンジス: アッパー、ロー、ペダル、ニー
	ブリリアンス	パネル [コントロール]: アッパーキーボードボイス1・2、リードボイス、ローキーボードボイス1・2、ペダルボイス、
		ディスプレイ コントロール
	トレモロ (ファースト)	トレモロスピード、[コーラス]: スロー
	シンフォニック/セレステ	プリセット<エディションディスプレイ>: オン/オフ (アッパー、リード、ロー、ペダル)、モード<エフェクトディスプレイ>: シンフォニック/セレステ (アッパー、リード、ロー、ペダル)
	ビブラート	アッパーキーボードボイス、ローキーボードボイス: プリセット/ユーザー(デプス)、タッチビブラート: オン/オフ、リードボイス: リセット/ユーザー(ディレイ、デプス、スピード)、タッチビブラート: オン/オフ
	ディレイ/フランジャー	コンディショニング プリセット: オン/オフ (アッパー、リード、ロー、ペダル)
		ディレイ: タイム、フィードバック、バランス、フランジャー: スピード、フィードバック、デプス
パン	ピッチベンド	オン/オフ: アッパーキーボードボイス1・2、リードボイス、モード: ナロー/ワイド
	リードスライド	オン/オフ: タイム、ニー
	パン	アッパーキーボードボイス、リードボイス、ローキーボードボイス、ペダルボイス: 7ポジション

効果・コントロール	フィート	アッパーキーボードボイス、リードボイス、ローキーボードボイス、ペダルボイス：プリセット/4'/8'/16'	
	グライド	アッパーキーボードボイス、リードボイス、ローキーボードボイス：タイム1～5	
	ボリュームファイン	アッパーキーボードボイス、リードボイス、ローキーボードボイス、ペダルボイス	
	ダイナミックレンジエンハンサー	オフ、1、2、3	
	リードディチューン	○	
	マニュアルバランス	○	
ボイスエディット	オン/オフ、オベレーター1・2・3・4(アウトプットレベル、アタックレート、ディケイ1レート、ディケイ1レベル、ディケイ2レート、リリースレート)、AWM(アウトプットレベル、カットオフ、レゾナンス)、セーブ・トゥ・ユーザー・ボイス(ユーザー1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16)、ロード・フロム・ボイスディスク		
基本レジストレーション		1、2、3、4、5	
レジストレーションメニュー		(ディスク供給)	
リズム	マーチ1・2・3、ボルカ1・2、カントリー1・2、ブロードウェイ、バロック、ワルツ1・2・3・4・5、ジャズワルツ1・2・3、ボレロ、スイング1・2・3・4・5・6、ジャズバラード、ディキシランド1・2、バウンス1・2・3、レゲエ1・2、スローロック1・2・3、タンゴ1・2・3、チャチャ、ルンバ、ビギン、マンボ、サルサ、サンバ1・2・3、ボサノバ1・2・3、8ビート1・2・3・4・5、ダンスポップ1・2・3・4、16ビート1・2・3・4・5、16ビートファンク1・2・3		
	コントロール	パネル	スタート、シンクロナスタート、イントロ/エンディング、フィルイン、ボリューム、テンポ、バー/ビート、テンポディスプレイ、テンポランプ
		ディスプレイ	オートバリエーション：オン/オフ、ボリューム、バランス
	プログラム	パターン	ビート：4/4、3/4、2/4、クオンタイズ：♩、♪、♩♩、♩♩♩、♩♩♩♩、♩♩♩♩♩、オフ、メトロノーム：オン/オフ、インストールメンタル (No.=、チェンジ、クリア、<、>)、アクセント(0、1、2、3、4、5、6、7、8)、オートベースコード：オン、シングルフィンガー、フィンガーコード、カスタムA.B.C.、オートバリエーション：オン/オフ、アカンパニメント：ボリューム、パーカッション：リバーブ、バランス、ボリューム、[セーブ・トゥ・ユーザーリズム]：ユーザー1・2・3・4・5・6・7・8・A・B・C・D・フィルイン
		シーケンス	[パネル] シーケンス1・2・3・4、[ディスプレイ] ポジショントップ・<、>、データ：プリセット・ユーザー・インスト・デリート・クリア
アカンパニメント		タイプ1・2・3・4、ボリューム、	
キーボードパーカッション		ロー、ペダル	
オートベースコード		オートベースコード：オフ、シングルフィンガー、フィンガーコード、カスタムA.B.C.、メモリー：ロー、ペダル	
メロディーオンコード		モード：オン/オフ、1・2・3、ニー：オン/オフ	
レジストレーションメモリー		メモリー、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、ディセーブル	
レジストシフト		モード：オフ、シフト、ジャンプ、ユーザー、ジャンプ：レジスト、ユーザー：ポジション ( << >> )、データ(セット、インサート、デリート、クリア)、シフトエディット：1～80	
フットスイッチ		[フットスイッチ レフト] モード：オフ、リズム、グライド、トレモロ、リズムコントロール：ストップ、エンディング、フィルイン、グライドコントロール：アッパー1・2、ロー1・2、リード、スピード [フットスイッチ ライト] レジストシフト	
ニーコントロール		サステイン：アッパー、ロー、M.O.C：オン/オフ	
セカンドエクスプレッション		モード：ナロー/ワイド、ピッチベンド：オン/オフ(アッパー1・2、リード)、テンポ：オン/オフ	
ピッチ		○	
トランスポーズ		○	
ミュージックディスクレコーダー		レコード：アッパー、ロー、ペダル、コントロール、プレイ：アッパー、ロー、ペダル、コントロール、ポーズ、ストップ、プレイ、ソングセレクト、ソングリビート、ソングコピー：フロム、トゥ、ソングデリート、シフト、カスタムプレイ、テンポ、フォーマット	
メインコントロール・その他		パワー、マスターボリューム、ニーレバー、フットスイッチ、ディスプレイセレクト、ページ、コース、ホールド、データコントロール、LCDブライイトネス、セカンドエクスプレッションペダル、マイクボリューム	
ジャックの形式		ヘッドホン、リズムインL・R(フォーン)、AUXインL・R、MIDIイン・アウト、AUXアウトL・R(フォーン)、マイク	
アンプ		210W	
スピーカー		20cm×2(コーン型)、18cm×2(コーン型)、2.5cm×2(ドーム型)、モニター×2(楕円型)	
定格電圧・消費電力・周波数		100V、160W、50/60Hz	
寸法/重量	本体	間口114.9cm、奥行55.6cm、高さ98.0cm (譜面板を立てたとき123.6cm)、重量96.5kg	
	椅子	間口76.6cm、奥行33.6cm、高さ58.0cm、重量10.0kg	
付属品		フロッピーディスク(3.5インチ、2DD)、レジストレーション・メニューディスク	



# 索引

五十音順索引	P 216
パネルボタン索引	P 220
機能別索引	P 226
ディスプレイ画面索引	P 232

## 五十音順索引

## あ

アウトプットレベル	82、87、88	
アウトプットレベル変更の一般的な原則		83
アカンパニメント	105、112	
アタック	37	
アタックモード	38	
アタックレート	82	
アタックレンジス	38	
アッパーキーボードボイス 1、2	12~16	
アッパーコンディション	22~27	
アッパーディレイ	76	
アッパーフランジャー	76	
アッパーフルートボイス	34~41	
アフタータッチ	23	
アルゴリズム	81	
アルゴリズム一覧	93~95	

## い

イニシャルタッチ	22	
イントロ／エンディング	103	

## え

8ビート	100~101	
エクスプレッションペダル	10、189	
AWM	80、84、88	
エディット	86、121、127、149	
A.B.C.	110、116	
A.B.C./M.O.C.	116、188	
FM音源	80、81	
エフェクト	23、58~61	
エフェクトセット	74~77	
M.O.C.	188	
MDRの基本的な操作手順		156
MDRのできるこ	156	
M./TO DISK	32、78、114、144、162	
LCDブライトネス	202	
エレキベース	13、15	
演奏だけを再生	178	
演奏までの操作手順	8、9	
演奏を再生する	177	
演奏を録音する	165	
エンベロープジェネレーター	82	
エンベロープジェネレーター変更の一般的な原則		83

## お

音を出す準備	10	
オートバリエーション	111	
オートベースコード	110、116	
オペレーター	80	
オペレーター選択の一般的な原則		83
オーボエ	13、15	
オルガン	13、14	
オルガンベース	13、15	
音色機能	11~97	
音色選択	16~21	
音色について	12~15	
音色の状態を決める	22~31	
音色ボタン名とドットボタンのページ数の関係		21
音色名の確認とマニュアルバランス	43	

## か

カスタムA.B.C.	111、117	
カスタム再生	178	
カスタムプレイ (MDR関係)	178	
カットオフ	84、88	
カットオフとレゾナンス変更の一般的な原則		84

## き

ギター	13、14	
キーボードパーカッション	113	
基本レジストレーション	44	
キャリア	81	
曲をコピーする	184	
曲を削除する	186	

## &lt;

グライドモード (フットスイッチ関係)	192~193	
クラリネット	13、14	
繰り返し再生	181	
クリック	38	

## け

鍵盤ごとに録音する	168	
鍵盤と音色群との関係	12	

## こ

効果について	58~61
コース	4
コズミック	13、14
コーラス (音色名)	13、14
コーラス (効果名)	73、74
コーラスモード	73、74
コントラスト	198
コントラバス	13、15
コントロール(MDR関係)	154

## さ

再生時のテンポ変更	183
再生の一時停止	179
再生の早送り、早戻し	179
再生を途中で止める	178
サキソフォン	13、14
サステイン	70

## し

シーケンス	135~142
自動伴奏	116
シフト	146
シフト (MDR関係)	154
16ビート	100、101
小音色群	12
シングルフィンガー	111、117
シンクロススタート	103
シンフォニック	58~61、75

## す

スイング	100、101
スタート	103
ストップ (MDR関係)	154
ストリングス	13、14
スライド	30
スライドタイム	30
スローロック	100、101

## せ

セカンドエクスプレッション	195
セカンドエクスプレッションペダル	10、195
セーブ・トゥ・ユア・ボイス	40
セレステ	58~61、75

## そ

操作概念チャート	8~9
操作の相関関係	8~9
操作パネルについて	2
その他の機能	187~199
ソングコピー (MDR関係)	154、184
ソングセレクト (MDR関係)	154
ソングデリート (MDR関係)	154、186
ソングリピート (MDR関係)	154、181

## た

ダイナミックレンジエンハンサー	75
タッチトーン	22
タッチビブラート	27、29
タンゴ	100、101

## ち

チューバ	13、15
チューン	30

## て

ディケイ 1 レート	82、87
ディケイ 1 レベル	82、87
ディケイ 2 レート	82、87
ディスプレイ	3、4
ディスプレイについて	4、5
ディスプレイの明るさ	5
ディセーブル	115、145
ディレイ	23、28~31、58~61、76
ディレイスピード	76
ディレイバランス	76
データコントロールボタン	4
電源コード	10
電源プラグ	10
テンポ	102

## と

同時発音数	12
トゥッティ	13、14
トゥーロワー	42
ドットボタン	18~21、106~109
トランスポーズ	97
トランペット	13、15
トレモロ	23、39、58~61、73、74
トレモロ (ファースト)	73
トレモロスピード	73、74

## な

ナロー	195
-----	-----

## に

ニー	30、188
ニーレバー	10、71

## は

バイオリン	13、15
バウンス	100、101
パーカッションバランス	111
パーカッションボリューム	112
パターン	119~134
ハーモニカ	13、14
パワー	10
パワーオンリセット	199
パン	23

## ひ

ピアノ	13、14
ピッチ	97
ピッチベンド	195
ピッチを変える	96
ビブラート	26、28
ビブラートスピード	27、29
ビブラートディレイ	26、29
ビブラートデプス	27、29
ビブラフォン	13、14

## ふ

フィート	23、36、37
フィードバック	76、77、81
フィルイン	103
フィルター	84
フィンガーコード	111、117
フォーマット (MDR関係)	154、160
付属端子について	202
フットスイッチ	189~194
フットスイッチでコントロールできること	189
ブラス	13、14
フランジャー	23、58~61、76
フランジャースピード	14、15、34
プリセット音色	76
ブリリアンス	24、72
フルート	13、14
フルートボイス	34~41
フルートボイスのプリセット音色を選ぶ	34
プレイ (MDR関係)	154
フロッピーディスクに録音する	160、165~176
フロッピーディスクのメモリー残量の確認	176
フロッピーディスクを再生する	177~186
フロッピーディスクをフォーマット (初期化) する	160
フロム・プリセット&ユーザー・ボイス	34、41

## へ

ページ	4
ベーシックレジストレーション	44
ペダルコンディション	24、27
ペダルディレイ	76
ペダルフランジャー	76
ペダルボイス1、2	12、13、15

## ほ

ボイスエディット	80~92
ボイスエディットした音色をユーザーに登録	89~92
ボイスエディットの例	85
ボイスエディットについて	80~85
ボイスエディットをする	86~88
ボイスコンディション	22~31
ボイスディスプレイ	43
ボイスメニュー	16~17
ボサノバ	100、101
ポーズ (MDR関係)	154
ボリューム	24、25
ボリュームファイン	24、25
ホールド	4
ホルン	13、14
本書の見方・使い方	6、7

## ま

マスターボリューム	10
マーチ	100、101
マニュアルバランス機能	43

## み

MIDI	197、198
MIDIコード一覧	204~208
MIDI対応機器と接続例	203
MIDI端子	202
ミュージックディスクレコーダー	154~186
ミュージックディスクレコーダーについて	154~159

## め

メモリー (A.B.C.関係)	111、118
メモリー機能	144~186
メロディーオンコード	188

## も

モジュレーター	81
モニタースピーカー	2

## ゆ

ユーザー (フルートボイス関係)	40、41
ユーザー (ボイスエディット関係)	20、89
ユーザー (レジストシフト関係)	148
ユーザー (リズムプログラム関係)	122、133、138

## ら

ラテン	100、101
-----	---------



## り

リズム／アカンパニメントの発音状態を決める	110～112
リズム／アカンパニメントを選ぶ	110～112
リズムコンディション	110～112
リズムについて	100～103
リズム／伴奏機能	99～142
リズムプログラム	119～142
リズムボタン名とドットボタンのページ数の関係	109
リズムメニュー	104～105
リズムモード（フットスイッチ関係）	190～191
リードコンディション	28～31
リードスライド	30
リードディレイ	76
リードデチューン	30
リードフランジャー	76
リードボイス	13、15
リトライ	167
リバーブ	62～69
リバーブタイプ	63
リバーブデプス	64
リリースレート	82、87

## れ

レコード（MDR関係）	154
レジストシフト	146、153
レジストレーションデータをフロッピーディスクに記録	162
レジストレーション・メニューディスク	45～57

## ろ

録音時のテンポに戻す	183
録音をやり直す	167
ローキーボードボイス 1、2	12～14
ローコンディション	24、27
ローディレイ	76
ローフランジャー	76
ローフルートボイス	34～41

## わ

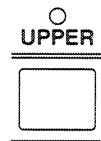
ワイド	195
ワルツ	100、101

# パネルボタン索引

ボタン

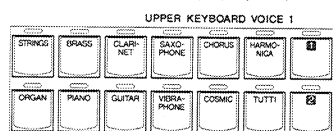
ページ数

アッパー(MDR)



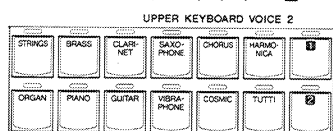
154

アッパーキーボードボイス1



12~16

アッパーキーボードボイス2



12~16

アッパーフルートボイス



5、34~41

イジェクト



3、159

イントロ／エンディング



103

8ビート



100~101

エクスプレッション

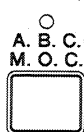


5、195

ボタン

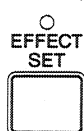
ページ数

A.B.C./M.O.C.



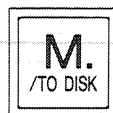
116、188

エフェクトセット



74~77

M./TO DISK



32、78、114、144、162

LCDブライツネス



200

エレキベース



13、15

オーボエ



13、15

オルガン

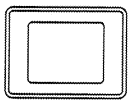

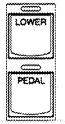

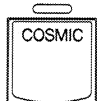







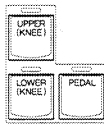

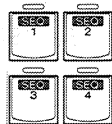
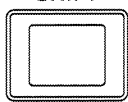
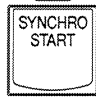
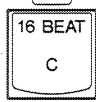
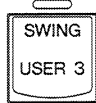
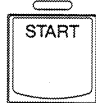
13、14

オルガンベース




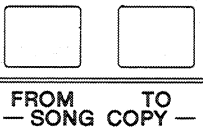




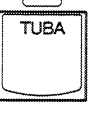



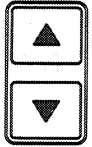
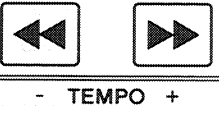
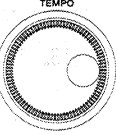


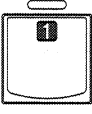
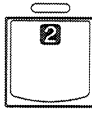

13、15

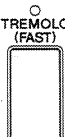




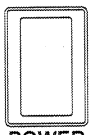
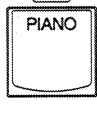


ボタン	ページ数
カスタムプレイ (MDR) ○ <b>CUSTOM PLAY</b> 	154、178
ギター 	13、14
キーボードパーカッション KEYBOARD PERCUSSION 	113
クラリネット 	13、14
コズミック 	13、14
コース ○ <b>COARSE</b> 	4
コーラス 	13、14
コントラバス 	13、15
コントロール (MDR) ○ <b>CONTROL</b> 	154

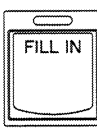


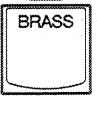
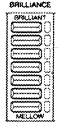
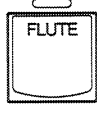

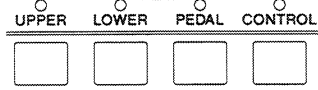
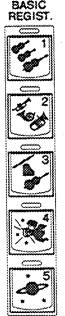
ボタン	ページ数
サキソフォン 	13、14
サステイン SUSTAIN 	70
シーケンス <b>SEQUENCE</b> 	135～142
シーケンス1～4 	135～142
シフト (MDR) ○ <b>SHIFT</b> 	154
シンクロスタート 	103
16ビート 	100、101
スイング 	100、101
スタート 	103

# 索引 パネルボタン索引

ボタン	ページ数
ストップ (MDR) 	154
ストリングス 	13、14
スローロック 	100、101
ソングコピー (MDR) 	154、184
ソングセレクト (MDR) 	154
ソングデリート (MDR) 	154、186
ソングリピート (MDR) 	154、181
タンゴ 	100、101
チューバ 	13、15





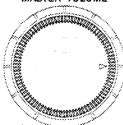







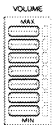



ボタン	ページ数
ディセーブル 	115、145
データコントロール 	4
テンポ (MDR) 	154
テンポ 	102
トゥッティ 	13、14
トゥーロー 	42
ドット1 	18～21、106～109
ドット2 	18～21、106～109
トランペット 	13、15

ボタン	ページ数
トレモロ (ファースト) 	73
バイオリン 	13、15
バウンス 	100、101
パターン 	119~134
ハーモニカ 	13、14
パワー 	10
ピアノ 	13、14
ピッチ EXP. PITCH/MIDI 	97
ビブラフォン 	13、14

ボタン	ページ数
フィルイン 	103
フォーマット (MDR)  <b>FORMAT</b>	154、160
フットスイッチ 	189~194
ブラス 	13、14
ブリリアンス 	24、72
フルート 	13、14
プレイ (MDR)  PLAY UPPER LOWER PEDAL CONTROL 	154
ベーシックレジストレーション 	44

索引

パネルボタン索引

ボタン	ページ数	ボタン	ページ数
<div>ページ</div> <div>PAGE</div> <div>   </div>	4	<div>ホルン</div> <div>HORN</div> <div>  </div>	13、14
<div>ペダル (MDR)</div> <div>PEDAL</div> <div>  </div>	154	<div>マスターボリューム</div> <div>MASTER VOLUME</div> <div>  </div>	10
<div>ペダルボイス1</div> <div>PEDAL VOICE 1</div> <div> <div>CONTRA BASS</div> <div>ELEC BASS</div> <div>1</div> <div>ORGAN BASS</div> <div>TUBA</div> <div>TO LOWER</div> </div>	12、13、15	<div>マーチ</div> <div>MARCH</div> <div>USER 1</div> <div>  </div>	100、101
<div>ペダルボイス2</div> <div>PEDAL VOICE 2</div> <div> <div>CONTRA BASS</div> <div>ELEC BASS</div> <div>1</div> <div>ORGAN BASS</div> <div>TUBA</div> <div>TO LOWER</div> </div>	12、13、15	<div>MIDI</div> <div>EXP. PITCH/MIDI</div> <div>  </div>	197
<div>ボイスエディット</div> <div>VOICE EDIT</div> <div>  </div>	80～92	<div>ラテン1</div> <div>LATIN 1</div> <div>USER 6</div> <div>  </div>	100、101
<div>ボイスディスプレイ</div> <div>VOICE DISPLAY</div> <div>  </div>	43	<div>ラテン2</div> <div>LATIN 2</div> <div>USER 7</div> <div>  </div>	100、101
<div>ポーズ (MDR)</div> <div>PAUSE</div> <div>  </div>	154	<div>リズム</div> <div>RHYTHM</div> <div> <div>MARCH USER 1</div> <div>WALTZ USER 2</div> <div>SWING USER 3</div> <div>BOUNCE USER 4</div> <div>SLOW ROCK A</div> <div>1 B</div> <div>TANGO USER 5</div> <div>LATIN 1 USER 6</div> <div>LATIN 2 USER 7</div> <div>8 BEAT USER 8</div> <div>16 BEAT C</div> <div>2 D</div> </div>	100、101
<div>ボリューム</div> <div>VOLUME</div> <div>  </div>	24、25	<div>リズムプログラム</div> <div>RHYTHM PROGRAM</div> <div>PATTERN SEQUENCE</div> <div>   </div>	119～142
<div>ホールド</div> <div>HOLD</div> <div>  </div>	4	<div>リードボイス</div> <div>LEAD VOICE</div> <div> <div>VIOLIN</div> <div>FLUTE</div> <div>1</div> <div>OBOE</div> <div>TRUMPET</div> <div>TO LOWER</div> </div>	13、15

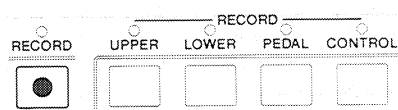
ボタン ページ数

リバーブ



62~69

レコード (MDR)



154

レジストシフト



146~153

レジストナンバー1~16



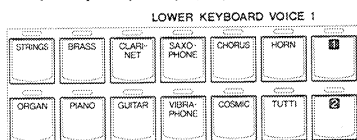
32、78、114、144

ロワー (MDR)



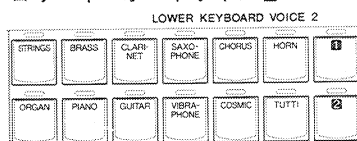
154

ロワーキーボードボイス1



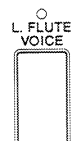
12~14

ロワーキーボードボイス2



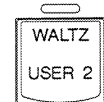
12~14

ロワーフルートボイス



34~41

ワルツ



100~101

## 機能別索引

機能名	できること	ページ数
音色機能		
ボリューム	音量を調節することができます。	10、24、25
アップパーキーボード ボイス (鍵盤ごとに音色を選ぶ)	上鍵盤でアップパーキーボードボイスを発音することができます。	16
リードボイス (鍵盤ごとに音色を選ぶ)	上鍵盤でリード演奏用の音色を発音することができます。	16
トゥーロワー (リードボイス) (音色を下鍵盤に移す)	現在選んでいるリードボイスを下鍵盤で発音することができます。	42
ロワーキーボード ボイス (鍵盤ごとに音色を選ぶ)	下鍵盤でロワーキーボードボイスを発音することができます。	16
ペダルボイス (鍵盤ごとに音色を選ぶ)	ペダル鍵盤でペダルボイスを発音することができます。	16
トゥーロワー (ペダルボイス)	現在選んでいるペダルボイスを下鍵盤で発音することができます。	42
アップパー コンディション (音色の状態を決める)	音色を選択後、同じボタンをもう一度押すと、アップパーキーボードボイスの発音状態を細かく設定することができます。	22
リード コンディション (音色の状態を決める)	音色を選択後、同じボタンをもう一度押すと、リードボイスの発音状態を細かく設定することができます。	28
ロワー コンディション (音色の状態を決める)	音色を選択後、同じボタンをもう一度押すと、ロワーキーボードボイスの発音状態を細かく設定することができます。	22
ペダル コンディション (音色の状態を決める)	音色を選択後、同じボタンをもう一度押すと、ペダルボイスの音色状態を細かく設定することができます。	22
アップパーフルートボイス	上鍵盤でアップパーフルートボイスを発音することができます。	34
	アップパーフルートボイスの発音状態を決めることができます。	35
	発音状態設定後の音色を登録・再現することができます。	40



機能名	できること	ページ数
音色機能	ロワーフルートボイス	34
	下鍵盤でロワーフルートボイスを発音することができます。	
	ロワーフルートボイスの発音状態を決めることができます。	
	発音状態設定後の音色を登録・再現することができます。	
	ドット (アッパーキーボードボイス1)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをアッパーキーボードボイス1のドットボタン $\text{[1]}$ か $\text{[2]}$ に登録することができます。	
	ドット (アッパーキーボードボイス2)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをアッパーキーボードボイス2のドットボタン $\text{[1]}$ か $\text{[2]}$ に登録することができます。	
	ドット (リードボイス)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをリードボイスのドットボタン $\text{[1]}$ に登録することができます。	
	ドット (ロワーキーボードボイス1)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをロワーキーボードボイス1のドットボタン $\text{[1]}$ か $\text{[2]}$ に登録することができます。	
	ドット (ロワーキーボードボイス2)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをロワーキーボードボイス2のドットボタン $\text{[1]}$ か $\text{[2]}$ に登録することができます。	
	ドット (ペダルボイス1)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをペダルボイス1のドットボタン $\text{[1]}$ に登録することができます。	
	ドット (ペダルボイス2)	18
	フルートボイス以外の全音色または、エディットしたユーザー音色のどれかひとつをペダルボイス2のドットボタン $\text{[1]}$ に登録することができます。	
ボイスディスプレイ (音色名の確認)	現在の音色名を確認することができます。	43
	上鍵盤と下鍵盤の音量のバランスを13段階に設定することができます。	43

機能名	できること	ページ数	
音色機能	ベーシック レジストレーション (基本レジストレーション)	基本レジストレーションにセッ トされた音色を使うことがで きます。	44
	レジストレーション メニュー・ディスク (レジストレーションのメニュー)	ディスクから、レジストレーシ ョンのメニューを選ぶことがで きます。	45
	リバーブ (音色に効果をつける)	上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の すべての音色とリズム音色に対 してリバーブ (残響効果) をか けることができます。	62
		他の効果にリバーブをプラスし たときのかかり具合を設定す ることができます。	67
	サステイン (音色に効果をつける)	上、下、ペダルの各鍵盤ごとの 音色にサステイン (余韻効果) を13段階に設定することができ ます。	70
	ブリリアンス (音色に効果をつける)	音色ごとにブリリアンス (音色 を輝かせる効果) を7段階に設 定することができます。	24、72
	エフェクトセット (音色に効果をつける)	トレモロ、コーラス、シンフォ ニック、ダイナミックレンジエ ンハンサーを音色全体に対して かけることができます。	74
		ディレイ、フランジャーをリー ド、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵 盤それぞれの音色に対してかけ ることができます。	75
		(音色に効果をつける)	トレモロとコーラスを切り替え ることができます。
	トレモロファーストの回転スピ ードを101段階に設定できます。		73
	コーラスのスピードをストップ かスローに切り替えることがで きます。		73
	エディット (音色の波形を変更する)	上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤、 リード、それぞれの音色の出方 や消え方を変えることができま す。	80
		エディットした音色をユーザー 音色として登録することができ ます。	89

機能名	できること	ページ数	
ピッチ (音のピッチを決める)	音を移調することができます。	96	
	ピッチを20段階に設定することができます。	97	
リズム機能 リズム (リズムを選ぶ)	リズムを選ぶことができます。	104	
	アカンパニメントのタイプ（4タイプ）を選ぶことができます。	105	
	リズムの音量を設定することができます。	102	
	リズムを選択後、同じボタンをもう一度押すと、リズムのコンディションを設定することができます。	110	
	オートベースコードの設定ができます。	110	
	パーカッションのシンバル系とドラム系のバランス設定、パーカッションのボリューム設定をすることができます。	111	
	テンポ (リズムの速さを決める)	リズムのテンポを40～240の間で、ひとつずつ数字を変えることができます。	102
	ドット（リズム）	全てのリズムのなかから、ドットボタン①か②にひとつずつ登録することができます。	106
	スタート (リズムを始める)	スタートボタンを押すと同時に、リズムをスタートすることができます。	103
	シンクロスタート (リズムを始める)	下鍵盤またはペダル鍵盤を押すと同時にリズムをスタートすることができます。	103
イントロ／エンディング (リズムの始めと終わり)	曲の頭にイントロパターンを、曲の終わりにエンディングパターンをつけることができます。	103	
フィルイン	リズムの途中に、装飾的なリズムパターンを入れることができます。	103	
キーボード パーカッション	下鍵盤でパーカッションの音を出すことができます。	113	
	ペダル鍵盤で、パーカッションの音を出すことができます。	113	

機能名		できること	ページ数
リズム機能	オートペースコード (自動伴奏を使う)	下鍵盤とペダル鍵盤のベース伴奏を自動的に得ることができます。	116
	リズムプログラム (パターン)	リズムパターンやフィルインなど新規作成またはエディットし、ユーザーパターンとして登録することができます。	119
	リズムプログラム (シーケンス)	リズムパターンの再生順序をプログラムすることができます。	135
メモリー機能 (レジストレーション)	レジストレーションメモリー (データを登録する)	パネルの現在の音色やリズムの状態をレジストナンバーボタンに記憶させることができます。	144
	レジストシフト (レジストメモリーのコントロール)	右フィットスイッチを使ってレジストレーションをメモリーしたナンバーをコントロールすることができます。	146
	レジストメモリー (データを再生する)	レジストナンバーに記憶したデータを再生することができます。	153
	ディセーブル (リズムデータを保護する)	すでにメモリーしてあるレジストのリズム関係のデータだけをそのまま残すことができます。	145
メモリー機能 (MDR)	ミュージックディスクレコーダー (ディスクを初期化する)	フロッピーディスクを初期化することができます。	160
	ミュージックディスクレコーダー (レジストレーションデータの記憶)	レジストレーションのデータだけを記録することができます。	162
	ミュージックディスクレコーダー (演奏を録音する)	1枚のフロッピーディスクに40曲まで演奏を録音することができます。	165
	ミュージックディスクレコーダー (録音をやり直す)	録音を途中で中断して、最初から録音し直すこと (リトライ) ができます。	167
	ミュージックディスクレコーダー (鍵盤ごとに録音する)	上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤、レジスト、その他をそれぞれ別に演奏を録音することができます。	168
	ミュージックディスクレコーダー (演奏を再生する)	録音した演奏を再生することができます。	177
	ミュージックディスクレコーダー	再生を途中でストップすることができます。	
	ミュージックディスクレコーダー (演奏だけを再生)	レジストレーションなどのデータは再生させずに演奏だけを再生させることができます。	178
	ミュージックディスクレコーダー (再生の早送り、早戻し)	再生中に5倍の速さで早送りまたは、早戻しをすることができます。	179

機能名		できること	ページ数
メモリー機能 (MDR)	ミュージックディスクレコーダー (特定のパート再生)	録音したパートのなかから、特定のパートだけを抜きだして再生することができます。	180
	ミュージックディスクレコーダー (繰り返し再生)	フロッピーディスクに録音した全ての曲、または特定の1曲だけを繰り返し再生することができます。	181
	ミュージックディスクレコーダー (再生時のテンポ変更)	録音した曲のテンポを50～200%の範囲で変えることができます。	183
	ミュージックディスクレコーダー (録音時のテンポに戻す)	テンポ変更後、録音したときのテンポに戻すことができます。	183
	ミュージックディスクレコーダー (曲をコピーする)	すでに録音した曲を別のソングナンバーにコピーすることができます。	184
	ミュージックディスクレコーダー (曲を削除する)	フロッピーディスクに録音してある不要になった曲を削除することができます。	186
	ミュージックディスクレコーダー (メモリー残量の確認)	フロッピーディスクに録音できる残量を確認することができます。	176
その他の機能	メロディーオンコード	上鍵盤で弾くメロディに、下鍵盤で弾いたハーモニーを自動的につけることができます。	188
	フットスイッチ (左フットスイッチのコントロール)	左フットスイッチで、リズムのストップ、エンディング、フィルインをコントロールすることができます。	190
		アッパー1、2、ロワー1、2、リードそれぞれにグライドをかけることができます。	192
		音色全体にトレモロ(ファースト)で設定した効果をかけることができます。	194
	セカンド エクスプレッション	セカンドエクスプレッションペダルでピッチベンド、テンポをコントロールすることができます。	195
	MIDI (入出力チャンネルの設定)	MIDIの入出力チャンネルを切り替えることができます。	197
		ディスプレイのコントラストを15段階に調節できます。	
	パワーオンリセット	エレクトーンをお買い求めになったとき(工場出荷時状態)と同じ設定に戻すことができます。	199

# ディスプレイ画面索引

ディスプレイ画面

ページ数

ボイスディスプレイ

43

UPPER		LEAD	UPPER ↓ LOWER
Strings2	Strings1	Violin1	
LOWER			
Horn1	Horn2		
PEDALS			
Org.Bass1	Org.Bass2		

アッパー、ロワーフルートボイス(メニュー)

34

UPPER FLUTE VOICE								PAGE:MENU-FOOTAGE-ATTACK-VOL-SAVE
FROM PRESET & USER VOICE								
Jazz Org.1	Jazz Org.2	Jazz Org.3	Jazz Org.4	Pop Org.1	Pop Org.2	Pop Org.3	Pop Org.4	
USER 1	USER 2	USER 3	USER 4	USER 5	USER 6	USER 7	USER 8	

アッパー、ロワーフルートボイス(フッテージ)

35

UPPER FLUTE VOICE								PAGE:MENU-FOOTAGE-ATTACK-VOL-SAVE
COMBINATION								
16'	8'	5 1/3'	4'	2 2/3'	2'	1 1/3'	1'	

アッパー、ロワーフルートボイス(アタック)

37

UPPER FLUTE VOICE						PAGE:MENU-FOOTAGE-ATTACK-VOL-SAVE
ATTACK						
4'	2 2/3'	2'	LENG.	MODE	FIRST EACH	

アッパー、ロワーフルートボイス(ボリューム)

35、38

UPPER FLUTE VOICE				PAGE:MENU-FOOTAGE-ATTACK-VOL-SAVE
CLICK	RESP.	TREM.	VOL.	
		ON OFF	20	

アッパー、ロワーフルートボイス(セーブ)

UPPER FLUTE VOICE								PAGE:MENU-FOOTAGE-ATTACK-VOL-SAVE
SAVE TO USER VOICE								
USER 1	USER 2	USER 3	USER 4	USER 5	USER 6	USER 7	USER 8	

ディスプレイ画面

ページ数

ボイスメニュー(ストリングス)

16、22

UPPER 1 Strings 1							
STRINGS							
String 1	String 2	String 3	String 4	String 5			
Pizz. Strs.	Trem. Strs.			Synth. Strs.1	Synth. Strs.2		

ボイスメニュー(クラリネット)

16、22

UPPER 1 Clarinet 1							
CLARINET							
Clari-net1	Clari-net2			Synth. Cla.			

ボイスメニュー(サキソフォン)

16、22

UPPER 1 Saxophone 1							
SAXOPHONE							
Saxo- phone1	Saxo- phone2	Sopra. Sax.	Sax. Ensem.				

ボイスメニュー(ブラス)

16、22

UPPER 1 Brass 1							
BRASS							
Brass 1	Brass 2	Brass 3	Brass 4	Synth. Brass1	Synth. Brass2		

ボイスメニュー(コーラス)

16、22

UPPER 1 Chorus 1							
CHORUS							
Chorus 1	Chorus 2	Chorus 3			Vocal		

ボイスメニュー(オルガン)

16、22

UPPER 1 Organ1							
ORGAN							
Organ 1	Organ 2	Organ 3	Organ 4	Jazz Organ1	Jazz Organ2	Jazz Organ3	
Pop Organ1	Pop Organ2	Theat. Organ1	Theat. Organ2	Accor- dion	Bando- neon		

ディスプレイ画面 ページ数

ボイスメニュー(ピアノ) 16、22

UPPER 1 Piano 1							
PIANO							
Piano 1	Piano 2	Honky-Tonk		Elec. Piano1	Elec. Piano2		
Harpsi-chord		Clavi.					

ボイスメニュー(ギター) 16、22

UPPER 1 Guitar 1							
GUITAR							
Guitar 1	Guitar 2	Guitar 3		Banjo	Mando-lin		
Elec. Gtr.1	Elec. Gtr.2	Muted Guitar	Dist. Guitar	Harp		Koto	Taisho Koto

ボイスメニュー(ビブラフォン) 16、22

UPPER 1 Vibraphone 1							
VIBRAPHONE							
Vibra- phone	Gloc- ken.	Celes- ta		Marim- ba	Xylo- phone		
Chime	Synth. Chime			Steel Drum			

ボイスメニュー(トゥッティ) 16、22

UPPER 1 Tutti 1							
TUTTI							
Tutti 1	Tutti 2	Tutti 3	Tutti 4	Tutti 5	Tutti 6		

ボイスメニュー(コスミック) 16、22

UPPER 1 Cosmic 1							
COSMIC							
Cosmic 1	Cosmic 2	Cosmic 3	Cosmic 4	Cosmic 5	Cosmic 6	Cosmic 7	Cosmic 8
Cosmic 9							

ボイスメニュー(ハーモニカ) 16、22

UPPER 1 Harmonica 1							
HARMONICA							
Harmo- nica1	Harmo- nica2						

ボイスメニュー(ホルン) 16、22

LOWER 1 Horn 1							
HORN							
Horn 1	Horn 2	Horn 3	Muted Horn				

ディスプレイ画面 ページ数

ボイスメニュー(バイオリン) 16、28

LEAD Violin 1							
VIOLIN							
Violin 1	Violin 2	Violin 3	Violin 4	Pizz. Violin	Cello		

ボイスメニュー(フルート) 16、28

LEAD Flute 1							
FLUTE							
Flute 1	Flute 2	Pic- colo		Recor- der	Pan Flute		
Whis- tie							

ボイスメニュー(トランペット) 16、28

LEAD Trumpet 1							
TRUMPET							
Trum- pet1	Trum- pet2	Trum- pet3	Trum- pet4	Trum- pet5	Muted Trp.		
Trom- bone1	Trom- bone2	Muted Trp.		Flugel Horn			

ボイスメニュー(オーボエ) 16、28

LEAD Oboe 1							
OBOE							
Oboe 1	Oboe 2	English Horn		Bas- soon1	Bas- soon2		

ボイスメニュー(コントラバス) 16、22

PEDAL Cont. Bass 1							
CONTRA BASS							
Contra Bass1	Contra Bass2			Pizz. Bass	Upright Bass		

ボイスメニュー(エレクトリックベース) 16、22

PEDAL Elec. Bass 1							
ELECTRIC BASS							
Elec. Bass1	Elec. Bass2	Elec. Bass3		Synth. Bass1	Synth. Bass2	Synth. Bass3	

ボイスメニュー(オルガンベース) 16、22

PEDAL Organ Bass 1							
ORGAN BASS							
Organ Bass1	Organ Bass2	Organ Bass3	Organ Bass4				

## ディスプレイ画面

ページ数

ボイスメニュー(チューバ)

16、22

PEDAL Tuba							
TUBA							
Tuba				Tim-pani	Timp. Roll		

ボイスメニュー(ドットボタン)

18

UPPER 1 Strings 1							
STRINGS							
String 1	String 2	String 3	String 4	String 5			
Pizz. Strs.	Trem. Strs.			Synth. Strs.1	Synth. Strs.2		

アッパー、ロワーコンディション(1)

22

UPPER 1 Strings 1							
PAGE: 1/2							
TOUCH	TONE	FEET	EFCT.	PAN	BRIL.	VOL.	
INITIAL	AFTER	PRESET	PRESET	LEFT RIGHT	2	24	
		4' 8' 16'	OFF TREM. SYMPH. DELAY FLANG.				

アッパー、ロワーコンディション(2)

26

UPPER 1 Strings 2							
PAGE: 1/2							
VIBRATO				TOUCH VIB.			
PRESET	DELAY	DEPTH	SPEED	ON OFF			
USER							

リードコンディション(1)

22

LEAD Violin 1							
PAGE: 1/2							
TOUCH	TONE	FEET	EFCT.	PAN	BRIL.	VOL.	
INITIAL	AFTER	PRESET	PRESET		2	24	
		4' 8' 16'	OFF TREM. SYMPH. DELAY FLANG.				

リードコンディション(2)

28

LEAD Violin 1							
PAGE: 1/2							
VIBRATO				TOUCH VIB.	SLIDE	TUNE	
PRESET	DELAY	DEPTH	SPEED	ON OFF	ON KNEE OFF		
USER							

ペダルコンディション

22

PEDAL Cont. Bass 1							
TOUCH	TONE	FEET	EFCT.	PAN	BRIL.	VOL.	
INITIAL	AFTER	PRESET	PRESET		2	24	
		4' 8' 16'	OFF TREM. SYMPH. DELAY FLANG.				

## ディスプレイ画面

ページ数

リズムメニュー(マーチ)

104、110

RHYTHM March 1							
MARCH						ACCOMPANI.	
March 1	March 2	March 3	Polka 1	Polka 2		TYPE 1	TYPE 2
Country1	Country2	Broad-way	Baroque			TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(ワルツ)

104、110

RHYTHM Waltz 1							
WALTZ						ACCOMPANI.	
Waltz 1	Waltz 2	Waltz 3	Waltz 4	Waltz 5		TYPE 1	TYPE 2
Jazz Waltz1	Jazz Waltz2	Jazz Waltz3	Bolero			TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(スイング)

104、110

RHYTHM Swing 1							
SWING						ACCOMPANI.	
Swing 1	Swing 2	Swing 3	Swing 4	Swing 5	Swing 6	TYPE 1	TYPE 2
Jazz Ballad	Dixie-land1	Dixie-land2				TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(バウンス)

104、110

RHYTHM Bounce 1							
BOUNCE						ACCOMPANI.	
Bounce 1	Bounce 2	Bounce 3				TYPE 1	TYPE 2
Reggae 1	Reggae 2					TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(スローロック)

104、110

RHYTHM Slow Rock 1							
SLOW ROCK						ACCOMPANI.	
Slow Rock1	Slow Rock2	Slow Rock3				TYPE 1	TYPE 2
						TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(タンゴ)

104、110

RHYTHM Tango 1							
TANGO						ACCOMPANI.	
Tango 1	Tango 2	Tango 3				TYPE 1	TYPE 2
						TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(ラテン1)

104、110

RHYTHM Cha Cha							
LATIN						ACCOMPANI.	
Cha-cha	Rhumba	Beguine				TYPE 1	TYPE 2
Mambo	Salsa					TYPE 3	TYPE 4



## ディスプレイ画面

ページ数

リズムメニュー(ラテン2) 104、110

RHYTHM Samba 1						ACCOMPANI.	
LATIN2						TYPE 1	TYPE 2
Samba 1	Samba 2	Samba 3					
Bossa-nova 1	Bossa-nova 2	Bossa-nova 3				TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(8ビート) 104、110

RHYTHM 8Beat 1						ACCOMPANI.	
8BEAT						TYPE 1	TYPE 2
8Beat 1	8Beat 2	8Beat 3	8Beat 4	8Beat 5			
Dance Pop 1	Dance Pop 2	Dance Pop 3	Dance Pop 4			TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(16ビート) 104、110

RHYTHM 16Beat						ACCOMPANI.	
16BEAT						TYPE 1	TYPE 2
16Beat 1	16Beat 2	16Beat 3	16Beat 4	16Beat 5			
16Beat Funk1	16Beat Funk2	16Beat Funk3				TYPE 3	TYPE 4

リズムメニュー(ドット) 106

RHYTHM USER 2-A						ACCOMPANI.	
USER VOICE						TYPE 1	TYPE 2
USER 1	USER 2	USER 3	USER 4	A	B		
USER 5	USER 6	USER 7	USER 8	C	D	TYPE 3	TYPE 4

リズムコンディション 110

RHYTHM March 2						ACCOMPANI.	
A.B.C.	MEM.	AUTO VARI.	PERCUSSION	BAL.	VOL.	ACC.	
OFF	Single Finger	LOWER					
Finger Chord	Custom A.B.C.	PEDAL	ON OFF				

リズムパターン(ビート/クォンタイズ) 124

PATTERN 3						ACCOMPANI.	
BEAT						TYPE 1	TYPE 2
4/4	3/4						
2/4							

リズムパターン(エディット) 127

PATTERN 1.1. 1						ACCOMPANI.	
INSTRUMENT						TYPE 1	TYPE 2
No. 1	CLEAR	CHANGE					
	<	>					

## ディスプレイ画面

ページ数

リズムパターン(アカンパニメント) 132

PATTERN						ACCOMPANI.	
A.B.C.	MEM.	AUTO VARI.	PERCUSSION	BAL.	VOL.	ACC.	
OFF	Single Finger	LOWER					
Finger Chord	Custom A.B.C.	PEDAL	ON OFF				

リズムパターン(セーブ) 133

PATTERN						ACCOMPANI.	
SAVE TO USER RHYTHM						TYPE 1	TYPE 2
USER 1	USER 2	USER 3	USER 4	A	B		
USER 5	USER 6	USER 7	USER 8	C	D		

リズムシーケンス 135

SEQUENCE [ 10Bar] USER 8-A FILL						ACCOMPANI.	
NO. 1 5 10 15						TYPE 1	TYPE 2
PAT. 01	U1A	U1A	U2B	U1C	U4D	U5A	02
							U6F
							01
							20F
							16E

A.B.C./M.O.C. 116、188

AUTO BASS CHORD						MELODY ON CHORD	
MODE	MEM.	MODE	KNEE				
OFF	Single Finger	LOWER					
Finger Chord	Custom A.B.C.	PEDAL	ON OFF				

リバーブ(1) 63

REVERB						ACCOMPANI.	
TYPE						TYPE 1	TYPE 2

リバーブ(2) 64

REVERB						ACCOMPANI.	
UPPER						TYPE 1	TYPE 2
1	2	FLUTE					

リバーブ(3) 66

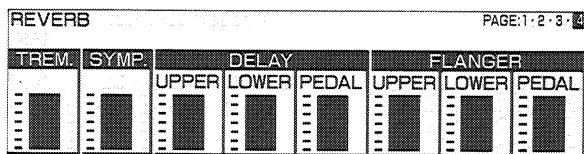
REVERB						ACCOMPANI.	
PEDAL						TYPE 1	TYPE 2
1	2	ACC.	PER.				

ディスプレイ画面

ページ数

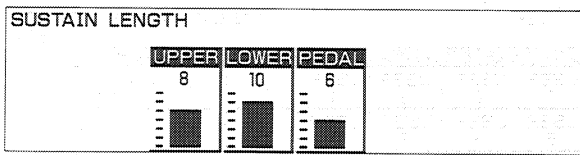
リバース(4)

67



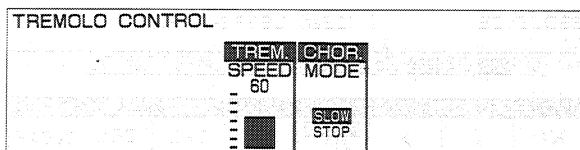
サステインレングス

70



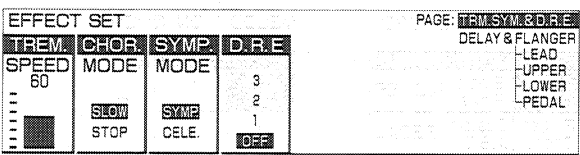
トレモロコントロール

73



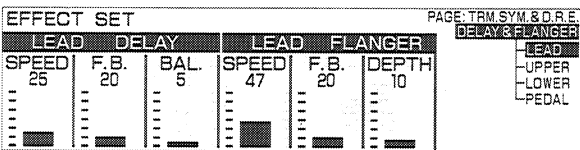
エフェクトセット (TRM.SYM.&D.E.R.)

74



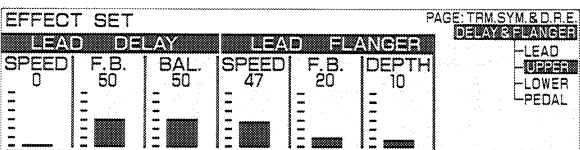
エフェクトセット (ディレイ&フランジャー/リード)

76



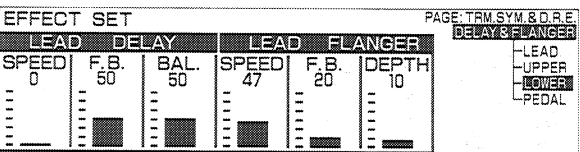
エフェクトセット (ディレイ&フランジャー/アッパー)

76



エフェクトセット (ディレイ&フランジャー/ロワー)

76

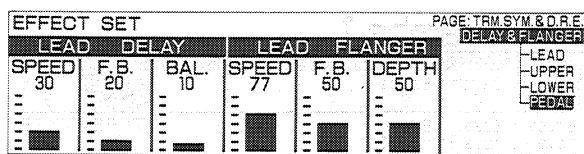


ディスプレイ画面

ページ数

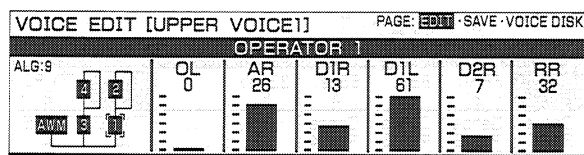
エフェクトセット (ディレイ&フランジャー/ペダル)

76



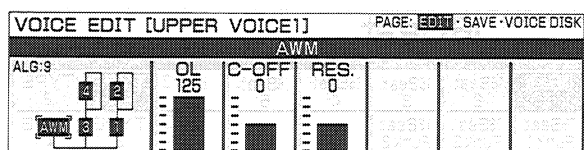
ボイスエディット (エディット/オペレーター1~4)

86



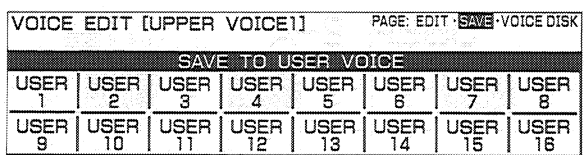
ボイスエディット (エディット/AWM)

88



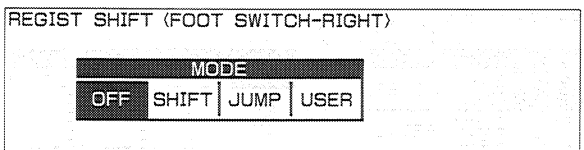
ボイスエディット (セーブ)

89



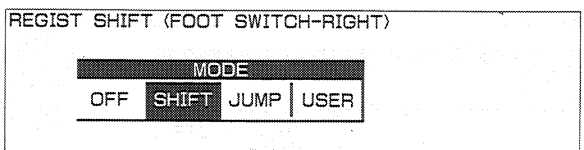
レジストシフト (モード/オフ)

146



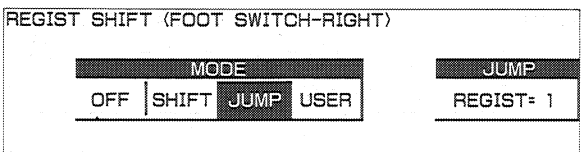
レジストシフト (モード/シフト)

146



レジストシフト (モード/ジャンプ)

147



## ディスプレイ画面

ページ数

レジストシフト(モード/ユーザー)

148

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)				PAGE:MODE·EDIT
MODE				
OFF	SHIFT	JUMP	USER	

レジストシフト(エディット)

148

REGIST SHIFT (FOOT SWITCH-RIGHT)				PAGE:MODE·EDIT
NO.	1	5	10	
REG. TOP	8	16	1	2
	3	4	5	6
	7	8	9	10
	POSITION		DATA	
KK	<	>	>>	SET
				INS.
				DEL.
				CLEAR

フットスイッチ(モード/オフ)

190

FOOT SWITCH-LEFT			
MODE			
OFF	RHY	THM	
GLIDE	TRE	MOLO	

フットスイッチ(モード/リズム)

190

FOOT SWITCH-LEFT			
MODE		RHYTHM CONTROL	
OFF	RHY	STOP	END
	THM	ING	FILL
GLIDE	TRE		IN
	MOLO		

フットスイッチ(モード/グライド)

192

FOOT SWITCH-LEFT			
MODE		GLIDE CONTROL	
OFF	RHY	UPPER	UPPER
	THM	1	2
GLIDE	TRE	LEAD	TIME
	MOLO		
		LOWER	LOWER
		1	2

フットスイッチ(モード/トレモロ)

194

FOOT SWITCH-LEFT			
MODE			
OFF	RHY	THM	
GLIDE	TRE	MOLO	

セカンドエクスプレッション

195

EXPRESSION 2ND EXPRESSION				PAGE:EXP·PITCH·MIDI
MODE				EXPRESS
PITCH BEND				DEPTH
UPPER				
1				
2				
LEAD				
ON				
OFF				
ON				
OFF				
ON				
OFF				

## ディスプレイ画面

ページ数

ピッチ

96

PITCH CONTROL		PAGE:EXP·PITCH·MIDI
TRANPOSE	PITCH	
0	A=440.0Hz	

MIDI

197

MIDI CONTROL				PAGE:EXP·PITCH·MIDI
OUTPUT		INT./EXT.		CONTRAST
UPPER	LOWER	LEAD	SYNC.	EXP.
CH1	CH2	INT.	INT.	AUTO
CH4	CH5	EXT.	EXT.	INT.
				EXT.

# エレクトーン用語豆辞典

## あ

アウトプットレベル	FM音源の各オペレーターとAWM音源が、音声信号または変調信号を出力するレベルです。	82、87、88
アカンパニメント	演奏するという意味です。エレクトーンでは、リズムの演奏タイプのことをいいます。	105、112
アタック	音の立ち上がりのことですが、エレクトーンでは、フルートボイスの減衰系の音の音量や減衰スピードを設定するメニューの項目です。	37
アタックレート	ボイスエディット機能で変更できる音色パラメーターのひとつです。音の立ち上がりの音量変化または音色変化の速度を変えたいときに選びます。	82
アッパーキーボードボイス1、2	上鍵盤で発音することのできる音色です。	12～16
アッパーフルートボイス	上鍵盤で発音することのできるフルート音です。	34～41
アフタータッチ	鍵盤を押さえた後さらに押さえつけるタッチによって行うコントロール。このタッチの強弱により、音量と音色がコントロールできます。	23
アルゴリズム	音源のオペレーター（音色をつくり出すユニットとなる発信機）の組合せパターンのこと。このアルゴリズムによって、音色の基本的な性格が決められます。	81

## い

イニシャルタッチ	鍵盤を叩くときのタッチによって、行われるコントロール。このタッチの強弱により、音量と音色がコントロールできます。	22
イントロ／エンディング	リズムの前奏パターン（イントロ）と終止パターン（エンディング）を得るためのボタン名です。リズムが始まるときと演奏を終わらせるときに使います。	103

## え

8ビート	リズムボタンのひとつで、8分音符を基本としたロックでよく使われるリズムです。	100～101
エクスプレッションペダル	エレクトーン全体の音響をコントロールすることができるペダルです。	10、189、195
AWM音源	アドバンスド・ウェーブ・メモリーの略です。実在する音をデジタル録音し、そのデータを電子楽器の音源としてメモリーしたヤマハならではの音源技術です。	80、84、88
エディット	「編集する」という意味です。エレクトーンでは、音色を変更（ボイスエディット）したり、すでにメモリーしているレジストナンバーの再生順序を変えたりすることをいいます。	86、121、127、149

## え

A.B.C.	オートベースコードのことで、下鍵盤とペダル鍵盤のベース伴奏が自動的に得られる機能のことです。	110、116
A.B.C./M.O.C.	オートベースコードとメロディーオンコードのメニューを表示させるためのボタン名です。	116、188
FM音源	FMはフリークエンシー・モジュレーションの略で、周波数変調によって音づくりを行うヤマハ独自のデジタル音源技術です。	80、81
エフェクト	効果のことです。エレクトーンでは、ボイスコンディショニングのなかにある項目のひとつです。	23、58～61
エフェクトセット	トレモロ、コーラス、シンフォニック、ダイナミックレンジエンハンサー、ディレイ、フランジャー、それぞれの効果を設定するためのボタン名です。	74～77
M.O.C.	メロディーオンコードのことで、上鍵盤で弾くメロディーにハーモニーを自動的につける機能です。	188
MDR	ミュージック・ディスク・レコーダーの略で、フロッピーディスクにレジストレーションのデータの記憶や、演奏の録音・再生ができる機能です。	154～186
M./TO DISK	レジストレーションのデータをレジストナンバーにメモリーするときや、フロッピーディスクにレジストレーションのデータを記録させるときに使うボタンです。	32、78、114、144、162
LCDブライトネス	下鍵盤の裏の付属端子の位置にあるスイッチのことです。ディスプレイの明るさを3段階に変えることができます。	202
エレキベース	ペダルボイスのボタンのひとつで、チョッパのエレキベースやシンセベースなどエレクトリックベース系のベース音色を選ぶときに使います。	13、15
エンベロープジェネレーション	ボイスエディット機能で変更できる音色パラメーターの総称です。	82

## お

オートバリエーション	リズムの4小節目と8小節目のパターンを自動的に変化させる機能です。	111
オートベースコード	A.B.C.の項を参照。	110、116
オペレーター	音色をつくりだすためのさまざまな信号を発生するユニットのことです。	80
オーボエ	リードボイスのボタンのひとつで、オーボエやバスーンなど木管楽器系のリード演奏用の音色を選ぶときに使います。	13、15
オルガン	アッパーキーボードボイス1・2とローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、フルオルガンやポップオルガン、ジャズオルガンなどオルガンの音色を選ぶときに使います。	13、14
オルガンベース	ペダルボイス1・2にあるボタンのひとつで、オルガンのベース音色を選ぶときに使います。	13、15

## か

カスタムA.B.C.	オートベースコードのモードのひとつで、下鍵盤で押さえたコードのタイプとペダル鍵盤で押さえた音が検出されベース伴奏が自動的に得られる機能です。	111、117
カスタムプレイ	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、演奏のみの再生・録音をするときに使います。	154、178
カットオフ	カットオフは切り捨てるという意味で、周波数を排除する位置を決める働きをします。ボイスエディットをする際、AWM音源のパラメーターのひとつとして表示されます。	84、88

## き

ギター	アッパーキーボードボイス1・2と、ローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、フォークギターやエレクトリックギター、バンジョーなどギター系の音色を選ぶときに使います。	13、14
キーボードパーカッション	下鍵盤またはペダル鍵盤を弾くことで、さまざまな打楽器の音を発音させることができる機能です。	113
基本レジストレーション	ベーシックレジストレーションのことで、1～5までのボタンがあり、各ボタンにはあらかじめ音色がセットされています。	44
キャリア	FM音源の音色をつくりだすオペレーターのうち、実際の音色の信号（音声信号）を出力するユニットのことをいいます。	81

## く

クラリネット	アッパーキーボードボイス1・2と、ローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、クラリネットやシンセクラリネットの音色を選ぶときに使います。	13、14
クリック	鍵が鍵穴の中で回るときのカチッという音のことで、音の歯切れをよくすることができます。フルートボイスのメニューのなかにあります。	38

## こ

コズミック	アッパーキーボードボイス1・2と、ローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、シンセサイザー風の音など自然楽器にはない電子的な音色を選ぶときに使います。	13、14
コース	メニューの中のさまざまなレベルを素早く動かすときに使うボタンです。	4
コーラス	①アッパーキーボードボイス1・2と、ローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、複数の女性がアーと声を出してコーラスをしているような厚みのある音色を選ぶときに使います。 ②効果名のひとつで、音がゆっくりと回転しているような効果を得ることができます。	13、14 73、74
コントラスト	ディスプレイの明るさ度合のことで、MIDI ボタンを押した際に表示され、+7～-7までの間で調節することができます。	198

## こ

コントラバス	ペダルボイス1・2にあるボタンのひとつで、コントラバスやピチカートベースなど低音の弦楽器系のベース音色を選ぶときに使います。	13、15
コントロール	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、再生時または録音時にオンになっていると、エクスプレッションペダルなどのデータを再現することができます。	154

## さ

サキソフォン	アッパーキーボードボイス1・2と、ローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、サキソフォンやソプラノサックスなどの音色を選ぶときに使います。	13、14
--------	---	-------

## し

シーケンス	「順序」「連鎖」という意味で、EL-90では、リズムプログラムのひとつのボタン名になっています。リズムの再生順序をプログラムすることができます。	135～142
シフト	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、フォーマットやソングデリートなどのボタンの下段に記されている機能を実施するときに使います。	146
16ビート	リズムボタンのひとつで、16分音符を基本としたリズムを選ぶときに使います。	100、101
シングルフィンガー	オートベースコードのモードのひとつで、下鍵盤でコードのルート音を押さえることで、コードとベースの自動伴奏が得られる機能です。	111、117
シンフォニック	複数の楽器で演奏しているような豊かな広がり感が得られる効果です。	58～61、75

## す

スイング	リズムボタンのひとつで、ジャズの代表的なリズムです。スイングやディキシーランド、ジャズバラードなどのリズムを選ぶときに使います。	100、101
スタート	リズムをスタートさせるときに押すボタンです。	103
ストップ	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、録音・再生を止めるときに使います。	154
ストリングス	アッパーキーボードボイス1・2とローキーボードボイス1・2にあるボタンのひとつで、弦楽器が何本も集まったような厚みのある音色です。トレモロストリングスやシンセストリングスなどを選ぶときに使います。	13、14
スライドタイム	リードコンディションの中にある効果のひとつで、リードボイスにポルタメント(音程がスライドする効果)をかける速さを設定することができる機能です。	30
スローロック	リズムボタンのひとつで、スローなテンポのロックのリズムです。スローロック1、2、3などを選ぶときに使います。	100、101

## せ

セカンドエクスプレッションペダル	ピッチベンドやリズムのテンポをコントロールすることができるペダルです。ピッチベンドやリズムの設定は、セカンドエクスプレッション／ピッチ／ミディを使います。	10、195
セレステ	シンフォニック（複数の楽器で演奏しているような豊かな広がりが見られる効果）のかかり方をゆるやかにしたような効果です。	58～61、75

## そ

ソングコピー	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、あるソングナンバーを他のソングナンバーにコピーすることができます。フロムとトゥの二つのボタンのことです。	154、184
ソングセレクト	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、ソングナンバーを選択することができます。[<<] [>>] の二つのボタンのことです。	154
ソングデリート	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、ソングナンバーの削除をすることができます。	154、186
ソングリピート	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、繰り返して再生することができます。	154、181

## た

ダイナミックレンジエンハンサー	音量が大きくなったときに、高音域を強調する効果で、音のスケール感をアップすることができます。	75
タッチトーン	ボイスコンディションの中にある機能のひとつで、イニシャルタッチとアフタータッチの総称です。	22
タッチビブラート	アッパー、ロワー、リードコンディションの中にある機能のひとつで、鍵盤タッチでビブラートをコントロールすることができます。	27、29
タンゴ	リズムボタンのひとつで、アルゼンチンで発生したといわれるダンス用のリズムです。タンゴ1、2、3を選ぶときに使います。	100、101

## ち

チューバ	ペダルボイス1・2にあるボタンのひとつで、チューバやティンパニなどのベース音を選ぶときに使います。	13、15
------	---	-------

## て

ディケイ1レート	ボイスエディット機能で変更できるFM音源の音色パラメーターのひとつで、最大レベルから持続レベルまでの音量または音色変化の速度を変えたいときに選びます。	82、87
ディケイ1レベル	ボイスエディット機能で変更できるFM音源の音色パラメーターのひとつで、持続を開始する時点のレベルを変えたいときに選びます。	82、87



## て

ディケイ 2 レート	ボイスエディット機能で変更できる FM 音源パラメーターのひとつで、持続を開始してから 0 になるまでの音量または音色変化の速度を変えたいときに選びます。	82、87
ディスプレイ	音色やリズムなどさまざまなメニューを表示する液晶画面のことです。	3、4
ディセーブル	レジストナンバーの右端にある「D.」ボタンのことで、レジストレーションのリズム関係のセッティングを保護する機能をもっています。レジストレーションの音色と効果だけを変更したいときに使います。	115、145
ディレイ	音がこだまするような感じになる効果です。	23、28～31、58～61、76
データコントロールボタン	ディスプレイの下にある [△] [▽] ボタンのことで、ディスプレイに表示されたメニューの設定をするときに使います。	4
テンポ	①リズムのテンポを変更するときに使うダイヤルのことです。 ②ミュージックディスクレコーダーの再生時のテンポを変更するときに使う [◀] [▶] ボタンのことです。	102 154

## と

同時発音数	一度に鍵盤を押さえたときに出る（発音する）最大の音数のことです。	12
トゥッティ	アッパーキーボードボイス 1・2 とロワーキーボードボイス 1・2 にあるボタンのひとつで、弦楽器や管楽器で編成されたオーケストラタイプの音色のことです。	13、14
トゥーロワー	リードボイスとペダルボイス 1・2 にあるボタンのひとつで、リードボイスまたはペダルボイスを下鍵盤で発音させることができます。	42
ドットボタン	アッパーキーボードボイス 1・2、ロワーキーボードボイス 1・2、リードボイス、ペダルボイス 1・2 とリズムにあるボタンのひとつです。音色の場合は、フルートボイスを除く全ての音色またはボイスエディットした音色の中からどれかひとつをドットボタンに登録することができます。リズムの場合は、全てのリズムの中からどれかひとつをドットボタンに登録することができます。	18～21、106～109
トランスポーズ	エレクトーン全体のキーを +6～-6 まで 13 段階に半音ずつ移調することができる機能です。	97
トランペット	リードボイスにあるボタンのひとつで、トランペットやトロンボーンなどトランペット系の音色を選ぶときに使います。	13、15
トレモロ	音に回転感をもたせる効果です。	23、39、58～61、73、74
トレモロ（ファースト）	トレモロとコーラスを設定するときやトレモロとコーラスを切り替えるときに使うボタンです。	73
トレモロスピード	トレモロの回転スピードを設定することができる機能です。	73、74

## な

ナロー	「狭い」という意味で、セカンドエクスプレッションペダルの変幅モードのひとつです。	195
-----	--	-----

## は

バイオリン	リードボイスのボタンのひとつで、バイオリンやチェロなどバイオリン系の音色を選ぶときに使います。	13、15
バウンス	リズムボタンのひとつで、スイングジャズのリズムのとり方の一種です。バウンス 1、2、3 を選ぶときに使います。	100、101
パターン	「模範」「型」「傾向」という意味で、ELシリーズでは、リズムプログラムのひとつのボタン名になっています。リズムパターンやフィルインなどを新規作成またはエディットし、ユーザーパターンとして登録することができます。	119～134
ハーモニカ	アッパーキーボードボイス 1・2 のボタンのひとつで、ハーモニカ 1、2 を選ぶときに使います。	13、14
パワー	エレクトーン全体の主電源のことです。オンにすると、基本レジストレーションの 1 になります。	10
パワーオンリセット	エレクトーンをお買い求めになったとき（工場出荷時状態）と同じ設定に戻ることができる機能のことです。	199
パン	音色の発音する左右の位置を決めることができる効果です。	23

## ひ

ピアノ	アッパーキーボードボイス 1・2 とロワーキーボードボイス 1・2 にあるボタンのひとつで、アコースティックピアノやエレクトリックピアノなどピアノ系の音色を選ぶときに使います。	13、14
ピッチ	移調やピッチなどを設定したいときに押すボタンのことです。	97
ピッチベンド	音程を上下に連続してスライドさせることができる機能で、ギターのチョーキングに似た効果が得られます。	195
ビブラート	音をふるわせ、うるおいをもたせる効果です。	26、28

## ふ

フィート	パイプオルガンのパイプの長さに由来する音列の表し方のことです。8' (8 フィート) が基本的な音の高さで、それより 1 オクターブ下の音は 16 フィート、1 オクターブ上の音は 4 フィートになります。ELシリーズでは、ボイスコンディションのメニューの中で選択することができ、またアッパー、ロワーフルートボイスの「フルート」「アタック」のページで各フィートの音量を設定することができます。	23、36、37
フィードバック	出力の一部を入力に戻すことです。エフェクトセットの「ディレイ&フランジャー」のページで変更できるメニューの項目のひとつです。	76、77、81
フィルイン	リズムの変化パターンのことです。リズムが発音しているとき、フィルインボタンを押すと自動的に変化パターンが得られます。	103

## ふ

フィルター	音色をつくる際に使われる濾波器のことで、ある特定の周波数帯だけを通過させ、他の部分を出力させない機能をもっています。ELシリーズでは、ボイスエディットをする際のAWMのカットオフと、レゾナンスがフィルターです。	84
フィンガーコード	オートベースコードのモードのひとつで、下鍵盤で押さえたコードが検出され、ベース伴奏が自動的に得られる機能です。	111、117
フォーマット	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、新しいフロッピーディスクを使用できるようにするための初期化のことです。	154、160
フットスイッチ	①エクスプレッションペダルの左右についているスイッチのことです。 ②フットスイッチでコントロールする内容を設定するときに使うボタンのことです。	189～194
ブラス	アップパーキーボードボイス1・2とローワーキーボードボイス1・2のボタンのひとつで、シンセブラスやトランペットアンサンブルなどの音色を選ぶときに使います。	13、14
フランジャー	音にうねりを持たせ、回転しているような感じが得られる効果です。	23、76
ブリリアンス	①音を明るく輝かせる効果のことです。 ②上記の効果を得るためのボタン名です。	24、58～61、72
フルート	リードボイスのボタンのひとつで、フルートやリコーダーなど笛系の音色を得るときに使います。	13、14
フルートボイス	アップパーフルートボイス、ローワーフルートボイスの総称です。	34～41
プレイ	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、レジストレーションの記録や演奏の録音、メモリー残量の確認などをするときに使います。	154
へ		
ページ	ディスプレイに表示されるメニューのページを変更することができるボタンです。	4
ベーシックレジストレーション	基本レジストレーションのことです。基本レジストレーションを参照。	44
ペダルボイス1・2	ペダル鍵盤で発音できるベース音色です。	12、13、15

## ほ

ボイスエディット	①ボイスは「音色」、エディットは「編集する」という意味で、プリセット音色のデータを変更して音色の感じを自由に変えることができる機能のことです。 ②上記の機能を使うときに押すボタン名です。	80～92
ボイスコンディション	音色の発音状態（コンディション）を設定する際に表示されるメニューの総称。音色ボタンを2回押すと表示されます。	22～31
ボイスディスプレイ	現在の音色名を確認するとき、または上鍵盤、下鍵盤の音量のバランス（マニュアルバランス）を決めるときに押すボタンのことです。	43
ボイスメニュー	音色ボタンを押したときにディスプレイに表示されるいくつかの音色名のことです。	16～17
ポーズ	ミュージックディスクレコーダーのボタンのひとつで、再生を一時停止させることができます。	154
ボリューム	音量のことです。	24、25
ボリュームファイン	ボイスコンディションのメニューの項目のひとつで、パネルのボリュームより細かく設定することができます。	24、25
ホールド	他のボタンを押しても、現在押しているボタンのメニュー以外は表示させないよう保護する機能を持つボタンです。	4
ホルン	ローキーボードボイス1・2のボタンのひとつで、円すい形の金管楽器（ホルン）の音色です。ホルン1、2、3を選ぶときに使います。	13、14

## ま

マスターボリューム	エレクトーン全体の音量を調節するつまみです。	10
マーチ	リズムボタンのひとつで、行進曲に使われるリズムです。マーチ、ポルカ、カントリーなどを選ぶときに使います。	100、101
マニュアルバランス	上鍵盤と下鍵盤の音量のバランスを設定することができる機能です。「ボイスディスプレイ」を参照。	43

## み

MIDI	①ミュージカル・インストゥルメンタル・デジタル・インターフェースを略したもので、電子楽器などのデータ交信用に決められた世界統一規格のことです。 ②エレクトーンの明るさ（コントラスト）を設定したりするときを使うボタンのことです。	197
ミュージックディスクレコーダー	MDRのことです。「MDR」参照。	154～186

## め

メモリー	①「記憶」という意味です。 ②鍵盤から指を離しても、下鍵盤とペダル鍵盤の伴奏（オートベースコード）を持続させる機能のことです。	144～186 111、118
メロディーオンコード	M.O.C.のことです。「M.O.C.」を参照。	188

## も

モジュレーター	FM音源の音色をつくり出すオペレーターのうち、他のオペレーターに変調信号を出力するユニットのことをいいます。	81
---------	--	----

## ら

ラテン	リズムボタンのひとつで、中・南米の音楽の基本となるリズムです。	100、101
-----	---------------------------------	---------

## り

リズム	リズムボタンの総称です。	100～103
リズムプログラム	リズムを好みに合わせてプログラムすることができる機能です。また、シーケンスボタン、パターンボタンの総称でもあります。→シーケンス、パターンを参照。	119～142
リードチューン	リードボイスの音の高さを微妙にずらすことができる効果です。リードコンディションのチューンで、ずらす度合を設定します。	30
リードボイス	上鍵盤で発音できるリード演奏用の音色です。	13、15
リトライ	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、録音をやり直すことができます。	167
リバーブ	音に残響をつけ、ホールなどで演奏しているような響きに変える効果です。	62～69
リリースレート	ボイスエディット機能で変更できるFM音源の音色パラメーターのひとつで、鍵盤を離してから0になるまでの音量変化の速度を変えたいときに選びます。	82、87

## れ

レコード	ミュージックディスクレコーダーの機能のひとつで、演奏を録音するときや鍵盤ごとに録音するときなどに使います。	154
レジストシフト	エキスプレッションペダルの右フットスイッチを使って、レジストナンバーをコントロールする内容を設定するときに使うボタンです。	146～153
レジストナンバー	レジストレーションを記憶する下鍵盤の下にある数字のボタン（レジストレーションメモリーボタン）のことです。	2、3

## れ

レジストレーションメモリー	パネル上でセットしたレジストレーションを記憶させ、いつでも再現することができる機能です。	32、78、114、144
レジストレーション・メニュー・ディスク	さまざまなパターンのレジストレーションがメニュー形式となって記憶されているフロッピーディスクのことです。	45～57
レゾナンス	「共振」という意味です。カットオフで指定された周波数の倍音（高調波）を強める働きをします。ボイスエディットをする際、AWM音源のパラメーターのひとつとして表示されます。	84、88

## ろ

ロワーキーボードボイス 1、2	下鍵盤で発音することができる音色です。	
ロワーフルートボイス	下鍵盤で発音することができるフルート音色です。	34～41

## わ

ワイド	「広い」という意味で、セカンドエクスプレッションペダルの可変幅のモードのひとつです。	195
ワルツ	リズムボタンのひとつで、3拍子の舞曲用のリズムです。ワルツ、ジャズワルツ、ポレロなどを選ぶときに使います。	100、101

## アフターサービスと保証

### 保証

保証期間は、保証書の裏面の記載により、ご購入から満1ヵ年です。ただし、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。また、保証は日本国内でのみ有効いたします。

### 保証書

エレクトーン納入の際、保証書をお渡しいたしますので大切に保管くださるようお願いいたします。

また、納入調整サービスの際には、納入調整者が保証書内に必要事項を記入のうえ、発行いたしますので記載事項をご確認ください。

### 保証書は大切にしましょう！

保証書は、弊社がご購入いただきましたお客さまに、ご購入の日から向こう1ヵ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように、充分ご配慮のうえ保管してください。また、保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など、便利にご利用いただけます。

### 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合には、ヤマハ特約楽器店、小売楽器店にご連絡いただきますと、販売店またはヤマハのエレクトーン技術者が直ちに調整・修理にお伺いします。
2. 保証書は、サービスにお伺いした際に今後の製品改良の貴重な資料とするため、技術者がお預かりさせていただきます。お預かりした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、記録した後、直接お客さまにご返送しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ちください。
3. 遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ楽器店あるいは弊社サービスセンターにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介しますとともに、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

### 保証期間後のサービス

満1ヵ年の保証期間が切れますと、サービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品（製品本来の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、8年となっております。保証期間以後の移転の場合も、保証期間中と同様にご連絡いただきましたら、移転後のサービス担当店をご紹介します。

### サービスのご依頼

#### ●ご依頼の前に。

1. コンセントに電気が来ているかどうか、電気製品を接続してお確かめください。
2. 電話でのご依頼の際、再度、故障かどうかを確認させていただく場合がありますので、ぜひご協力をお願いいたします。

#### ●エレクトーンの様子は詳しくお知らせください。

1. できれば実際にエレクトーンをお弾きになっていらっしゃる方に様子をお聞かせくだされば、あらかじめ用意する部品などの見当がつき、スムーズにいきます。
2. 時々調子のおかしくなるような場合は、お手数でもその状態をできるだけ詳しくお知らせください。たとえば、

●夜間だけ音が小さい ●ある時間だけ雑音がでる ●エレクトーンの音を出さなくても、スイッチを入れるだけで雑音がでる、などの場合です。

3. エレクトーンの種類など、サービスご依頼のエレクトーンに関する詳細は、保証書をご覧になってお知らせください。使用部品が製造時期やモデルによって異なる事もありますので、早く確実にサービスさせていただくためにぜひお願いいたします。

#### ●これだけはお知らせください。

ご住所・お名前・ご連絡先・ご購入店・お買い上げ年月日・機種名（モデル名）……保証書に記載されています。症状……なるべく具体的に。

### サービスのお約束について

1. お仕事の関係で、昼間ご不在のお客さまや、留守がちなお客さまは、できるだけお伺いする日時をお約束させていただきます。
2. 万一お約束した日時のご都合が悪くなった場合には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。
3. お店にサービスをご依頼なされたにもかかわらず、日時が経過してもなおサービス員がお伺いしない場合には、お手数でも下記のサービスセンターまでご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

### ヤマハ電機音響製品アフターサービス拠点 （修理受付および修理品お持ち込み窓口）

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区鉤町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
東京サービスステーション※	〒108 東京都港区高輪2-17-11 （※修理品お持ち込み窓口） TEL.03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内 TEL.053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ㈱名古屋流通センター3F TEL.052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ㈱千里丘センター内 TEL.06-877-5262
四国サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ㈱高松店内 TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14 TEL.082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
〔本社〕カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ㈱宮竹工場内 TEL.053-465-1158



**ヤマハエレクトーンシティ渋谷**

〒150 東京都渋谷区桜丘町8-27  
ヤマハエレクトーンシティ  
Tel. 03(3476)4700  
営業時間 10:00～18:45 定休日 日曜、祝日

エレクトーンに関するあらゆる質問にお答えします。

エレクトーンホットライン 営業時間:月～土 10:00～12:00 13:00～17:00

フリーダイヤル



**0120-186-808**

国内楽器営業本部	〒430 浜松市中沢町10-1
エレクトーン営業部エレクトーン営業課	TEL.053-460-2191
北海道支店地区営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL.011-512-1550
仙台支店地区営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青場通りビル TEL.022-222-6144
東京支店エレクトーン普及グループ	〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL.03-5488-5463
関東支店営業推進課	〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL.03-5488-1680
名古屋支店営業推進課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5140
大阪支店営業推進グループ	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.06-252-2390
広島支店地区営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3748
九州支店営業推進課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2153

エレクトーン®は当社の登録商標です。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION  
ヤマハ株式会社

—EYCEL90  
EL90取説